

昭和四十七年三月

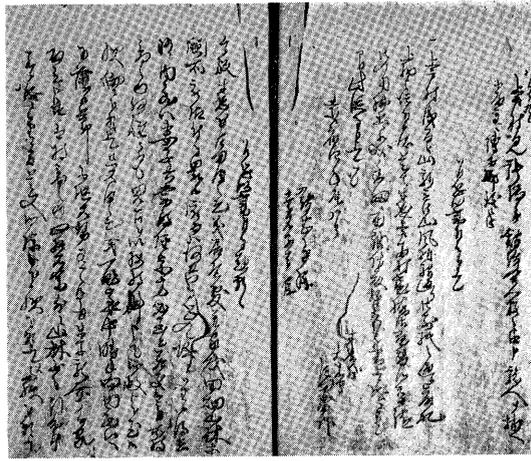
史料館所藏史料目錄

第十九集

文部省史料館

史料館所藏史料目錄

第十九集



潮来御領大御山守御用留 慶応4年 [81]



須田為憲画像 [須田禎一氏所蔵]

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第十九集として、常陸国行方郡牛堀村須田家文書目録を収めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・体裁等に応じ大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一〇ポイント・ゴチック活字、中項目は九ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示した。また必要に応じて〇印で細項目を示した。
- 一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年月 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題(史料名称)は原則として原表題を採った。原表題の無いものおよび原表題を改変したものは仮に命名して掲げ、()を付して前者と區別した。
- 一 作成者または差出人および宛名は、表題から推知しうるもの、項目によって判明しうるものは適宜省略した。なお役職名・地名などは必要に応じて付した。
- 一 作成年次は年月・干支を採って原則として日を省略した。簿冊等で数年にわたるものは、始年—終年で示した場合がある。また推定年代は()を付した。
- 一 史料の形態は、簿冊類では(半紙判)、美(美濃判)、美大(美濃大判)、半半(半紙半截判)、美大半(美濃大半截判)、横長半(半紙横長判)、横長美(美濃横長判)、横半半(半紙半截横長判)横美半(美濃截横長判)などによって原書の大きさの大概を示すにとどめ、一紙書付類は大概は通をもって数量を示し、紙形の大小・寸法は省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示した。
- 一 数量の上部に示した板は木版物、合は合綴物である。
- 一 最下欄の数字は、各史料の整理番号を示す。照会・閲覧・引用の場合に利用されたい。なお整理番号一—二七三〇は昭和二七年度購入分(文書記号27J)、三〇〇一以後は昭和四六年度受贈分(文書記号46A)である。
- 一 卷末に簡単な解題を付した。
- 一 本文書目録の作成は藤村潤一郎が担当した。

目次

口 絵

凡 例

常陸国行方郡牛堀村須田家文書

頁

目 録

一

目 次

二

目 録

五

解 題

一〇七

常陸国
行方郡
牛堀村
須田家
文書目録

常陸国 行方郡 牛堀村 須田家文書目録

支配	法制、支配、差紙、御国礼	五
土地	檢地帳・新開改帳、順帳、名寄帳、御繩打入用、新開、奥印留、拔差・高縮、田畑出入、除高、その他、新田・地押絵図、絵図	七
土地	御立山	三
改・調	植立、夏刈、下刈、手入、籌真木、風枯損木、伐木、弘山木、その他	三
貢租	檢見	六
檢見	檢見帳、小檢見、小檢見引方帳、小檢見引方百石厘割性名帳、小檢見割、小檢見入用、畠見分願	六
割付	割付状、割付帳、小割付元帳、小割付帳	六
収納	金穀勘定帳、納	三〇
夫役	人足、黒鍬	三
夫役	物成払勘定、米方払勘定	三
城米	浮役	三
浮役	浮役取立、鳥運上、竹、蒲	三
船役	その他	三
その他	村政	三
村政	御用留、大御山守留、村況、庄屋・山守、姓名録、献金、金融、種痘、衛生、救荒義院、諸帳面、その他、絵図	三
諸職	酒・醬油、髮結・床屋、湯屋、質屋、鍛冶屋、搗壳株、牡蠣灰焼、渡場	三
諸職	村入用	三
村入用	万差銭受取払、差銭打切、指銭元割、押切、郷蔵、自身番小屋、制札場、変死、諸通、請取	三
その他	戸口	三
その他	人別帳、出入取調、送・請取、縁組、借地・借屋、分家・別家、懐胎・出生、その他	三
土木・普請	陣屋、橋、溜池、川除・川欠、堤、浚、道繕、杭、居切堀、刈流、その他、絵図	三
治安・訴訟	鉄炮、出入、過料・徒刑、その他	三
救恤・拝借	拝借金貸出、拝借金・村用金取立、貯穀、仕法農馬貸出、その他	三
交通	通行	三
交通	御通行・泊、伝馬、その他	三
水運	改・極印、船借用、流・破船、船支度申付、御米船積、その他、絵図	三
漁業		三

維新……………三

郷校、稽古所、諸隊、調書、闕所、
維新、聞書

寺社……………三

触・廻状、寺社領、鎮守、長泉院、
長国寺、その他

御用状・書状……………三

御検地御用状、午（安政五）年御配
符、明治二歳巳御配符、潮来村大御
山守宛御用状、潮来・牛堀村大御山
守須田重作宛御用状、潮来・牛堀村
大御山守宛御用状、潮来村大御山守
・牛堀村同添役須田重作宛御用状、
牛堀村大御山守須田茂十郎宛御用状、
牛堀村大御山守須田源之丞宛御用状、
牛堀村大御山守須田重作宛御用状、
牛堀村大御山守宛御用状、牛堀村大
御山守・同添役宛御用状、牛堀村大
御山守・同見習宛御用状、牛堀村大
御山守・潮来村庄屋宛御用状、大御
山守須田重作宛御用状、大御山守見
習須田内蔵八宛御用状、牛堀村庄屋
須田十作宛御用状、牛堀村庄屋宛御
用状、牛堀村御役人宛書状、牛堀村
組頭宛御用状、牛堀・永山両村庄屋

宛御用状、永山村庄屋宛御用状、堀
之内村庄屋宛御用状、堀之内・茂木
村庄屋宛御用状、茂木村庄屋宛御用
状、富田村庄屋宛御用状、上戸村庄
屋宛御用状、各村庄屋宛御用状、須
田源之丞宛書状、須田源之丞書状、
須田平十郎宛書状、須田平十郎書状、
須田伊右衛門宛書状、須田喜久右衛
門・清兵衛宛書状、須田喜源次宛書
状、須田茂十郎宛書状、須田内蔵八
宛書状、須田内蔵八書状、須田源之
丞・同内蔵八宛書状、須田重作宛書
状、須田重作・他宛書状、須田重作
書状、かく宛書状、須田武兵衛宛書
状、須田幹之助・幹三宛書状、須田
宛書状、須田書状、他家間書状・御
用状、某書状、書状集

家……………三

由緒・系譜・相続、冠婚葬祭……………三

經營……………三

納税、持地、土地・山売買、土地取
換、地券・登記、返証文、官有地払
下願、家屋売渡、借地・借屋、小作
入作米取立帳、粃米貸、奉公人、地
主会、絵図

家計……………三

金銀出入帳、無尽・講、貸借、諸家
計帳、普請、請取

学芸・信仰……………三

手扣、農業意見、詠草、藏書、信仰

その他……………三

〔参考〕……………三

常陸国 行方郡 牛堀村 須田家文書

(文書記号 27J・46A)

支配

法制

(御触三ヶ条御請書) 牛堀村永山共 寛文一〇年霜月	一通	三五
(栗漆御植ニ付覚) 牛堀村永山共宛 延宝五年一二月	三通	三九
(御条目御請書) 貞享三年正月	一通	三〇
(舟之儀ニ付廻状) 村々宛 貞享五年五月	一通	三〇
(御条目請書) 村々宛 元享一二年七月	一通	三〇
村々へ申渡覚 南領村々宛 元禄一二年八月	一通	三一
(御条目) 潮来村一〇カ村宛 正徳六年四月	一通	三三
(仰渡書請印連判指上ケ証文) 享保一九年一二月	一通	三三
公事取捌 牛堀村隅田清兵衛写 寛保二年四月(天明五年四月写)	一册	三四
御裁許書之写 須田喜源次写 宝曆八年一〇月(文化二年神無月写)	一册	三七
御城附御渡書之写 須田姓写 明和四年(安永三年(寛政一二年仲秋写))	一册	三〇
木障伐御達覚 島崎・赤須村 天保一三年四月	一册	三五
(御領中土地御改正ニ付達) 吉森又右衛門他 弘化二年	一綴	三五

支配

改革議定書御伺書上 牛堀村永山共 嘉永七年一〇月	一册	三六
(御達之趣御受書) 永山・牛堀村 安政四年九月	一册	三五
(駄賃錢ニ付触状) 亥年一二月	一綴	三五
公儀触書 卯年六月	一通	三六
(申触) 村々宛 六月	一通	三〇
(若者仲間ニ付御達書并拜見請印帳) 尾羽平蔵 七月	一綴	三九
(夫食等ニ付触書) 七月	一通	三七
(諸うきやく帳認ニ付配符状) 庄屋宛 一二月	一通	三九
切支丹改連判并大洲新田普請日雇錢ニ付廻状 村々宛 一二月	一通	三九
(切支丹宗門ニ付覚状)	一通	三九
(田畑反別御正ニ付申置覚)	一通	三三
(浦々湊高札御案文ニ付御触)	一通	三六
(あざ付・川欠・小検見ニ付申触)	一通	三三
(大豆菜種小麦油ニ限り他所出シ御免申触) 村々宛	一通	三九
(在方江戸人別并家作他御触)	一通	三六
(白鳥ニ似申美大鳥ニ付一札) 牛堀村永山共 元禄一一年六月	一綴	三五

(御餌指高野伊惣次手伝源兵衛鷹鴨生物殺生御用申付ニ付指出申付) 弘化三年八月

一通 一六九

定例御用手控 牛堀村永山共里正須田重作為憲 嘉永七年十一月

一冊 一七〇

(御印鑑請取覚) 堀之内村茂木大御山守宛 安政三年八月

一通 一七四

(木見給相納覚) 潮来村 安政四年二月

一通 一七六

(搗米屋共御仕法白米御預ケ仰付ニ付銘々取調書上) 大御山守添役宛 (安政六年以降)

一綴 一七六

(堀之内組頭申上候異人ニ付御内意御伺書付) 大御山守 文久三年八月

一通 一七五

(清水村大岐次右衛門苗字無之と認ニ付願書付) 清水村大御山守他 慶応元年五月

一通 一七六

(村々取極向極書付) 牛堀村大御山守 慶応二年二月

一冊 一七六

(潮来・大洲村御取締向村方心得振書付) 大御山守宛 慶応二年二月

一綴 一七二

(御内々京都清水村へ文通之儀ニ付申上書付) 富田村庄屋 大御山守宛 慶応二年二月

一通 一七五

(永山村組頭之内御用繼所立願書付) 御郡御役所宛 慶応四年四月

一通 一七九

(辻村米見人撰候ニ付仰付願書付) 大御山守宛 慶応四年九月

一通 一七五

(延方村先庄屋孫衛門御用御日延願) 潮来村 南郡民政御役所宛 明治二年六月

一綴 一七九

(堀之内村先組頭女房相果候ニ付御呼出し日延願書付) 明治二年六月

一通 一七三

(善三郎分諸道具家屋敷入札覚) 牛堀村永山共御手代衆宛 辰年二月

一通 一七〇

(御書付被下ニ付御請書) 三島村名主 牛堀村須田宛 辰年五月

一通 一七〇

(関戸喜右衛門改名御聞濟ニ付申上書付) 大御山守宛 巳年三月

一通 一七九

(当面御役所様荒子増給割合受取覚) 大御山守 富田・清水村御役人衆中宛 酉年正月

一通 一七三

(矢幡村組頭役次郎左衛門江仰付願状) 折笠純一郎 寅年五月

一通 一七〇

(牛堀村木引藤七分米相渡御案内覚) 潮来村庄屋 牛堀村庄屋宛 八月

一通 一七四

(書付等御封シ御渡し願口演) 清水村庄屋 大御山守宛 九月

一通 一七三

(御用状菰包村々送り状) 牛堀村他九カ村庄屋宛 一〇月

一通 一七五

(天和式年御改破布帳面記載行人専海御尋ニ付申上書付) 牛堀村

一通 一七三

(盜賊改加役合印) 大御山守宛

一綴 一七六

(矢幡村御高札預り請書) 大御山守宛

一通 一七四

(内密年寄等奉行取調書付)

一通 一七〇

(清水村御改正ニ付里正共存意申上書付) 牛堀村大御山守宛

一綴 一七三

(村々御取締被仰付候ニ付心得書付)

一冊 一七三

(盜賊引合八州取締出役呼出し付覚)

一通 一七三

差紙 牛堀村役人宛 巳年一〇月

一通 一七三

(差紙) 牛堀・永山村村庄屋宛 二月

一通 一七〇

(差紙) 牛堀村庄屋宛 一月

御国札

辻村御用途金連名書上帳 郡務方御役所宛 明治四年四月

御国金札御引換御手当調達金 明治四年四月

土地

土地

検地帳・新開改帳

(常陸国行方郡須崎村御繩打水帳様写他) 慶長七年九月

常陸国行方郡牛堀村御検地水帳〔写〕 三野・岡村・矢野・佐野 寛永一八年八月

永山・牛堀両村新田改水帳 中野藤左衛門・梶吉左衛門 明曆三年七月

(新田畑改帳) 明曆二年承応

常陸国行方郡牛堀村新開御検地水帳 中野藤左衛門・林十左衛門 万治三年三月

永山村新開御検地野帳 寛文二年二月

牛堀村永山共丑新開改帳 平賀勘右衛門様御代高村権兵衛 寛文二年三月

常州行方郡牛堀村長山共新開帳 東条七之丸・平賀勘十郎・平賀勘右衛門 延宝元年一〇月

一通 一四六

横長半 一冊 六六

半 一冊 六〇

一通 八三

半 一冊 一

半 一冊 二

半 一冊 三

半 一冊 四

横長半 一冊 五

横長半 一冊 六

半 一冊 七

常州行方郡牛堀村未新開改野帳〔写〕 延宝七年七月

常州行方郡永山村新開未御検地野帳 平賀勘右衛門代川又瀬左衛門・谷田部太郎左衛門代弓野庄兵衛 延宝七年七月

常陸国行方郡永山村新開御地水帳 山下重兵衛・鮎沢伊太夫 貞享五年九月

牛堀村之内永山村新田本郷高江組入分書拔帳 鮎沢伊太夫 元禄七年七月

常陸国行方郡永山村新開御検地水帳 小川喜平太 宝永五年八月(享保元年九月渡)

常陸国行方郡永山村辰新開水帳 高田彦助・小川喜平太 享保九年七月

常陸国行方郡永山村戌新開水帳 入江庄介・篠本唯右衛門 享保一五年六月

常陸国行方郡永山村子御検地帳 杉浦藤十郎・入江庄助 享保一七年七月

常陸国行方郡永山村子新開水帳 杉浦藤十郎・入江庄助 享保一七年七月

常陸国行方郡永山村寅開畑御検地水帳 杉浦藤十郎・入江庄助 享保一九年三月

常陸国行方郡永山村巳新開水帳 深沢茂左衛門・入江庄助 元文二年八月

常陸国行方郡牛堀村新開酉御検地帳 福田宇左衛門・佐藤平右衛門 寛保元年七月

常陸国行方郡永山村新開西御検地帳 福田宇左衛門・佐藤平右衛門 寛保元年七月

常陸国行方郡永山村海新田御検地帳 小泉本兵衛・佐藤平右衛門 延享四年三月

半 一冊 八

横長半 一冊 九

美 一冊 〇

美 一冊 二

美 一冊 三

美 一冊 三

美 一冊 四

美 一冊 五

美 一冊 六

美 一冊 七

美 一冊 八

美 一冊 九

美 一冊 〇

美 一冊 三

常陸国行方郡永山村谷新田御檢地帳 衛・佐藤平衛門 延享四年三月	小泉李兵衛	美	一冊	三
常陸国行方郡永山村新開亥御檢地帳 山内善三衛門・藤咲小衛門 宝曆五年七月	山内善三	美	一冊	三
常陸国行方郡永山村新開巳御檢地帳 福田儀助・高倉文治 宝曆一年七月	福田儀助	美	一冊	三
常州行方郡永山村新田分新開辰改水帳 弓削左内・渡辺与次右衛門 明和九年八月	弓削左内	美	一冊	三
永山村島方御檢地帳 安永六年五月 (常州行方郡永山村新田分寅御檢地帳表紙) 天明二年七月	天	半	一枚	一五
常陸国行方郡永山村新開子御檢地帳 児玉齋衛門 文政二年七月	美	一冊	一冊	七
常陸国行方郡牛堀村新田分田方御檢地帳 吉成又衛門 天保六年六月	美	一冊	一冊	六
常陸国行方郡永山村新田御檢地帳 吉成又衛門 天保六年六月	美	一冊	一冊	元
牛堀邑田畑永山邑湖谷両新田御檢地野帳写 天保二年一〇月(弘化四年九月写)	半	一冊	一冊	五
常陸国行方郡永山村御檢地帳 (安政二年八月須田重作為憲写)	半	一冊	一冊	三
常陸国行方郡永山村御檢地帳 (安政二年八月須田重作為憲写)	半	一冊	一冊	三
常陸国行方郡牛堀村御檢地帳 (安政二年八月須田重作為憲写)	半	一冊	一冊	三
常陸国行方郡牛堀村御檢地帳 (明治六年須田幹之助為德写)	横長半	一冊	一冊	三
潮来御領六倉御領寛永御檢地村々高辻 五年二月須田十松写	横長半	一冊	一冊	六

三嶋村御檢地之写 須田重松為綱 弘化元年二月	横長半	一冊	六
1 (西御年貢可納割付状) 文化一〇年一〇月 御檢地帳三冊寄 延享元年七月	半	合一冊	三
2 御檢地帳三冊寄 延享元年七月	半	一冊	一
3 三嶋村酉巻ケ年入用	半	一冊	一
牛堀・永山両村田島屋敷成替新開御檢地帳 安政四年五月	半	合一冊	三
1 行方郡牛堀村島方新開御檢地帳 金子孫三郎・南御郡方勤野島佐三郎・小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
2 行方郡牛堀村新屋敷地成替改帳 南御郡方勤小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
3 行方郡永山村新開田島御檢地帳 金子孫二郎・南御郡方勤野島佐三郎・小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
4 行方郡永山村新屋敷地成替改帳 南御郡方勤小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
5 永山村新開田方見取帳 南御郡方勤小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
6 牛堀・永山両村小檢見入目打切帳 文政六年二月	半	一冊	一
(堀之内村新開諸帳) 安政四年五月	半	合一冊	三
1 行方郡堀之内村田畑新開御檢地帳 金子孫二郎・御郡方勤野島佐三郎・小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
2 堀之内村新開屋敷当已改帳 南御郡方勤小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一
3 堀之内村新開田方見取帳 南御郡方勤小島郁藏 安政四年五月	半	一冊	一

未年新開田取調 安政六年

一綴 二〇

永山村畑屋敷成替字付書上 村扣 慶応二年四月 横長半

一冊 五七

牛堀村新開田畑字附書上帳 御郡御奉行所宛 慶
応二年四月 横長半

一冊 五六

(常陸国行方郡牛堀・永山村新開田畠御檢地帳)
慶応三年

半 合二冊 七

1 常陸国行方郡永山村新開田畠御檢地帳
行方郡永山村新屋敷改帳 慶応三年
行方郡永山村屋敷之内畑立掃改帳 慶
三年

半 一冊

2 常陸国行方郡牛堀村新開田畑御檢地帳
慶応三年

半 一冊

常陸国行方郡堀之内村田畑新開御檢地帳 慶
三年

半 一冊 元

牛堀村本郷新田畑方書拔帳 天明五年七月

美 一冊 癸

(嶋崎村土地方御正シ御掟書ニ付一札)

一通 三三

順帳

常陸国行方郡永山村本郷分畠方帳 紅葉御郡方
佐藤仁兵衛 文化二年八月
永山村新田分畠方帳 紅葉御郡方佐藤仁兵衛 文
化二年三月

美 一冊 五

常陸国行方郡牛堀村畠方順帳 文政二年六月

美 一冊 丙

牛堀村永山村本郷新田田方順帳

半 合一冊 三三

1 常州永山村田方順帳 須田喜源次 文政七
年春

半 一冊

2 常陸国行方郡永山村湖新田反別順帳 須
田喜源次 文政五年正月

半 一冊

名寄帳

堀之内村田畠名寄帳 四番 天保一三年九月 横長半

一冊 元

常陸国行方郡嶋崎名寄帳 四冊之内 天保一四年
七月 横長半

一冊 三

茂木村新田畑名寄帳 天保一四年八月 横長半

一冊 四

島崎村田畠持高名寄帳 天保一四年二月 横長半

一冊 四

常陸国行方郡堀之内村田畑名寄帳 屋満組分
慶応二年神無月 横長半

一冊 三

堀之内村神倉組田畑名寄帳 加遇貝良組 慶
二年一〇月 横長半

一冊 四

堀之内村申越組田畑名寄帳 佐留古為組 慶
二年一〇月 横長半

一冊 四

堀之内村茂木持田畠名寄帳 慶
二年一〇月 横長半

一冊 四

常陸国行方郡茂木村田畠名寄帳 慶
二年神無月 横長半

一冊 四

地引帳名寄帳認振 御繩打入用

半 一冊 八三

堀之内村茂木共寅田畠御繩打諸入用目扣帳
天保二三年八月 横長半

一冊 癸

堀之内茂木共御繩打諸入用鑑覚帳 天
保一三年九月 横長半

一冊 四〇

新開

(入合飼科場新開ニ付訴訟書付) 元
禄四年三月

一通 三四

(永山蒲地新開相殘分案内ニ付指上申手形) 牛
堀村永山共 享保一七年七月

一通 三七

(富田村海地面御料附洲新田之儀ニ付一札) 天
明三年一二月

一通 三六

谷新田普請篠葉柄数取帳 弘化二年二月

横長半 一冊 三六

(清水村御立山弘跡開発願書付) 御郡御奉行所宛 安政七年正月

一通 二五

(永山谷新田寛)

一通 三三

奥印留

牛堀・永山両村質地奥印留 庄屋 安政四年二月

半 一冊 二六

行方郡富田郷田畑売買奥印留帳 庄屋 慶応四年四月

半 一冊 一九

牛堀・永山両里土地売買奥印留 長 慶応四年四月ヨリ (明治六年五月須田幹之介写)

半 一冊 三〇

牛堀・永山両里質地証文奥印留 須田幹実写 明治二〇年五月

半 一冊 三〇

拔差・高締

牛堀・永山両村寅高拔差帳 嘉永七年八月

横長半 一冊 二六

牛堀村永山共卯高帳 安政二年五月

横長半 一冊 二五

牛堀村永山共田圃惣元高帳 安政二年五月

横長半 一冊 二六

牛堀・永山両村高拔差出入改帳 安政三年五月

横長半 一冊 二五

牛堀村永山共丁巳高拔差帳 安政四年閏五月

横長半 一冊 二五

安政五戊午高拔差帳 安政五年初夏・秋

横長半 一冊 二五

(安政六己未高拔差帳) 安政六年八月

横長半 一冊 二五

万延元年庚申高帳 万延元年六月

横長半 一冊 二五

牛堀・永山両村辛酉高締帳 文久元年七月

横長半 一冊 二六

田畑出入

(牛堀村須田茂十郎と富田村恒三郎へ相掛田地張出入一件書類) 弘化四年 嘉永六年

一綴 二五

(堀之内村源五左衛門田地入付利束代滞出入願書付) 嘉永三年四月

半 一冊 二五七

(須田茂十郎の矢幡村正助江掛売渡候山并田地高拔不渡不実出入願書付) 嘉永三年四月

半 一通 二五

(永山村多郎衛門の又兵衛江相掛売渡申田地相返候様願書付) 嘉永五年二月

一通 二〇四

(永山村民藏の永山村久助江相掛貸地出入ニ付願書付) 嘉永六年七月

一通 二〇三

富田村恒三郎金談一件御呼出日記 須田駒太郎 嘉永六年一〇月

横長半 一冊 二五九

(永山村治郎衛門の永山村市郎衛門江相掛リ田畑出入一件ニ付再願書付) 嘉永六年一二年

一通 二〇一

(堀之内村勘兵衛の堀之内村重次郎相手取田畑取戻出入済口証文) 御郡御奉行所・大御山守宛 嘉永七年九月

一綴 二〇三

(矢幡村新兵衛相統人地所取戻願上書付) 南郡民政御役所宛 明治二年正月

一綴 二〇四

除 高

(牛堀村永山共除高改書上) 元禄一一年四月

一通 二〇〇

牛堀・永山両村御除地高調書上写 明治四年三月

一冊 三二

その他

(田地分米寛) 貞享元年一月

一通 二二五

有合売渡山証文下書之写 売人永山村孫兵衛 牛堀村名主宛 元禄六年一月

一通 七三

(永山・牛堀度々満水ニ付新屋敷願書付) 牛堀村永山共 享保一九年九月

一通 二二五

(牛堀村居敷山通り見分掃山願上書付) 牛堀村 宝曆六年二月

一通 二二五

(下総国殖生郡安食村柳宿重兵衛屋敷願書) 天
明六年八月

牛堀村田方川欠永引帳 文化二年八月

(田畑改廉訊書付) 文政二年三月

(辻村善藏後家居屋敷有合ニ壳渡之儀ニ付取調
書上) 辻村 大御山守宛 慶応二年六月

(永山村孫左衛門先祖壳渡居敷山御返し願書付)
村御役所宛 慶応四年五・九月

(潮来村水腐田御救引高覚) 南民政御役所宛 明
治三年閏一〇月

地所証明願 永山村水貝清次 牛堀村聯合戸長宛
明治二年二月

(市兵衛・与一郎屋敷境出入ニ付指上申手形)

堀之内邸惣元高

(潮来村田畑反別覚力)

新田・地押絵図

谷新田絵図面 須田源之丞 文政六年春

(永山村地押絵図) 須田喜源次写 文政七年卯月

永山邸谷新田分間下絵図 須田重作写 天保一〇
年一〇月一二月 78×207

永山村田方全絵図 須田喜源治 安政初年

永山村谷新田絵図 須田氏 安政四年五月

永山村谷新田全図 須田為憲 安政四年閏五月

○開墾場絵図

(新田開発御勘弁願書付) 宝曆三年五月

行方郡富田村開墾場略図

永山村鎮守日吉山王見取略図面

永山村鎮守日吉山王見取略図面(下画力)

清水村略図

牛堀村永山共略図

矢幡村略図

上戸村略図

鳴崎村・赤須村略図

辻村略図

延方村全図古高共

大洲村略図

築地村略図

(永山村略図)

牛堀村略図

(潮来村近在絵図)

(常陸国行方郡何村耕地絵図雛形)

茂木村開墾原地略図

辻村原御立山之内開墾奉願上略図

永山村地押絵図

(一ノ分目村新田民家水障之儀ニ付絵図) 安政
二年

(附洲改図) 安政六年

(村略絵図)

67×48 一鋪 四九

28×40 一鋪 五〇

37×29 一鋪 五〇

66×48 一鋪 四九

30×66 一鋪 五〇

49×66 一鋪 五〇

67×49 一鋪 五〇

47×66 一鋪 五〇

66×48 一鋪 五〇

71×48 一鋪 五〇

32×48 一鋪 五〇

33×48 一鋪 五〇

67×24 一鋪 五〇

27×37 一鋪 五〇

27×50 一鋪 五〇

28×38 一鋪 五〇

34×48 一鋪 五〇

33×48 一鋪 五〇

104×98 一鋪 五〇

28×66 一鋪 五〇

25×35 一鋪 五〇

28×37 一鋪 五〇

(村略絵図)

○

村地番絵図 須田用

絵 図

(耕地作人絵図)

(耕地略絵図)

(耕地見取図)

(耕地絵図)

御立山

改・調

(御立山改ニ付指上申一札) 小山守・村 元禄五年二月

(牛堀村永山共けやき・きりの木苗改覚) 大御山守宛 元禄七年四月

牛堀村永山共居敷分付共ニ御用木改帳 村・小山守 享保一三年六月 横長半

(牛堀村永山共御立山御吟味ニ付指上申一札) 村・小山守 享保一九年四月

堀之内村茂木共御立山并打出草飼場共町歩改帳 宝曆六年二月

潮来御領村々御立山御改帳 大御山守 天保二年

1 潮来村御立山書上帳 天保二年正月

2 上戸村御立山反別帳 天保二年正月

49×22 一鋪 五〇

150×90 一鋪 三三〇

99×22 一鋪 三三七

一綴 三三六

一綴 三三七

一綴 三三〇

一通 二五〇

一通 二二〇

一通 三三〇

一通 二四〇

一冊 三三〇

合一冊 三五九

一冊 一冊

一冊 一冊

3 鳴崎村赤須共御立山町歩并ニ草飼場書上帳 天保二年正月 半 一冊

4 辻村御立山反別書上帳 天保二年正月 半 一冊

5 延方村古高共御立山反別書上帳 天保二年正月 半 一冊

6 築地村御立山町歩書上帳 天保二年正月 半 一冊

7 矢幡村御立山并草飼場共町歩書上帳 御郡御奉行所宛 天保二年正月 半 一冊

8 堀之内・茂木両村御立山并打出草飼場共町歩改書上帳 天保二年正月(宝曆六年二月分) 半 一冊

9 清水村御立山草飼場町歩書上帳 天保二年正月 半 一冊

10 富田村御立山反別書上帳 天保二年正月 半 一冊

11 牛堀村永山とも御立山馬草場帳 天保二年二月 半 一冊

堀之内・茂木両村分附山町歩改帳 庄屋控 嘉永二年四月 半 一冊

(鳴崎・清水・赤須・茂木村御預松苗取調并御立山松跡絵図) 嘉永七年—安政四年 一綴 二五九

潮来御領村々御立山立木代金積書上 大御山守 扣 万延元年閏三月 半 一冊

(御預ケ苗木数取調書付) 牛堀村大御山守 文久四年三月 一通 三三〇

(矢幡・堀之内村御預リ苗取調書上) 南部民政御役所宛 明治二年一〇月 一綴 三三〇

植立

(日光寺御立山椎苗木植立覚) 牛堀村永山共・小山守 享保二〇年三月 一通 二四〇

潮来御領村々御立山松苗御植立人足賃錢渡方帳
大御山守宛 安政二年二月 横長半 一冊 五九

(江村御立山野火入之場松苗植立書上) 大御山
守宛 安政二年二月 一通 二五九

潮来御領村々御立山松苗御植立人足日傭錢渡方
帳 大御山守 安政三年二月 横長半 一冊 五三

(赤須村御立山之内新島前植立人足面付) 大御
山守宛 安政四年三月 一通 二五八

(清水村御立山之内松苗植立人足覚) 小山守・
組頭 牛堀村須田源之丞宛 安政四年三月 一通 二五七

(潮来御領村々御立山松苗御植立人足賃錢渡方
帳) 安政四年三月一七年三月 横長半 一冊 五五

(松苗植立面付茶番才料覚) 安政五年二月 一綴 二五八

(茂木村御預リ分松苗改申上書付) 村・小山守
大御山守宛 安政六年正月 一通 二五七

(赤須村御植立松苗本数取調書付) 小御山守・
村 大御山守宛 安政六年正月 一通 二五七

(島崎村御植立場所并松苗等取調申上) 小御山
守・村 大御山守宛 安政七年正月 一通 二五九

(富田村御立山御植立残り苗書付) 大御山守宛
安政七年三月 一通 二五九

潮来御領村々御立山御植立人足御入目帳 南御
郡方勤・潮来村大御山守・同添役 文久元年三月 横長半 一冊 五〇

(富田村御立山之内松苗目拾植立書上) 大御山
守宛 文久二年三月 一通 二六四

(島崎村御立山植立苗木預り覚) 小御山守・村
大御山守宛 文久二年三月 一通 二六五

潮来御預村々御立山植立人足御入目帳 潮来村
大御山守・牛堀村添役 文久二年四月 横長半 一冊 六七

潮来御領村々五ヶ村御立山御植立御入目書上
文久二年一月 横長半 一冊 六五

潮来御領村々御立山戌春御植立苗木人足積手控
大御山守御使 文久二年正月 横長半 一冊 六九

潮来御領牛堀組村々御立山子御植立御入目帳
南御郡方勤・牛堀村大御山守 文久四年三月 横長半 一冊 六三

潮来御領牛堀組村々御立山当子御植立人足御入
目帳 南御郡方勤・牛堀村大御山守 文久四年三月 横長半 一冊 六四

(潮来御領村々子御植立松苗仕訳書付) 文久四
年 一通 六三

清水村御立山松苗植立面付書上帳 小御山守・
村 牛堀村大御山守宛 元治元年三月 横長半 一冊 五九

御立山午御植立帳 大御山守 明治三年三月 横長半 一冊 五三

(御立山御植立人足并苗木調諸覚) 明治三年八
月他 一綴 五九

(清水村御植立御入用調) 牛堀村須田重作 富田
貢宛 明治四年三月 一通 五九

(清水村御山下地刈仕当植立場所取調書付) 御
山守・村 南御郡方御役所宛 明治四年二月 半 一冊 六九

御立山御植立掌中御用留 大御山守 戊三月 横長半 一冊 六四

(槻苗木植面付帳差越廻状) 堀之内 他八カ村宛
一月 一通 三九

(矢幡村苗木預り并植立分覚) 一通 三三

(御植立松杉苗覚) 一通 三三

夏刈

潮来村御領村々御立山夏刈人足日雇錢渡方帳
南御郡方 牛堀村大御山守宛 嘉永四年八月 横長半 一冊 五九

(辻村御立山夏下刈願上書付) 大御山守宛 嘉永七年六月

(清水村御立山之内御植立場夏刈願上書付) 小
山守・村 大御山守宛 嘉永七年六月

潮来御領村々御立山夏刈人足日雇錢渡方帳 南
御郡方 牛堀村大御山守宛 安政二年八月

潮来御領村々御立山夏刈御入目帳 牛堀村大御
山守 安政三年八月

潮来御領村々御立山夏刈人足積書上帳 南御郡
方・牛堀村大御山守 安政三年八月

潮来御領村々御立山夏刈御入目帳 牛堀村御大
山守・潮来村大御山守 安政四年七月

赤須村御立山定例掃除下地夏刈人足面付書上帳
大御山守 安政四年七月

潮来御領村々御立山夏刈切入目帳 大御山守添
役 安政五年八月

御立山夏刈面付書上帳 大御山守宛 安政五年七
・八月

潮来御領村々御立山之内当未夏刈御入目書出
大御山守添役 安政六年八月

(清水・茂木・赤須・堀之内村等御立山御払跡
夏刈場并植立度略絵図) 大御山守宛 安政六年
七月

潮来御領村々御立山申夏刈御入目帳扣 大御山
守添役 万延元年八月

(島崎・堀之内・茂木・清水村御立山夏刈場并
人足取調書上) 文久元年六月

潮来御領村々御立山当西夏刈人足御日雇錢渡方
帳 大御山守添役 文久元年八月

(御立山戊夏刈御入目扣) 文久元年

(堀之内・矢幡・清水・富田村御立山夏刈并植
立入目調渡帳) 文久二年―慶応元年

潮来御領之内五ヶ村組当亥夏刈御入目帳 牛堀
村大御山守 文久三年八月

潮来御領五ヶ村組村々御立山当丑夏刈御入目帳
大御山守扣 慶応元年八月

清水村茂木御立山夏刈人足面附并賃錢調簿 慶応
四年八月

潮来御領牛堀組村々御立山当辰夏刈町步人足積
書上 牛堀村大御山守 慶応四年七月

潮来御領牛堀組村々御立山当辰夏刈人足日雇錢
渡方帳 牛堀村大御山守 慶応四年八月

潮来御領牛堀組村々午夏刈場町別人足積書上
牛堀村大御山守 明治二年一〇月

潮来御領牛堀組村々御立山当午夏刈人足御入用
帳 牛堀村大御山守 明治三年八月

潮来御領牛堀組村々御立山当午夏刈人足御入用
帳〔下書〕 牛堀村大御山守 明治三年八月

(清水村夏刈加勢人走賃渡方書付) 明治三年八
月

(清水村茂木御立山夏刈人足大図取調積書) 小
山守・庄屋 大御山守宛 午年八月

清水村茂内御立山夏刈人足覚

(富田村御立山小苗木下刈人足覚) 大御山守宛
嘉永七年六月

下刈

横長半 一冊 二五

横長半 一綴 二五

横長半 一冊 六五

横長半 一冊 六六

横長半 一冊 五九

横長半 一冊 六五

横長半 一冊 六五

横長半 一冊 六五

横長半 一冊 六六

横長半 一冊 六六

横長半 一通 六五

横長半 一通 六五

横長半 一通 六五

横長半 一通 二五

潮来御領村々御立山下地刈御入目帳 牛堀村大御山守 安政三年八月 横長半 一冊 五九

潮来御領村々御立山下地刈御入目帳 潮来村大御山守・牛堀村同添役 安政四年七月 横長半 一冊 五〇

(富田村御立山下刈人足面付) 大御山守・同御添役宛 安政四年七月 横長半 一通 二五三

潮来御領村々御立山下地刈御入目帳 大御山守添役扣 安政五年八月 横長半 一冊 五二

潮来村御領村々当未御立山之内植下地之内御入目書上 大御山守添役 安政六年八月 横長半 一冊 五三

潮来御領村々御立山植下地刈御入目帳 大御山守添役 万延元年八月 横長半 一冊 五三

潮来御領村々御立山植下地刈御植立人足御日雇錢渡方帳 大御山守 元治二年三月 横長半 一冊 六〇

潮来御領牛堀組村々御立山植下地刈人足御入用帳 大御山守 明治三年八月 横長半 一冊 六九

潮来御領牛堀組村々去巳春下地刈并御植立御入用帳 南民政局・牛堀村大御山守 明治三年四月 横長半 一冊 六九

手入

(築地・堀之内・永山・富田・矢幡・清水・嶋崎村戌御預々松苗手入賃島代渡方書付)(文久三年) 一通 七二

(清水・矢幡村受負人御預り松苗手入賃島代渡寛) 牛堀村大御山守 元治元年四月 一通 七三

潮来御領村々掘苗御仕立畑代手入賃積り書上 牛堀村大御山守 慶応元年五月 横長半 一通 七二

籌真木

永山植木割上寛 島崎村太兵衛 牛堀村須田源之丞宛 文化一〇年一〇月・同一四年一〇月 一綴 二五〇

今林山・赤須山・重山御手山植駄賃木寄帳 矢幡村川岸弥兵衛 安政二年三月 横長半 一冊 五三

嶋崎・築地・清水御立山御籌真木割立挽分駄賃總書上 村・小御山守 安政二年五月 横長半 一冊 五二

(茂内御立山御籌真木割立并駄賃帳) 清水村掛り・山守 安政三年三月 横長半 一冊 五三

風枯損木

(堀之内村茂木共風打松取調書上) 小御山守・庄屋 御郡御奉行所宛 安政三年二月 一通 二五

(潮来村風折根返り松入札寛) 村 大御山守宛 安政三年二月 一通 二五

(永山札枯他松脱落札寛) 札主 御役所宛 安政四年一二月他 一綴 二六

牛堀・永山御立山風折木被下木分取扱 一通 二六

伐木

(上戸村御立山統伐木願上書付) 小山守・庄屋 大御山守宛 安政三年一〇・十一月 一綴 二五

(赤須村御立山添持分山伐木願上書付) 村御役所宛・大御山守宛 安政三年一二月・同四年正月 一綴 二五

(富田村御立山無極印伐株ニ付願上書付) 大御山守宛 安政七年正月 一通 二六

潮来御領之内御立山御植立苗木伐出し手入賃渡方帳 潮来村大御山守 文久三年三月 横長半 一冊 六六

払山木

(鳥羽田村御山御払入札望人無之ニ付連判手形) 上戸・島崎・牛堀村 元禄四年二月 一通 二五〇

(松元木御払家材木仰付願書付) 願人牛堀村内 永山村百姓林次郎 御郡御奉行宛 正徳五年八月 一通 二五〇

(牛堀村御立山枝葉入札金銀ニ付一札) 牛堀村 享保一九年二月 一通 二四

(材木人足覚) 庄屋 大山守宛 宝曆二年一〇月 一通 二六

(富田村御立山松焼木ニ杭木被下置覚) 大御山守宛 文久二年三月 一通 二六

御立山之内村ニ被下木代渡覚帳 大御山守 文久三年正月 一冊 五頁

(去戌九月分御払山代金潮来御領不納之者取調可差上申付書付) 潮来・牛堀村大御山守 文久三年二月 一通 二五

(御払山代金手形) 大御山守 明治二年五・六・八月 一綴 七

(御払代金納覚) 潮来村大御山守 南郡民政局御役所宛 明治二年一〇月 一通 二六

(牛堀村組頭家作御救御払木代受取覚) 飯村誠九郎 正月 一通 二五

(茂木村御山払代受取覚) 大内誠藏 茂木村宛 一〇月 一通 二五

(須田源之丞・白井喜三治・須田内蔵八宛御払山開札御酒代被下遣覚) 一通 二五

その他

(御立山ニ而江戸御用松材木御取ニ付米請取覚) 本山棟梁 元禄一〇年二月 一通 二四

(御立山払跡之内日光寺新林馬草場仰付願書付) 牛堀村永山共 御郡御役所宛 宝曆三年二月 一綴 二四

(辻・清水・富田・築地・堀之内・茂木・嶋崎村御立山火除見廻申上書付) 小山守・村 御郡御奉行所宛 天保二年四月 一冊 三

御立山代金積リ并廻リ方之人書上帳 宍倉村大御山守 御郡御奉行所宛 嘉永七年四月 半 一冊 七

清水村御立山駄賃木寄帳 矢幡川岸弥兵衛 安政二年三月 横長半 一冊 五

(潮来御領村々人足積書上帳) 安政四年閏五月 横長半 一冊 二〇

(富田村御立山縁刈人足面付) 大御山守宛 安政四年七月 一通 二五

(赤須村小御山守御用柏苗手付金井中食泊り代覚) 赤須村小御山守 大御山守宛 文久元年九月 一綴 二五

(矢幡・清水・堀之内村松苗御預リ申一札) 村御郡御奉行所宛 文久三年二月・同四年三月・元治二年正月 半 一冊 五

(柏木苗代金勘定請取書付) 牛堀須田宛 戊年三月九日 一通 二五

(御立山之儀ニ付申渡一札) 庄屋御衆中宛 卯月 一通 二七

(中御立山老本覚) 請負人伊平次他 一通 二五

貢租

検見

検見帳

永山村田方小検見案内帳 式冊之内鮎沢伊太夫代和田長衛門 貞享三年一月 美 一冊 四

永山村海新田御検見案内帳 (永山村新開方明曆二申ノ寛保元酉迄拾式冊御検地水帳書拔帳) 庄屋 寛保一年四月 美 一冊 五

牛堀村田方小検見案内帳 延享五年三月	美	一冊	〇
永山村田方小検見御案内帳 卷〔永山村本郷分田方順帳 志〕 安永六年二月	美	一冊	三
永山村田方小検見御案内帳 式〔永山村本郷分田方順帳 式〕 安永六年二月	美	一冊	三
牛堀邑新田小検見案内帳〔牛堀村新開田方明曆二申 _ノ 寛保元丑迄御檢地水帳四冊之書拔帳〕 天明五年二月	美	一冊	三
永山村海新田御検見案内帳 天明五年七月〔永山村新開田方明曆二申 _ノ 天明二寅迄拾七冊御檢地水帳書拔帳 天明五年二月〕	美	一冊	四
永山村溜池代切替田方小検見御案内帳 文化二年八月	美	一冊	五
小検見			
神文前書 元禄二年		一綴	二〇
(小検見之節仰付書付) 下吉影村庄屋 牛堀・下石崎・鯉淵・中大野村宛 元禄四年九月		一通	二四
指上申御案内手形 安永二年八月		一通	三六
(小検見ニ付村々連利証文) 安永三年八月		一通	二五
(田高小検見引覚) 文政二年―天保一年		一通	二〇
小検見引方帳			
牛堀村戌小検見引方帳 紅葉御郡方立合 文政九年九月	横美半	一冊	二四
牛堀村田方小検見引方帳 紅葉御郡方立合 文政一年九月	横美半	一冊	二五
牛堀村田方巳小検見引方帳 南御郡方立合 天保四年九月	横美半	一冊	三〇
牛堀村田方戌小検見引方帳 南御郡方立合 天保九年八月	横美半	一冊	二七
牛堀村田方亥小検見引方帳 南御郡方立合 天保一〇年九月	横美半	一冊	二〇
小検見引方百石厘割姓名帳			
玉造浜組村々田方午小検見引方百石厘割姓名帳 文政五年九月	横長半	一冊	二〇
川中子組村々寅小検見引方百石厘割姓名帳 文政一三年八月	横長半	一冊	二〇
羽生組田方寅小検見百石厘割姓名帳 天保二年九月	横長半	一冊	二〇
小吹組村々辰小検見引方百石厘割姓名帳 天保三年一〇月	横長半	一冊	二〇
环大野組之内村々酉小検見引方百石厘割姓名帳 天保八年九月	横長半	一冊	二〇
塩子組村々田方戌小検見引方百石厘割姓名帳 天保九年九月	横長半	一冊	二〇
西大野組田方未小検見引方百石厘割姓名帳	横長半	一冊	二〇
小検見割			
(酉小検見割) (天保八年九)	横長半	一冊	二二
戌小検見割 牛堀村須田茂十郎 天保九年九月	横長半	一冊	二二
小検見入用			
小検見様諸入用之通 村役所 明治三年一〇月	横長半	一冊	五
牛堀・永山・堀之内午田方小検見引沢ヶ井入用取立帳 明治三年一〇月	横長半	一冊	五
鳥見分願			

(御領村々島作見分願書付) 御郡御役所宛 明和八年七月

一通 二〇五

(潮来御領拾六ヶ村島方作毛不宜ニ付御考弁願書付) 御郡御奉行所宛 寛政五年八月

一通 二〇七

割付

割付状

正保年より天和三迄御割附牛堀写 正保二年
天和三年

美 一冊 三三

(茂木村亥御年貢可納取付状) 天和三年一〇月

一通 二六

(堀野内村寅御年貢可納取付状) 貞享三年一〇月

一通 七五

牛堀村分卯御割付目安之覚 元禄二年一二月

一通 三〇四

(牛堀・永山村御年貢可納取付状) 寛保元年
三年

一綴 四三

潮来御領村々御割付之写 須田十松写 天保一五
年一二月

横長半 一冊 七〇

(牛堀村御割附面) 慶応三年

横長半 一冊 五六

(牛堀村巳御年貢可納取付状) 明治二年一〇月

一通 七七

(永山村巳御年貢可納取付状) 明治二年一〇月

一通 七六

(茂木村午御年貢可納取付状) 明治三年一〇月

一通 七六

(堀之内村御年貢可納取付状) 明治三年一〇月

一通 七九

(下絵国香取郡三嶋村酉御年貢割付状)

酉御年貢米金割付

亥割付

一通 一六三

一通 一六四

割付帳

牛堀村永山共御物成可納割付帳 享保三年一
月

横長半 一冊 三

牛堀村永山共卯之御物成可納割付帳 享保八年
一月

横長半 一冊 六

牛堀村永山共卯之御物成可納割付帳 享保八年
一月

横長半 一冊 六

牛堀村永山共辰御年貢可納割付帳 享保九年一
月

横長半 一冊 六

牛堀村永山共巳御年貢可納割付帳 享保一〇年
一月

横長半 一冊 九

牛堀村永山共巳御年貢可納割付帳 享保一〇年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共午御年貢可納割付帳 享保一一年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共午御年貢可納割付帳 享保一一年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共申御年貢可納割付帳 享保一三年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共酉御年貢可納割付帳 享保一四年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共戌御年貢可納割付帳 享保一五年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共亥御年貢可納割付帳 享保一六年
一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共子ノ御年貢可納割付帳 享保一七
年一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共子ノ御年貢可納割付帳 享保一七
年一月

横長半 一冊 〇

牛堀村永山共丑御年貢可納割付帳	享保一八年	横長半	二冊	二〇
牛堀村永山共寅御年貢可納割付帳	享保一九年	横長半	一冊	二二
牛堀村永山共卯御年貢可納割付帳	享保二〇年	横長半	一冊	二三
小割付元帳				
牛堀・永山兩村寅御年貢可納小割付元帳	慶応二年二月	横長半	一冊	二四
堀之内・茂木兩村卯御年貢可納小割付元帳	慶応三年二月	横長半	一冊	二五
牛堀村永山共辰御歲貢可納小割付元帳	明治元年一月	横長半	一冊	二六
小割付帳				
牛堀村巳御物成可納小割付帳	宝曆一二年二月	横長半	一冊	二七
牛堀村寅御年貢可納小割付帳	嘉永七年一月	横長半	一冊	二八
牛堀村寅御年貢出納小割付帳	嘉永七年一月	横長半	一冊	二九
永山村寅御年貢可納小割付帳	嘉永七年一月	横長半	一冊	三〇
永山村寅御年貢可納小割付帳	嘉永七年一月	横長半	一冊	三一
永山村寅御年貢可納小割付帳	嘉永七年一月	横長半	一冊	三二
牛堀村卯御年貢可納小割付帳	安政二年一月	横長半	一冊	三三
牛堀村卯御年貢可納小割付帳	安政二年一月	横長半	一冊	三四
永山村卯御年貢可納小割付帳	安政二年一月	横長半	一冊	三五
永山村卯御年貢可納小割付帳	安政二年一月	横長半	一冊	三六

永山村卯御年貢可納小割付帳	安政二年一月	横長半	一冊	三三
牛堀村辰御年貢可納小割付帳	安政三年一月	横長半	一冊	三四
牛堀村辰御年貢可納小割付帳	安政三年一月	横長半	一冊	三五
永山村辰御年貢可納小割付帳	安政三年一月	横長半	一冊	三六
永山村辰御年貢可納小割付帳	安政三年一月	横長半	一冊	三七
永山村辰御年貢可納小割付帳	安政三年一月	横長半	一冊	三八
牛堀村巳御年貢可納小割付帳	安政四年一月	横長半	一冊	三九
牛堀村巳御年貢可納小割付帳	安政四年一月	横長半	一冊	四〇
永山村巳御年貢可納小割付帳	安政四年一月	横長半	一冊	四一
永山村巳御年貢可納小割付帳	安政四年一月	横長半	一冊	四二
永山村巳御年貢可納小割付帳	安政四年一月	横長半	一冊	四三
牛堀村午御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四四
牛堀村午御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四五
永山村午御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四六
永山村午御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四七
永山村午御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四八
牛堀村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	四九
牛堀村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五〇
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五一
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五二
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五三
牛堀村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五四
牛堀村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五五
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五六
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五七
永山村申御年貢可納小割付帳	安政五年一月	横長半	一冊	五八
牛堀村丑御年貢可納小割付帳	慶応元年一月	横長半	一冊	五九

牛堀村丑御年貢可納小割付帳	慶応元年一月	横長半	一冊	一四
永山村丑御年貢可納小割付帳	慶応元年一月	横長半	一冊	一四
永山村丑御年貢可納小割付帳	慶応元年一月	横長半	一冊	一四
永山村丑御年貢可納小割付帳	慶応元年一月	横長半	一冊	一四
牛堀村永山共万差錢小前割立帳	慶応元年一月	横長半	一冊	一四

(牛堀村永山共免寛) 西年八月

取納

金穀勘定帳

牛堀村永山・鳴崎・赤須卯年御年貢金穀勘定其外万之帳共		横半半	合一冊	
牛堀・永山卯御年貢并金穀勘定下書	天保一四	横半半	一冊	一三
鳴崎・赤須御年貢勘定下書	天保一四	横半半	一冊	一三
牛堀・永山辰御年貢并金穀勘定下書	天保一五	横半半	一冊	一三
鳴崎・赤須御年貢勘定帳	天保一五年霜月	横半半	一冊	一三
牛堀村永山共巳御年貢并金穀勘定下書	弘化一	横半半	一冊	一三
鳴崎村赤須共御年貢勘定帳	弘化二年一〇月	横半半	一冊	一三
牛堀村永山共午御年貢金穀勘定下帳	弘化三年九月	横半半	一冊	一三

鳴崎・赤須申御年貢勘定帳〔下書〕 嘉永元年二月

堀之内・茂木両村卯金穀万勘定元帳 慶応三年一二月

(牛堀村御歳貢万金穀勘定元帳) 慶応三年一二月

堀之内・茂木両村辰御歳貢万金穀勘定元帳 治元年一月

堀之内・茂木両村巳御歳貢金穀別勘定元帳 治二年一月

堀之内・茂木両村午御歳貢金穀万勘定元帳 治三年閏一〇月

堀之内・茂木両村元御除地分御歳貢勘定帳 明治四年一月

牛堀村永山共金穀勘定帳 納

(總納寛) 貞享元年二月

(卯年分藤右衛門組年貢納寛) 貞享五年二月

御所務方金鑑上納扣并村方取立覚帳 牛堀村永山共庄屋 安永九年文化二年

牛堀・永山共午御年貢并金鑑諸上納指錢帳 文化七年一〇月

御收納通帳 堀之内村茂木共庄屋・里正 慶応二年三月

御收納之通 組頭杉山五平次 慶応四年五月

御收納通 牛堀分・永山分 明治六年四月

御上納通 堀之内村扱所 牛堀村須田幹之助宛 明治八年

諸上納之通 明治九年二月

(潮来郷村御年貢米受取寛) 小梅会斗掛リ 須田重作宛 申年二月

(村々諸金總上納分寛) 正月

(金銀總納手形寛) 五月

(御年貢米金請取帳)

(年貢納方寛)

(納過米御売付ニ付相渡申手形) 上戸村 牛堀村宛 延宝五年二月

牛堀村巳ノ御物成江戸納寛 板久村太カ右衛門 牛村平十郎宛 午年一〇月

(御年貢米進分納ニ付相渡シ申手形) 長山村組頭 (島崎村カ) 庄屋宛 酉年四月

夫役

人足

(牛堀村永山 他九カ村人足御扶持請取手形) 享保一九年二月

(潮来・辻村御既方人足寄場荒子増給相納寛) 大御山守宛 安政三年二月

水戸御城下御役処詰合人足賃勘定 元治元年二月

横長半 一冊 六三

横長半 一冊 六三

一綴 一〇九

一通 一〇九

一通 一〇九

一冊 五〇

一通 三六

一通 三〇

一通 二七

一通 三三

一通 一五

一通 三〇

一冊 五〇

(秋葉村人足寄場方荒子増給金請取寛) 秋葉村大御山守 牛堀村大御山守宛 巳年正月

(永山村人足道中病氣村下リ之者全快申出書付) 三月

(永山村新藏人足役御免帰村ニ付差紙) 人足寄場方 永山村庄屋宛 九月

(延方村人足拝借食物代返納寛) 牛堀村御役人中宛 一〇月

(御既方荒子給金渡ニ付寛)

黒 銀

(黒銀請状) 牛堀村 貞享二年三月

(黒銀書上手形) 牛堀村 貞享三・四年

(延方村既方黒銀給金受取寛他) 延方村庄屋大御山守宛 安政二年一月

(黒銀御給金請取寛) 村役元・須田重作宛 安政二年二月・同三年二月

(江戸黒銀奉公願并名年改書付) 大御山守・郡御奉行所宛 安政三年二月

(東京黒銀出人書上) 南部民政御役所・大御山守宛 明治二年二月

(東京黒銀奉公減帰村ニ付増給書上) 南民政御役所・大御山守宛 明治三年閏一〇月

(黒銀晦取ニ付指紙指上方寛) 牛堀村 壬申二月

(永山村他九カ村黒銀仰付ニ付廻状)

一通 三三

一通 一四七

一通 三三

一通 三三

一通 一五

一通 三六

一通 六九

一綴 八〇

一綴 一〇二

一綴 八七

一綴 八三

一綴 八三

一綴 八三

一綴 八四

一通 一四七

一冊 一五

払勘定

物成払勘定

牛堀村永山共ニ巳御物成米雜石金鏝払勘定帳 延宝六年六月	横長半	一冊	三九
牛堀村永山共ニ午御物成米雜石金鏝払勘定帳 延宝七年六月	横長半	一冊	三〇
牛堀村永山共酉御物成払勘定帳 天和二年七月	横長半	一冊	三三
牛堀村永山共戌御物成米雜石金鏝払勘定帳 天和三年六月	横長半	一冊	三三
牛堀村永山共亥御物成払勘定帳 貞享元年霜月	横長半	一冊	三三
牛堀村永山共子之御物成米雜石払勘定帳 貞享二年霜月	横長半	一冊	三四
牛堀村永山共丑御物成米雜石払勘定帳 貞享三年霜月	横長半	一冊	三五
牛堀村永山共寅御物成米雜石払勘定帳 貞享四年霜月	横長半	一冊	三六
牛堀村永山共ニ巳御物成米雜石払勘定帳 元禄三年七月	横長半	一冊	三七
牛堀村永山共未御物成米雜石払勘定帳 元禄五年九月	横長半	一冊	三六
牛堀村永山共申御物成米雜石払勘定帳 元禄六年六月	横長半	一冊	三六
牛堀村永山共酉之御物成米雜石払勘定帳 元禄七年六月	横長半	一冊	三〇
牛堀村永山共戌之寅御物成米雜石払勘定帳 元禄八年六月	横長半	一冊	三三

牛堀村永山共寅之御物成米雜石払勘定帳
元禄
一二年閏九月

横長半 一冊 三三

牛堀村永山共未之御物成米雜石払勘定帳
宝永
元年八月

横長半 一冊 三三

牛堀村永山共申之御物成米雜石払勘定帳
宝永
二年一〇月

横長半 一冊 三四

辰御物成米雜石払勘定帳

横長半 一冊 三四

牛堀・永山共申ノ御年貢米雜石共払勘定

横長半 一通 三三

米方払勘定

堀之内・茂木両村米方払勘定元割帳
慶応三年
一月

横長半 一冊 三三

○

元禄六酉御売付直段之覚
元禄七年六月

一通 一四七

(御払米代請取書付) 須田重作宛
丑年三月

一通 一三七

払勘定組割 午年力

一綴 二〇五

(御払米落札請負覚) 札主 村御役所宛
一二月

一綴 四五

城米

御城米之内御直付覚
貞享二年

一通 二〇〇

(牛堀村御城米納過代金請取一札)
牛堀村源之丞
板久村勘兵衛宛
貞享三年四月

一通 二〇三

(城米ニ付仰渡書)
貞享四年七月

一通 二三四

(潮来御領村々御藏納分引請手形)
海老沢村請負人庄屋
牛堀村大御山守宛
天保七年一二月

一通 二四六

牛堀・永山両村文久元年酉御城米納庭帳
文久元年

横長半 一冊 三四

(島崎村赤須共辰御城米出辻) 大御山守宛 明治元年一月 一通 三六

潮来御領辰御城米勘定帳 明治元年二月 横長半 一冊 四一

(富田村辰御城米出辻取調書付) 御郡御奉行所宛 明治元年二月 綴 一綴 三六

御城米組訳帳 役元 明治二年一〇月 横長半 一冊 三七

牛堀・永山已御城米組訳元帳 明治二年一月 横長半 一冊 三八

潮来御領已御城米勘定帳 明治二年二月 横長半 一冊 三九

御城米書上覚 一通 四〇

丑御城米江戸ニ而売めり分勘定目錄 一通 四一

○ (御城米難船入用割合鑑受取覚) 潮来村長 一通 四二

牛堀村御役人衆中宛 一通 四三

浮役

浮役取立

卯諸浮役上納辻之覚 元禄二三年二月 一通 四四

(牛堀村永山共ニ定浮役請書) 正徳四年一月 一通 四五

定例浮役金元帳 須田喜源次 文政七年三月 合二冊 二六

牛堀・永山両村御立山分附山元帳 文政五年二月 一冊 二七

牛堀村竹弘元改帳 文政四年六月 一冊 二八

永山村分竹弘元帳 文政七年三月 一冊 二九

蒲野銭元帳 文政七年三月 一冊 三〇

永山分払元改帳調相成候迄取立元帳 文政七年三月 半 一冊 三六

浮役組帳 (附山元帳) 文政五年二月 半 一冊 三九

蒲野銭割 半 一冊 三〇

浮役組訳 半 一冊 三一

(亥三月改竹払山野銭蒲野銭) 文久三年三月 半 一冊 三二

浮役銭取立覚帳 安政五年三月 横長半 一冊 三五

浮役金取立覚帳 安政六年三月 横長半 一冊 三六

諸浮役金取立覚 安政七年三月 横長半 一冊 三七

諸浮役金取立覚 万延二年三月 横長半 一冊 三八

諸浮役金取立覚 文久二年三月 横長半 一冊 三九

(牛堀村永山共浮役書上控) 慶応三年正月一四 年二月 一綴 二九

鳥運上 一綴 二九

(永山村鳥殺生上納請取覚) 文久二年正月一二月 一綴 二五

(堀之内村獵師無獵申上書付) 郡務方御役所宛 明治四年八月 一通 二六

丑ノ鳥運上弁割之覚 一通 二四

竹 一通 二四

成ノ年分竹勘定帳 寛保四年二月 横長半 一冊 三五

(見和村御用さし竹相渡申一礼) 見和村請負人 一通 四〇

牛堀村庄屋宛 寛延二年二月 横長半 一冊 三六

(牛堀村納小竹之覚) 寛政二一年カ 横長半 一冊 三六

矢幡村納竹之覚 矢幡村浅右衛門 牛堀村源之丞
宛 丑年一月

一通 二七

船役取立写 弘化二年三月

横長平 一冊 六七

矢幡村当申ノ御役所竹納辻 矢幡村惣衛門 牛堀
村平十郎宛 申年二月

一通 二九

船役取立 安政二年三月

横長平 一冊 六九

(潮来領当已納辻竹覚) 巳年一〇月

一通 三〇

船役取立 安政三年三月

横長平 一冊 七三

(堀之内村辰納竹之帳覚) 堀之内村瀬左衛門 牛
堀村源之丞宛 五月

一通 二六

船役錢取立帳 安政四年三月

横長平 一冊 七三

辰ノ納竹之覚 三郎右衛門 牛堀村源之丞宛 五
月

一通 三三

船役錢取立 里正 安政六年三月

横長平 一冊 七五

未年竹弘山せん

横長平

一冊 八六

舟役錢取立勘定 安政七年三月

横長平 一冊 七六

(潮来領当已納辻竹舟積之覚)

一通 三〇

舟役錢取立帳 里正 万延二年三月

横長平 一冊 七七

(竹納勘定覚)

一通 三〇

○

蒲

蒲請負金手形 永山村請負人 村御役人中宛 嘉
永七年七月

一通 三五

(牛堀村船休ノ堀役錢会所請負申一札) 永山村
伊勢屋 村御役所宛 文久二年四月

一綴 一〇七

(永山村蒲池草場入札書付) 札主 村御役所宛
文久二年二月

一綴 三五

(牛堀村子ノ舟役上納過鑑返納失念ニ付覚)

一通 一〇二

(永山村湖水附字地切替ニ付受負申一札) 永山
村受負人 村御役所宛 文久二年三月

一通 三六〇

(牛堀地永山共西濟懸リ物覚) 天和元年二月

一通 一三三

(蒲地御上納覚) 札主 閏七月

一通 三三三

(組割高ノ覚) 貞享元年霜月

一通 一〇〇

(蒲地大徳入札)

一通 三三六

(子年分田畑かけ高覚) 貞享元年一月

一通 一〇〇

(山野錢并蒲野錢)

一綴 二六

(藤右衛門組反別分米覚) 貞享三年二月

一通 一四四

(牛堀・永山分老石掛リ覚) 元禄三年一月

一通 一〇九

船役

申御舟役金請取覚 元禄五・六年

一通 一〇五

申金鑑請取指引帳 庄屋 組頭衆宛 享保元年極
月
(牛堀村永山共大割附租切高辻并御年貢出辻共)
延享三年一月

一通 一三三

(牛堀村高割座料差引覚) 文久二年二月
 (富田村水腐高并御救引粗覚) 牛堀村大御山守宛 明治三年一〇月
 (上戸村水腐田畑御見切救取調願上書付) 明治三年閏一〇月
 (辻村取米寄覚) 大御山守宛 明治三年閏一〇月
 (卯年々来已三月迄御上納金請取覚) 御鷹方牛堀村役人中宛 辰年一月
 (總かけ覚) 牛堀平十郎宛 一二月
 (牛堀・永山田高并新田取米覚)
 寅御代方丑ノ御売付皆済指引帳
 潮来御領村上納書上之写
 鳴崎村分御高割賄入用
 (丑之夫金割也)

村

村政

御用留

牛堀・永山両邑御用永留 庄屋 寛政カ
 牛堀・永山御用日記〔牛堀永山両村御用留〕 嘉永七年八月
 牛堀永山両村御用日記〔牛堀永山両村御用留〕 里正 安政二年正月

牛堀・永山両村御用日記 大御山守添役兼里正 安政四年正月
 牛堀・永山村御用日記 横目職兼務里正 安政五年正月
 牛堀・永山両村御用日記 安政六年正月
 牛永両里御用日記 万延二年正月
 牛永両里御用日記 里正 文久二年正月
 御用留 明治二年正月
 定式物御用留 堀之内茂木両村里正 慶応元年 明治三年
 定式御用留 長 (明治三年)
 ○
 天保年中御改正新検地御用留 須田氏 天保一〇年
 天保御改正御用永留 須田源之丞 天保一五年
 御触書永留 地 嘉永七年 元治元年
 御用永留 天 大御山守手扣共 須田氏 安政四年六月
 牛堀・永山諸事取調帳 元治元年九月
 (諸御用留帳) 慶応三年正月
 (須田源之丞役中書留覚)
 御用向書留
 大御山守留
 潮来御領大山守日記 天保六年正月
 (大御山守御用留) 天保二年

御檢地掛リ御用共潮来御領大御山守御用留 天保一三年正月 半 一冊 三

(大御山守御用留) 弘化三年 半 一冊 一六五

(当座御用留) 安政元年 半 一冊 一六五

御用留留 大御山守扣 安政二年 半 一冊 一六五

大御山守御用当座留 安政二年正月 (嘉永七年霜月分合冊) 半 一冊 一六五

大御山守御用留 安政三年正月 半 一冊 一六五

潮来御領大御山守御用留当座 安政四年正月 半 一冊 一六五

大御山守添役御用留 安政四年五月 半 一冊 一六五

御用守御用手留 大御山守添役 安政四年閏五月 横半半 一冊 一六五

大御山守添役御用留 添役 安政五年正月 半 一冊 一六五

大御山守添役御用留 安政六年正月 半 一冊 一六五

矢幡村之者共根古屋にて白浜村之者共_ハ疵被為負候件御出至御檢屍御大山守日記 大御山守添役 万延元年七月 半 一冊 一六五

大御山守御用留 文久三年正月 半 一冊 一六五

潮来御領大御山守御用留 慶応四年四月 半 一冊 一六五

村 村 況

(道法書上書付) 牛堀村 元禄一三年一月 一通 三六

(蜜柑・柑子・九年母本數書上) 牛堀村永山共 正徳二年六月 一綴 九六

(養老人御改書上) 堀之内村茂木共 御郡御奉行 所宛 安政四年正月 一通 三三

村高家數書上 牛堀村永山共 明治五年三月 半 一冊 一六五

精農・孝子・義僕・節女・校学生・隋農御届 牛堀村永山共 新治県麻生出張所宛 明治五年五月 半 一冊 三〇

(牛堀村永山共諸事取調上) 明治 一通 三五〇

庄屋・山守

牛堀・永山村役人勤永留 須田清兵衛 (寛永一八年一_ハ万延元年) 横半半 一冊 三五

(郷中麻上下着用ニ付御達) 御郡奉行 寛政一二年九月 一通 三三九

潮来御領村役人名前 大御山守源之丞 天保五年八月 横半半 一冊 三六

(築地村小御山守後役仰付願) 庄屋 大御山守宛 安政三年一二月 一通 三四五

潮来御領村役人並家格有之百姓姓名調書 大御山守添役須田重作 安政四年二月 横半半 一冊 三七

上戸村組頭退役願 村御役所・南郡民政御役所宛 明治二年五月 一綴 三四四

(小川村百姓・延方村先庄屋容駢書) 南民政御役所宛 明治二年六月 一綴 七四

牛堀・永山・堀之内・茂木村役人并百姓家格之者書上 長須田重作 明治四年正月 横半半 一冊 三六

(荒蕪地調之節五百疋御請書) 牛堀村長須田重作 茨城県御役所宛 明治五年正月 一通 一〇五

戸長以下給料旅費内訳簿 戸長役場 明治二三年四月起 美 一冊 三三

牛堀・永山・堀之内・茂木献金旧勞之者江家格御救頂戴之写 横長半 一冊 三三

(大山守・庄屋・年寄・組頭以来在役中苗字帯刀御免達書) 一通 三三七

(小山守在役中麻上下御免達書)

(村々庄屋年数他覚)

姓名録

潮来御領村々百姓姓名録 大御山守須田源之丞
天保一三年夏

潮来御領村々百姓姓名録 弘化五年三月

献金

(矢幡村新藏献金一代郷土列代々苗字帯刀麻上下御免願書付) 大御山守宛 慶応四年八月

(御改葬入用香料寸志献上仕候面付書上) 午年二月

(炮器献上代金ニ而取納御達ニ付難行届旨申上書付) 矢幡村長 卯年正月

(牛堀・永山村献金願出奇特ニ付金賞美)

(牛堀村金百両尽力ニ付感佩覚)

金融

(金子借用証文) 牛堀村 窪谷多右衛門宛 延宝七年 貞享五年

(御年貢上納金借用手形) 牛堀村 元禄五年正月

(磯浜村小舌職借用申金子手形) 磯浜村願人 牛堀村介之進宛 正徳二年七月

(当申御上納并夫食差文ニ付金子借用手形) 永山村借用人請左衛門 庄屋宛 寛政二年二月

(夫食并作立金指詰ニ付借用申金子手形) 借用人助之丞 庄屋・村役人宛 文政二二年極月

一通 三三六

一綴 二六〇

一冊 三四

一冊 二〇元

一通 三三〇

一通 二二七

一通 二五九

一冊 三三六

一通 三三〇

一綴 二七五

一通 九六

一通 九二

一通 二七三

一通 二七四

(病氣ニ付金子借用願口上) 願人よね 村御役人宛 天保九年一〇月

川上屋丹藏不時入用償方請書 村御役所宛 嘉永五年七月

(村方惣代小石川御屋敷罷出之節借金覚) 牛堀村役人惣代 安政四年一一・一二月

(富田村無利足拾ヶ年賦借用願) 御郡御奉行所宛 安政七年二月

(潮来村御拝借金証文) 潮来村拜借人 御郡御奉行所宛 元治元年四月

(米・金子借用証文) 明治二年三・四月

(搗木村用立かへ金借用証文) 鳥崎村茂兵衛・久藏 牛堀村役元宛 巳年五月

種痘

(築地村牛種痘仕候申上書付) 御郡御奉行所宛 嘉永七年四月

(堀之内村牛種痘謝礼金御救願上) 御郡御奉行所宛 嘉永七年四月

(堀之内村牛種痘願上) 御郡御奉行所 嘉永七年四月

(茂木村牛種痘御日延願書付) 御郡御奉行所宛 嘉永七年四月

衛生

(牛堀村聯合衛生委員撰孝状) 明治一八年七月

(流行病難波ニ付御金拝借願書付) 御役所宛 巳年五月

一通 九三

一通 九四

一綴 九五

一綴 一四九

一通 九七

一綴 九八

一通 二七六

一綴 二九〇

一通 二九一

一通 二九二

一通 二九三

一綴 二〇四

一通 二〇四

救荒義院

牛堀救荒義院設立書	明治三三年四月	半	一冊	三三
牛堀救荒義院設立書	明治三三年四月	半	一冊	三三
牛堀救荒義院設立願	内務大臣宛 明治三三年四月	半	一綴	三三
救荒義金組合同規約	明治三三年四月—同三六年三月		一通	三三
行方郡牛堀村・永山村村倉及牛堀救荒義金組合ノ説明	須田幹三 大正四年一〇月	半	一冊	三三
(牛堀・永山兩村村倉ニ付書上)	大正		一綴	三三
諸帳面				
堀之内村茂木共諸帳面引渡帳	平山左一郎 文久三年正月	横長半	一冊	三三
(堀之内村庄屋役諸帳面引渡願書付他)	文久三年六月	美	一冊	三三
堀之内・茂木兩村諸帳目録引渡帳	須田重作 慶応元年十二月	横長半	一冊	三三
富田村諸帳目録引渡帳	慶応四年四月	横長半	一冊	三三
(富田村諸帳目録請取帳)	須田重作宛 慶応四年七月	横長半	一冊	三三
堀之内村茂木共諸帳面請取帳	堀之内村 牛堀村須田宛 明治五年五月	横長半	一冊	三三
その他				
(家風之構ニ付相渡し申証摺手形)	長山村太右衛宛 貞享元年三月		一通	三三
(潮米御領村々村境杭木頂載願書付)	御郡御奉行所宛 慶応元年九月		一綴	三三

(地所借用御聞濟ニ付一札) 引請人 村御役所宛 明治二年二月

(浜村金銭出入帳御印御確願書) 浜村関口庄右衛門 午年五月

(諸村方書上案紙寛) 未年

絵 図

潮米御領十六ヶ村絵図 須田為則 弘化三年中夏 100×150 一鋪 四三

(牛堀村内輿地圖) 須田為幹写 明治七年一〇月 110×110 一鋪 四六

旧宅辰八分向地宅全圖百分之卷 明治一五年四月 128×97 一鋪 四四

牛堀村分間絵図 須田源之丞 118×102 一鋪 四六

延方村界行方郡区画二十二ヶ村之略図 96×28 一鋪 五〇

諸 職

酒・醬油

永山村本郷分間絵図 26×103 一鋪 三六

(酒造申渡願書付) 御郡御奉行所宛 宝永六年七月 一通 八二

(酒林売渡手形) 正徳六年五月 一通 八九

(永代酒蔵道具売渡証文) 日高利兵衛宛 明和六年三月 一通 八〇

(牛堀・永山村天明七年ノ文化五年迄酒造人出入訳相改書付) 牛堀村 御郡御奉行所宛 文政元年一〇月 一冊 八三

牛堀村・永山村酒穀元帳 文政六年二月 半 合一冊 三七

牛堀・長山初穂粃酒穀二元帳 天保六年正月 半 一冊 三六

富田村酒穀取立面付帳 安政六年二月 横長半 一冊 三六

村散連上議定帳 万延元年閏三月 横長半 一冊 三六

(浜村農間渡世造醬油渡世御金拝借一札) 御郡御奉行所 文久二年二月 一通 三三

牛堀・永山両村新古酒株并醬油濁酒高調 郡御奉行所宛 慶応四年九月 半 一冊 三六

(富田村新規濁酒渡世願上書付) 御郡御奉行所宛 慶応四年九月 一通 三三

(元治元・貳年富田・矢幡村造酒御役金上納寛) 大御山守 明治二年正月 二通 三六

(酒造ニ付触寛) 戊辰九月 一通 三六

(牛堀・永山酒穀之内貸出分返納諸方引捨ニ付了簡寛) 牛堀・永山村宛 三月 一通 三六

(潮来御領村々当丑酒役金申達寛) 牛堀村大御山守宛 一二月 横長半 一冊 三六

(酒造高書上帳) 大御山守 横長半 一冊 三六

(酒運上ニ付指上申手形案紙) 御郡奉行所宛 一通 三六

(仕法相立相統ニ付富田村佐平太他酒運上願書付) 大御山守宛 一通 三六

髮結・庄屋

(嶋崎村髮結取統願上一札) 世話人 村御役所宛 横長半 一通 二六

西髮結所普請入用留 嘉永七年六月 横長半 一冊 三六

髮結所之通 十一屋惣兵衛 大工中宛 嘉永七年六月 横長半 一冊 三六

(髮結所普請諸寛) 嘉永七年六月一閏七月 一綴 三六

庄屋普請入目帳 牛堀島屋 慶応二年七月 横長半 一冊 三三

湯屋 一通 三六

(湯屋普請入用金借用証文) 松屋源八宛 天保二年七月 一通 三六

(湯屋新規建替ニ付一札) 請負人 村御役所宛 天保二年九月 一通 三六

(釜湯屋普請請負一札) 請負人浅右衛門 村御役所宛 天保二年九月 一通 三六

(牛堀村湯屋浅右衛門并母裁許書) 嘉永二年二月 一綴 三三

(湯屋請負ニ付差上申一札) 結結村浅右衛門 村御役人中宛 嘉永三年一〇月 一通 三六

(湯屋請負上リ金滞ニ付金子借用証文) 浅右衛門 村役人中宛 嘉永三年一〇月 一通 三六

質屋 一通 三六

(牛堀村須田幹之助質屋營業願書) 権令宛 明治九年一月 半 一冊 三六

鍛冶屋 一通 三六

(鍛冶屋永渡世繁昌ニ付御見渡願) 下総国香取郡佐原村名主代 牛堀村庄屋宛 文化一三年四月 一通 三六

運送方御用鍛冶御札預リ一札 御掛札預人 村御役所宛 文政八年九月 一通 三六

(御運送方御用細工鍛冶屋御用鉄物打立ニ付一札) 一通 三六

搗壳株

(白米渡世十人搗壳株一手任可被下ニ付御請書)
青木久助他九人 慶応三年

一通 三五六

牡蠣灰焼

(牡蠣灰焼一件書付) 牛堀村願人孫重郎 嘉永三年
同五年

一綴 三三三

渡 場

牛堀渡場請負手形 請負人 村御役所宛 嘉永六年
一二月

一通 二七〇

(牛堀村地先北利根川鰻漁場并渡船場受負金証)
受負人 明治二年一二月

一綴 一〇〇

村入用

万差錢受取払

牛堀村永山共辰年分万差錢受取払方帳 正徳二年
一二月

横長半 一冊 三三三

牛堀村永山共巳年分万差錢請取払方帳 正徳三年
一二月

横長半 一冊 三三三

牛堀村永山共午年分万差錢請取払方帳 正徳四年
一二月

横長半 一冊 三三三

牛堀・永山村入目巳万指錢請払帳 天明五年一
二月

横長半 一冊 三三三

牛堀村永山共寅万指錢元割押付帳 慶応二年一
一月

横長半 一冊 二四〇

差錢打切

牛堀・永山兩村指錢打切定帳 文政六年二月
(嘉永七年九月写)

半 一冊 二五九

堀之内・茂木兩村差錢打切窺書上控 慶応元年
一二月

半 一冊 三〇〇

潮来御領村々差錢打切書上扣 牛堀村大御山守
慶応元年一二月

半 一冊 三三三

指錢元割押切

牛堀村永山共酉万指錢元割押切帳 天保八年霜
月

横長半 一冊 七〇二

牛堀村永山共卯万指錢元割押切帳 天保一四年
霜月

横長半 一冊 七〇七

牛堀村永山共辰万指錢元割押切帳 天保一五年
霜月

横長半 一冊 七〇二

郷 藏

堀之内村茂木共郷藏普請入用帳 庄屋 文政一
三年一〇月

横長半 一冊 六〇六

郷藏屋根庇等入目帳 島屋七衛門 安政三年一二
月

横長半 一冊 七〇八

(永山村郷藏普請諸入用覚) 村役人宛 安政三年

一綴 六六六

(御藏普請入用小竹納覚) 牛堀村庄屋宛 六月
六月

一通 二四三

(上戸村裨御藏普請入用繩竹納覚) 村々庄屋宛
六月

一通 二四二

自身番小屋
自身番小屋入目帳 組頭・十人頭 嘉永七年正月

横長半 一冊 三三三

仲町番屋普請入用帳 十人頭 村御役所宛 慶応
三年正月

横長半 一冊 三三三

(番屋普請入用覚) 嶋屋忠兵衛 村御役所宛 寅
年八月

横長半 一冊 二五一

(番人其他村賄入用金錢出入覚) 四年力

一通 一五九三

制札場

牛堀村御制札場繕御普請御入目帳 立合紅葉御郡方 文化三年二月 横美半 一冊 〇兌

牛堀村御制札新規御普請御入目帳 立合紅葉御郡方 文化一〇年七月 横美半 一冊 八三

変死

元飯貝村出無人別佐兵衛行倒病死御見屍願諸入用取調帳 組頭・十人組頭 安政七年三月 横長半 一冊 三〇

変死人諸入用払出帳 組頭・十人頭 万延元年二月 横長半 一冊 三〇

諸通

諸入用之通 牛堀会所 慶応二年六月 横長半 合一冊 五九

御賄諸品買入帳 台所庄蔵 明治二年一〇月 横半半 一冊 〇〇

諸品通 堀之内村用 明治二年一〇月 横半半 一冊 〇九

諸品通 魚屋林蔵 御役所御台所宛 明治三年正月 横半半 一冊 〇七

御賄之通 まつや源八 村御役所宛 明治三年四月 横半半 一冊 〇九

請取

(敷石竹藁代払覚) 東組頭 村御役所宛 万延元年一月 一通 一五七

(普請人足賃諸入用共請取覚他) 村御役所宛 文久四年四月一二月 一綴 一五七

(諸請取覚) 御役所宛 明治二年五・八月 一綴 八三

(地白木綿切代覚) 清見や孫四郎 御役所宛 巳年四月 一通 三三

村 村入用

(椎橋板代金請取覚) 甚平 村御役所宛 巳年五月 一通 三三三

(村用立并代金覚) 申年六一〇月 一綴 三三三

(牛堀亀屋御用立金受取書) 村役人宛 午年二月 一通 三三〇

(牛堀村床屋諸金子請取覚) 辰年九月・寅年十二月・卯年八月・他 一綴 三三五

(駄賃請取覚) 御役所宛 辰年一〇月 一通 一四四

(瓦師代金覚) 瓦師安五郎 潮来御役所御役人衆中宛 子年七月 一通 一四九

(わらそり代覚) 松屋利兵衛 村御役所宛 辰年一〇月 一通 一四三

(上戸村押蔵普請大繩受取覚) 西野 永山村庄屋宛 卯年一二月 一通 一六元

(村用六張代金請取覚) 芝宿平塚 牛堀村御役元宛 辰年一〇月 一通 三六元

(風呂・釜等代金受取覚) 御役本宛 二月 一通 三六元

(御印旗紺屋請取覚) 紺屋藤平 御役所宛 四月 一通 三五

(まき式束代覚) 春日や伊兵衛 一〇月 一通 一四三

(蓑・提灯・風呂敷受取覚) 富田村 一〇月 一通 三五三

(丈間糸代覚) 島屋 村御役元宛 一〇月 一通 三六六

(牛堀村御高札下石垣覚) 牛堀村御役所宛 酉年二月 一綴 三五四

(潮来村石屋相積置覚) 牛堀村役所宛 一二月 一通 三三三

○石屋

(潮来石屋請取覚) 牛堀村御役所宛 一二月 一通 二五三

その他

亥ノ引方覚 天和三年一月 一通 二七九

(小払てかた相渡申覚) 牛堀村永山共庄屋 貞享三年七月 一通 三〇三

(作左衛門御触下指置ニ付古元并宗門之儀一札) 貞享三年一〇月 一通 二六三

(御蔵屋敷代方并庄屋夫金共三組割覚) 庄屋平十郎・組頭 元禄五年一月 一通 二六八

村々指引帳 元禄六年四月 一通 二五八

牛堀村永山共酉ノ年中金總取趣 庄屋 宝曆三年正月 一冊 二五三

(永山村々益勘定受払帳) (安政元年—文久元年) 横長半 一冊 二五五

息栖前三拾七ヶ村組合高割願 牛堀・永山両村 中村三郎宛 天保三年八月 一通 二六〇

(江戸迄里数御調ニ付書上写) 弘化二年 一通 二五三

払方判取帳 永山村役所 文久二年四月 一冊 二八三

(当亥三月ノ八月迄万小払書上) 矢幡村 御郡 御奉行所宛 文久三年八月 一通 二五九

白米日記帳 役所庄藏・長藏 明治二年九月 一冊 二六五

古道具御払控帳 明治三年正月 横長半 一冊 三〇〇

(御払味喰御払代錢書上覚) 潮来村 南民政御役所宛 明治三年六月 一通 二五五

(回章受取記) 富田村戸長 牛堀村御役人中宛 酉年一月 一通 二五〇

(村用諸用立并代金覚) 御役所宛 酉年二月・申年二月 一綴 二九四

小遣之覚 文吉・利平 村御役所宛 辰年一〇月 一綴 二四六

(別紙老通御附配符御付継送願) 潮来村長 大御山守須田源之丞宛 辰年一二月 一通 二五〇

(諸入用總覚) 辰年一二月 一通 二五八

(真木かり物返し覚) 牛堀村庄屋宛 寅年一二月 一通 二六七

(人足割覚) 牛堀村庄屋 寅年一二月 一通 二六九

(牛堀永山・鳴崎赤須村分普請他并御竿入之節入目御内調) 子年一〇月 一綴 二六〇

(あき俵紙御茶御下ヶ願書付) 岩本吉三郎 御役所諸宛 八月他 一綴 二七〇

(鴉鴉雉子鶏印鑑老枚請取覚) 御鷹方川又十松 牛堀村役人中宛 一二月 一通 二五二

せこ割 牛堀村永山共庄屋宛 一二月 一通 二六二

賄方書状 当村役人衆中宛 七日 一通 二五九

(富田村清兵衛他持高覚) 一通 二六六

(大工作料釘代木挽作料指上申一札) 一通 二七〇

(永山水神下老海浜田共五ヶ年入札覚) 札入 永山村御役人衆中宛 一通 二三八

連封式通之内引上分 一通 二六八

(堀之内村入用覚) 一通 二四三

(牛堀・永山村差錢高覚) 一通 二五八

(向場御出掛ニ付口上書) 又右衛門 御役元宛 一通 二五七

(寅ノ定夫割) 一通 二五七

(人馬代鑑覚力)

(代方夫金・指銭等組別払覚帳)

(断簡)

戸口

人別帳

行方郡永山郷正人別村控	安政四年正月	横半半	一冊	三〇
行方郡永山村正人別書上	安政四年正月	横美半半	一冊	四四
行方郡牛堀村正人別扣	安政四年正月	横半半	一冊	三三
行方郡永山村人別元帳	元治元年七月	美	一冊	二六
牛堀村永山共借住人別書上	明治三年四月	横半半	一冊	四三
行方郡牛堀村人別元帳	明治三年七月	美	一冊	五九
行方郡永山村人別書上帳	明治三年七月	美	一冊	六〇
行方郡永山村人別元帳	明治三年七月	美	一冊	六〇
行方郡牛堀村軒別順帳	明治四年正月	横美半半	合一冊	六一
1 行方郡牛堀村軒別帳	明治四年正月	横美半半	一冊	六一
2 行方郡牛堀村借家人書上	明治四年正月	横美半半	一冊	六一
出入取調				
堀之内・茨木両村人別出入取調書上	文久三年七月	半	一冊	三三
堀之内・茂木両村人別出入改差引書上帳	元治元年六月・慶応元年六月	半	一冊	三三

送・請取

(人別送り一札)	文化八年	明治三年	一綴	六〇	
(送り状)	文化一三年	明治三年	一綴	七〇	
(人別受取状)	文政五年	明治三年	一綴	七〇	
(人別請取状)	潮来村長	永山村庄屋宛	慶応四年八月	四三	
○					
(他領へ奉公之儀ニ付指上申手形)	牛堀村永山共	元禄一五年二月	一通	二〇二	
縁組					
(他領江式拾ヶ年以来養子女縁付書書上)	牛堀村永山共	正徳二年二月	一通	六〇	
(他領嫁婿賞ニ付願上申一札)	村役人衆中宛	正徳三年一〇月	一通	六三	
(他家跡入縁談仰付願上書付)	牛堀村永山共	御郡御奉行所宛	正徳六年四月	一通	六三
(簪縁組願上書付下書)	牛堀村永山共	御郡御奉行所宛	享保一六年四月	一通	六六
(他領縁組仰付願上書付)	牛堀村	御郡御奉行所宛	寛延四年正月	一通	六六
(養子縁組ニ付檀中消帳一札)	佐倉領賀曾利村	円蔵寺	文化八年正月	一通	六九
(他処縁辺願之通人別除ニ付申達状)	牛堀・永山両村庄屋宛	七月	一通	二五九	
借地・借屋					
(永山村借屋願上書付)	御郡御奉行所宛	享保七年二月	一通	六三	

(借屋引越願上書付) 鈴木九十郎知行所木原村願人 元文四年九月

一通 六五

(借用御地面手形) 村御役所宛 文政六年一丈久元年

一綴 一〇六

分家・別家

(別家願書付) 牛堀村 寺社御奉行所宛 享保一三年八月

一通 六六

辻村五明坪周助分家取立一件願書 辻村 御郡御奉行所宛 嘉永七年五月

一冊 一〇七

辻村五明坪卯右衛門分家取立一件願書 辻村 御郡御奉行所宛 嘉永七年五月

一冊 一〇八

懐胎・出生

(牛堀・玉造村逆胎死産申上并容駱書) 村御役所宛 嘉永五・六年

一綴 六七

(去寅年分出生有無書上指出覚) 大御山守 上戸・延方・潮来・矢幡・清水村庄屋宛 三月

一綴 三五

その他

(好身久三郎ニ付相渡申一札) 板久村好身 牛堀村宛 貞享三年一〇月

一通 六八

寛永十八巳年々天保八四年迄牛堀・永山新古人別取調 須田源之丞 天保八年水無月

一冊 五五

天保十五年春潮来御領正人別改 天保一五年

一通 六九

(百姓死去養子ニ付一札) 慶応四年

一綴 七〇

(吉五郎牛堀村住居ニ付指上申一札) 須田重作宛 明治三年一月

一通 七二

(出生子間引ニ付仰出書) 御町奉行中・御郡奉行中

一通 七三

(人別改残簡)

横半半 一綴 六九

土木・普請

陣屋

(御陣屋取立御普請入用書類) 潮来村 文久四年正月・二月

横美半半 一綴 七六

御陣屋御創立御用日記 文久四年二月

横美半半 一冊 七三

御普請受負諸職人請書綴 (文久四年二月一治二年二月)

美 一冊 五五

潮来村陣屋普請諸書類 文久四年二月

一袋 三五

1 御陣屋御普請御用扣 大御山守 文久四年二月

横半半 一冊

2 (諸書状并書付)

一綴

3 (屋敷指図)

一綴

4 (敷地略絵図)

55×37 一鋪

5 河須崎書状 須田幹三宛 六月

一通

(御陣屋御鉄物代請取書付) かしま宮中吾助 御陣屋御役人中宛 子年五月

一通 二七

(御陣屋御普請入用払方金受取覚) 野島 寅年二月

一通 六九

橋

(牛堀・上戸村境土橋普請ニ付操芝居免許願上書付) 牛堀・上戸村 御郡御役所宛 天明七年五月

一通 二二〇

堀之内・茂木兩村別指錢丑小鬮橋御入目人足代
文化二年一〇月

橫長平 一冊 三三

牛堀・上戸兩村境橋掛替御普請御入目帳 立合
紅葉御郡方勤御履 文化七年九月

橫美平 一冊 八〇

牛堀・上戸兩村界川土橋懸替御普請御入目帳
牛堀・上戸村 文政五年二月

橫長平 一冊 三五

牛堀・上戸兩村境川土橋掛替御普請御入目帳
立合南御郡方 天保二年九月

橫長平 一冊 三七

牛堀・上戸兩村境川土橋掛替御普請御入目書
上帳 大御山守 天保二年九月

橫長平 一冊 二五

牛堀・上戸境川土橋掛替御普請御入目帳 立合
南御郡方 弘化四年三月

橫長平 一冊 三六

牛堀・上戸兩村境土橋御普請御入目帳 牛堀・
上戸村 万延元年六月

橫長平 一冊 二九

牛堀・上戸兩村境土橋繕普請日記 大御山守御
役 万延元年五月

橫半平 一冊 五七

牛堀・上戸兩村界土橋御普請御入目帳 牛堀
村大御山守添 万延元年六月

橫長平 一冊 五九

(潮來領村々土橋御普請人足代諸寬) 大御山守
・御郡御奉行宛 万延元年六月

一綴 六〇

牛堀・上戸兩村境土橋御普請御入目帳 栗田兵
藏・村 万延元年六月

橫美平 一冊 八四

境土橋御普請人足割合 (万延元年)

橫長平 一冊 五九

富田村往還土橋御普請御入目書上帳 大御山
守 文久二年二月

橫長平 一冊 五五

牛堀・上戸兩村境土橋御普請御入目帳 牛堀・
上戸村 慶應四年六月

橫長平 一冊 三六

(潮來村橋普請作料總寬) 牛堀村庄屋 午年九月

一通 二四〇

(潮來村橋普請御用人足御扶持米御手形) 潮來
村庄屋 牛堀村庄屋宛 辰年八月

一通 三〇

(矢幡・根古屋村境橋掛替御普請御入用取調差
上帳) 折笠勤兵衛 須田重作宛 九月

橫長平 一冊 三三

溜池

永山村田方用水溜池堤御普請御入目帳 立合紅
葉御郡方 文政四年三月

橫美平 一冊 八三

牛堀・永山兩村田方用水溜池御普請諸御入目帳
立合紅葉御郡方 文政六年八月

橫長平 一冊 三三

牛堀村用水溜池浚御普請御入目帳 立合紅葉御
郡方 文政七年八月

橫長平 一冊 三七

(牛堀・永山兩村田方用水溜池浚御普請御入目
帳) 文政八・九年

橫長平 一冊 三九

牛堀村溜池浚等御普請御入目帳 立合伊藤一十
郎 天保一五年九月

橫長平 一冊 三三

牛堀村田方用水溜池浚御普請御入目帳 立合南
御郡方 弘化四年八月

橫長平 一冊 三六

牛堀村田方用水溜池浚埋樋仕替御普請御入目帳
御郡方 嘉永元年九月

橫長平 一冊 三六

牛堀村田方用水溜池浚御普請受負人足代取立帳
尾羽平藏代石井新四郎 庄屋宛 嘉永三年八月

橫長平 一冊 六一

牛堀・永山兩村田方用水溜池御普請御入目帳
尾羽平藏代石井新四郎 嘉永二年八月

橫長平 一冊 六四

牛堀村田方用水溜池浚御普請御入目帳 南御郡
方 嘉永四年七月

橫長平 一冊 三三

牛堀村田方用水溜池浚御普請御入目帳 村扣
文久三年二月

橫長平 一冊 三五

(矢幡村田方用水鴨山溜池上中兩池堤式ヶ所御
普請入目帳) 慶應三年八月

橫長平 一冊 三四

(堀之内村溜池普請木下渡願書) 堀之内村組頭
牛堀村大御山守宛 明治二年正月 一通 二五

(潮来村溜池浚人足賃錢請取覚) 潮来村庄屋
牛堀村須田重作宛 成年一月 一通 二四

(永山村溜池堤御入目覚) 永山村 辰年二月 一綴 三三

(赤須村御池浚人足賃受取覚) 牛堀村庄屋宛
午年五月 一通 三三

川除・川欠

牛堀村川除御普請入目 牛堀村 山下次郎兵衛宛
元禄九年二月 一通 二三

(牛堀村川除御普請人足扶持代請取覚) 元禄一
三年七月 一通 三三

牛堀村往還川欠并川除御普請御入目帳 立合紅
葉御郡方 文化九年二月 一冊 八二

牛堀村水神新田場川欠御普請御入目帳 立合南
御郡方 弘化四年二月 一冊 三五

牛堀村字水神新田川欠御普請御入目帳 万延元
年五月 一冊 三五〇

水神川欠ヶ波除御普請諸入用仕払方 須田重作
他二人(万延元年六月) 一冊 三五

堤

永山村田方作場道新堤御普請御入目帳 南御郡
方立合 天保一二年二月 一冊 三七

(古堤築足普請御入目覚) 庄屋須田茂十郎 天保
一四年八月 一通 二三

牛堀村田方用水郷筋堤御普請御入目帳 立合南
御郡方 天保一五年二月 一冊 三六

牛堀村田方用水郷堤御普請御入目帳 南御郡方
嘉永四年三月 一冊 三三

牛堀村田方用水郷堤御普請御入目帳 立合南
御郡方 嘉永七年四月 一冊 三六

(永山村字根古屋合新田作場堤土盛御普請勤ニ
付申上書付) 安政三年四月 一通 三六

牛堀村永山共堤置土御普請御入目帳 立合南御
郡方 安政五年四月 一冊 三六

永山村谷新田堤土重御普請御入目帳 文久元年
四月 一冊 三六

永山村谷新田堤三ヶ所杭打并盛土御普請御入目
帳 南御郡方勤 慶応三年三月 一冊 三六

上戸村字水喰江筋并堤築立御普請御入目帳 立
合須田内蔵八 慶応三年四月 一冊 三六

(鳴崎村出口土台堤御普請分覚) 渡
一 一通 三三

(逆川ヶ流山迄五ヶ年定浚普請ニ付一札) 小川
村加平治 潮来村他七ヶ村御役人衆中・御舟持衆中
宛 元文五年九月 一通 三五

(霞ヶ浦内中浦川浚御普請諸入用人足共相除願
書付) 潮来他五ヶ村庄屋 御郡御役所宛 安永九
年四月 一通 三三

(鬼怒川湊定浚村々相對印形一札) 総州関宿三
河岸船問屋惣代 天明六年六月 一通 三三

永山村田方用水江筋浚御普請御入目帳 立合御
郡方 享和三三年二月 一冊 三六

牛堀前川浚川付村々介合 嘉永四年二月 一冊 三六

川浚諸入用留 組頭・十人頭 嘉永四年二月 一冊 三三

(川浚賄入用請取覽) 嘉永四年 一綴 六三

(牛堀村船休堀浚普請初願書) 潮来村 御郡御奉行所宛 嘉永六年九月 一通 二三

(船付堀定浚入札) 村御役所宛 文久三年三月 一綴 二五七

(村方川浚仕法金預リ申金子証文) 預リ人嶋屋七衛門 村御役所宛 文久三年二月 一通 三七六

道 繕

牛堀・堀之内両村道繕御普請御入目帳 牛堀・堀之内村 明治三年四月 横長半 一冊 二五

牛堀・堀之内両村北浦通新道繕御普請御入目帳 伊藤忠衛門 牛堀村御山中宛 明治三年四月 横長半 一冊 二五

(道普請人足覽) 杭 一通 二六

杭

(永山村水行直し御定杭ニ付願上書付) 永山村御郡御奉行所・水行直御役人宛 天保二年九月 一綴 二六

内川岸川はた落合杭木打 組頭 安政三年二月 横長半 一冊 二五

(牛堀河岸川除松杭木見斗伐渡覽) 一通 二六

居切堀

(田伏村御払山代金之内上納覽) 田伏村大御山守添役 居切御普請場御役所宛 明治二年九月 一通 二五

(居切御普請場御用真木他積送覽) 富田村他庄屋 居切御普請場御役所宛 明治二年九月 一綴 二五

御扶持米通 御会所 明治三年正月 横長半 一冊 二五

御扶持米通 二番 明治三年正月 横長半 一冊 二五

御扶持通 三番 明治三年正月 横長半 一冊 二五

居切用具送り訳帳 明治三年正月 横長半 一冊 四三

潮来村・牛堀村送り并徳嶋藤十郎御預り帳 明治三年一月 横長半 一冊 四三

(堀割懸り酒諸品代滞り金御下ケ願書付) 潮来村林蔵 居切村堀割御懸り御役人衆中宛 明治三年 (御増金之内御米拝借証文) 長七郎代文左衛門他三人 御普請場御掛り宛 午年六月 一通 三六

(南京米居切村迄積送賃錢受取覽) 潮来村幸蔵・喜七 牛堀村大御山守宛 巳年七月 一通 二五

(人足役中扶持代割増納申付覽) 人足寄場方永山村庄屋宛 四月 一通 二六

(人足役中扶持代割増納申付覽) 人足寄場方牛堀村庄屋宛 四月 一通 二六

(味噌送り状) 井関村長 居切御普請御掛り宛 二月 一通 二五

(醬酒・味噌代差引勘定覽) 一通 二五

刈 流 霞ヶ浦落口刈流御旅宿勘定通 升兵衛 弘化二年一〇月 横長半 一冊 八六

霞ヶ浦当子刈流御旅宿高割帳 嘉永五年七月 横長半 一冊 八六

当丑夏霞ヶ浦水行路刈流勘定帳 嘉永六年九月 横長半 一冊 八六

当寅秋霞ヶ浦刈流御定杭打替諸入用割合 牛堀村庄屋 嘉永七年一〇月 横長半 一冊 八三

当卯水行路刈流御旅宿割合帳 牛堀村庄屋 安政二年七月 横長半 一冊 八三

当卯水行路入用高割帳 牛堀村庄屋 安政二年一月 横長半 一冊 八二

霞ヶ浦水行路夏秋割合通 惣代惣兵衛 村御役所
宛 安政五年一〇月 横半半 一冊 六七

水行路諸証拠 村々惣代・組頭 牛堀村御役人中
宛 巳・辰・丑・申・酉年 横半半 一綴 八三

(霞ヶ浦組夏割分請取覚) 孫平 村御役所宛 酉
年一二月 一通 二五五

(夏刈流諸入用請取覚) 牛堀村御役人中宛 卯年
六一・二二月 一綴 二五五

(刈流割合持出立儀ニ付願書) 一通 二五〇

(霞ヶ浦落口刈流大割覚) 一綴 二五五

(下利根川筋并霞ヶ浦落口共刈払賃錢ニ付申上
書付) 一綴 二五三

その他

(牛堀村水門樋木杭木註文) 牛堀村永山共 貞享
五年三月 一通 二六四

(牛堀村永山共溜池并百姓居屋敷下川欠普請願
書付) 元禄二三年正月 一通 二五五

(材木入用ニ付願書付) 牛堀村永山共 宝永六年
三月 一通 二四七

牛堀村永山共所々御普請御入目仕出控 庄屋
元文二年一文化四年 横長半 一冊 六元

(潮来村巡見宿普請ニ付繩菰請取手形) 御普請
方 宝曆一〇年一月 一通 二二六

(島崎村赤須共富田村清水共大嵐ニ付破損御訴
申上書付) 明和六年八月 一綴 一四〇

(牛堀村御普請元山木挽職人無御座申上書付)
田伏・柏崎村庄屋 明和七年七月 一綴 二二七

(土橋井水門普請材木頂戴願書付) 永山・富田
村庄屋 大御山守宛 天保一二年閏正月 一通 二五

(潜堀請負金指支ニ付金子借用証文) 嶋崎村赤
須共庄屋 弘化三年四月 一通 二七〇

(富田村元山普請材木取御用御免願書付) 大御
山場守宛 嘉永七年三月 一通 二五五

(目籠為造候御用請取覚) 西野綱屋 牛堀村庄屋
宛 安政三年一〇月 一通 二六六

霞ヶ浦落合分間絵図受取 小組合拾三ヶ村惣代
小組合六ヶ村惣代牛堀村惣兵衛宛 安政五年正月 一通 二六九

(土取人足賃御渡願仕方覚) 玉造村藤次郎・当村
房吉 御役所宛 文久四年六月 一通 二三四

富田村用水材木被下願 富田村 明治二年正月 一綴 二四九

(御普請場人足元部屋御預ケニ付御請書) 御普
請場人足元部屋 御普請場御懸リ御役所宛 明治一
年八月 一通 二四七

証書貸付扣帳 北利根川工務所会計部 大正二年 半 一冊 四〇

破損分土取高改牒 巳年九月 一綴 二二六

川岸床普請入用 申年六月他 一綴 二二六

絵 図

(永山村水難有無絵図) 28×27 一鋪 一四五

(向洲・中洲附近略図) 38×28 一鋪 二五〇

治安・訴訟

(間男之儀ニ付指上申手形) 元禄六年七月 一通 六元

(伊兵衛乱気自害ニ付口上書) 牛堀村宛 元禄九年四月 一通 三〇〇

(出合手負ニ付相渡申一札) 牛堀・上戸・嶋村 富田村宛 元禄九年五月 一通 三三一

(島崎村公儀御尋者ニ付一札) 嶋崎村赤須共 元禄一四年一〇月 一通 三七七

(御尋者見当不申ニ付一札) 牛堀村永山共 元禄一四年一〇月 一通 三三三

(島崎村風防キ祭礼ニ而打擲ニ付一札) 富田村・富田村潮米村当人 牛堀村宛 安永四年八月 一綴 三三三

(富治郎他出ニ付伯父方ニ而女房家財引取暗算一札) 境崎村富十他・牛堀村喜三郎・扱人 文政一〇年八月 一通 三三三

(牛堀村小山仁十郎娘ノ弟押領ニ付願書付) 御郡御奉行所宛 天保九年一二月 一通 二五五

(隣屋敷境之儀ニ付願書付) 牛堀村清八 村御役所宛 弘化五年三月 一通 二四五

(養子相定農間渡世ニ付利害仰付願書付) 島崎村兵七 村御役所宛 嘉永四年三月 一通 九五

(聳夫婦不睦ニ付御吟味願書付) 永山村六右衛門 村御役人宛 嘉永五年正月 一通 九三

(上戸村与六郎川岸ニ而死去ニ付御口上書) 惣五郎姉 村御役人中宛 嘉永六年六月 一通 三五

(聳養子不睦ニ付退村并借金皆済願書付) 庄兵衛 牛堀村大御山守宛 嘉永七年九月 一通 九三

(聳娘夫婦参仰付願書) 牛堀村清次郎 村御役所宛 嘉永七年七月 一通 九三

(非常道具取扱ニ付一札) 非常道具取扱世話人 村御役所宛 文久二年二月 一通 三九

(上戸村之者よりよね牛堀村之者共庇被為負候ニ付願上書付) 牛堀村大御山守 文久三年七月 一冊 六八

(儀助乱妨糺明ニ付御憐愍願上書付) 村御役所宛 慶応二年五月 一通 三三三

(夜遊乱妨取繕願上書付) 泰助 村御役所宛 慶応二年五月 一通 三三三

(牛堀村夜深更夜遊致乱妨候一件書類) 村御役所宛 慶応二年五月 一綴 三三七

(博突御見咎之節御引上之品々覚) 永山村 慶応三年六月 一通 三五五

(御召上品御下ケ願上書付) 永山村孫左衛門 村御役所宛 慶応四年九月 一通 二四九

(永山村九兵衛御品出猶予願并容駮書) 村御役所宛 明治二年正月 一綴 三〇〇

栗生村福蔵新町忠介へ抱り喧嘩一件 御役所宛 明治二年八月 一通 二四四

(峯吉所事之品御下ケニ付請取書) 親類代太兵衛 村御役所宛 明治四年四月 一通 三〇〇

(富田村甚平口論和談ニ付申上書付) 富田村牛堀村大御山守宛 一二月 一通 三三七

(御領分并御郡下追放人せんさく覚) 一通 二四三

(永山村出立掃寅二郎御城下御殿場元居村追放仰付書付) 一通 二四四

鉄炮

(鉄炮証文) 御郡奉行所宛 宝永八年三月—正徳四年六月 一綴 九七

(鉄炮ニ付定并覚) 十人組頭・獵師 享保六年二月 一綴 九八

(獵師札ニ付申上候書付) 牛堀村永山宛 享保一八年正月 一通 九九

(鉄炮売買仰付願一札) 永山村獵師 御郡奉行所宛 享保一九年一月

一通 六〇

(牛堀村他二三カ村獵師鉄炮帳新規御仕替ニ付書上) 弘化二年一〇月

一綴 六三

(鉄炮引出出張ニ付申上書付) 清水村 大御山守宛 明治元年一〇月

一通 六三

(鉄炮・とうらん預り覚) 牛堀村役人 辰年一〇月

一通 六三

(上戸村鉄炮代金引当金御拝借願覚) 牛堀村御役所宛 未年八月

一通 六五

(小鉄炮打ニ付御触覚) 二月

一通 六三

出入

(上戸村もよ持分田入作ニ付御入割承知内済連印一札) 明和七年五月

一通 三〇

(上戸村平兵衛と同居若者不慮出入熟談一札) 上戸村長国寺・牛堀村庄屋宛 安永四年九月

一綴 三三

下総国東金野井村大次郎・要八郎が相願候高組難場綱手道自普請之一件御裁許御請書控 牛堀村平左衛門 寛政一〇年正月

半 一冊 二〇五

清水・石神両村境並木地論一件 須田源之丞 弘化三年五月

半 一冊 元一

(爪木村藤衛門之相掛り家請負代金滞ニ付願上書付) 島崎村音次郎 御役処宛 弘化四年四月

一通 三二

(下総国源右衛門が潮来村忠兵衛相手取金子出入一件書付) 嘉永二・七年

半 一冊 二〇〇

(商諸色无残代金滞ニ付願上書付) 島崎村茂兵衛 村御役所宛 嘉永七年三月

一通 三三

(米代金滞ニ付願濟方ニ付取極覚) 願人海老沢平兵衛・延方村百姓他 大御山守宛 嘉永七年四月

一通 三六

(富田村惣助願貸金出入熟談一札) 嘉永七年五月

一通 三三

(牛堀村清八後家御直訴御引戻ニ付申上書付) 牛堀村 御郡御奉行所宛 嘉永七年八月

一通 二六

(潮来村九兵衛借金出入愁訴願書付) 牛堀村大御山守宛 文久二年閏八月

一冊 六九

(矢幡村勘兵衛金子借用質地一件書付) 万治元年六月 大御山守宛

一綴 二五四

(米盜取売渡人召捕置候旨伺) 潮来村 御郡御奉行所宛 慶応三年五月

一綴 三六

(永山一件直訴ニ付濟口書付) 永山村惣代・立入人・堀之内村 慶応四年閏四月

一綴 二七

(土浦治安裁判所御差紙受取記) 堀之内村小島伝右衛門 牛堀村堀太右衛門宛 明治一五年三月

一綴 二四

板久前川公事ニ而江戸登リ申候遺金うけ取申覚 寅年七月

一通 二九

(水神川一件江戸登入用請取覚) 孫十郎 御役所宛 卯年一月

一通 二九

(水神川一件被下酒代受取覚) 組頭七衛門 村御役所宛 正月

一通 二六

(麻生村善右衛門方買掛り出入事相濟ニ付申上書付) 牛堀・嶋崎村庄屋 閏五月

一通 二七

(収納ニ付藤兵衛・藤七申争之始末書付)

一綴 二六

(新里村無尽一件覚書) 小見川村名主

一通 二七

(築地村栄吉女房江健蔵酒酔之上たわむれ候一件覚)

一通 二七

過料・徒刑 徒判人足日数留 明治二年五月

横長半 一冊 五三

(牛堀村過料錢請取覚) 築山茂左衛門手附・手代
他 巳年一〇年・午年八月

(潮来・牛堀・他村百姓・名主不埒ニ付過料請
取覚) 中村八太夫手代・手附 酉年一二月

(無宿入墨六藏事死罪申渡覚)

その他

(欠所人諸色御払代落札金鑑渡覚) 板久・牛堀
・上戸村 延宝四年三月

(牛堀村作左衛門乞食宿借ニ付手形) 牛堀村宛
貞享元年四月

(年季奉公人氣分不入金子催促日延手形) 七兵
衛 寛文一〇年閏六月

三口ノ宰内諸掛入用調帳 会所 東根御役所宛
弘化二年一〇月

(船乗渡せん欠落尋方ニ付添翰申上書付) 牛堀
村役人惣代 御目附様方御役所宛 申年一二月

救恤・拝借

拝借金貸出

堀之内村茂木共村鋪金庄屋預リ引渡帳 天保八
年六月

嘉永七年甲寅暮貸出 嘉永七年

安政二年卯十二月貸出シ 安政二年

安政三歳辰拝借貸出 安政三年

安政四年丁巳暮拝借金貸出連名 安政四年

一綴 二五三

一通 三五五

一冊 一五四

一通 罫

一通 二三五

一通 八五

一冊 六七

一通 一四二

(安政五・六年暮拝借金貸出) 安政五・六年

万延元年申十二月拝借金貸名附 万延元年

文久元年辛酉十二月拝借金貸出面付 文久元年

文久二年壬戌十二月貸出拝借人連名 文久二年

牛堀村午御拝借米貸出帳 明治三年四月

種籾名目拝借之内牛堀村午御拝借米貸出帳 明
治三年五月

種籾名目拝借之内御拝借夫食米貸出帳 牛堀村
明治三年七月

午四ヶ年賦御拝借并二ヶ年賦水難貸出帳 永山
村東組頭 明治三年一二月

○

申暮水難当座貸 文久元年九月

拝借金・村用金取立

拝借金納渡指引帳 牛堀村 弘化二年一二月

嘉永七甲寅年霜月拝借金取立勘定 嘉永七年霜
月

安政二卯年拝借取立覚 安政二年

安政三丙辰歳拝借金取立覚 安政三年

御役所拝借金調元帳 安政四年一二月

安政四丁巳歳拝借金取立元帳 安政四年

拝借金村用金取立覚 安政五年一〇月

(拝借金調帳) 安政六年一〇月

拝借金村用金貸出取元 文久元年一〇月

一冊 一五六

一冊 一五五

一冊 一五四

一冊 一五三

一冊 一五二

一冊 一五一

一冊 一五〇

一冊 一四九

一冊 一四八

一冊 一四七

一冊 一四六

一冊 一四五

一冊 一四四

一冊 一四三

一冊 一四二

一冊 一四一

一冊 一四〇

一冊 一三九

一冊 一三八

牛堀・永山両村拝借取立元勘定 文久二年九月 横長半 一冊 三三

堀之内・茂木両村申鋪金勘定仕訳帳 文久三年 横長半 一冊 三三

歲賦御拝借金取立勘定帳 横長半 合一冊 三三

堀之内・茂木両村拝借金取立元勘定帳 慶応元年一〇月 横長半 一冊 三三

堀之内・茂木両村拝借金取立勘定帳 元治元年一二月 横長半 一冊 三三

堀之内・茂木両村拝借金取立元勘定帳 文久三年 横長半 一冊 三三

堀之内・永山両村拝借取立元勘定帳 万延元年九月 横長半 一冊 三三

牛堀・永山両村未年御拝借帳 明治六年五月 横長半 一冊 三三

(御拝借金上納分請取覚) 富田村御用掛惣右衛門 牛堀村組頭歳助宛 寅年一〇月 一冊 三三

(牛堀村組頭前嶋七衛門中途貸拝借分金受取覚) 井坂栄三郎 牛堀村庄屋宛 八月 一通 三三

貯穀

牛堀村永山共郷藏貯穀年賦返済並御見切願書上 安政三年三月 横長半 一冊 三三

(矢幡村貯穀御仕法御請書) 大御山守 安政三年一二月 一通 三三

(富田村溜穀不納人納申付願書付) 富田村 大御山守宛 文久元年一二月 一通 三五

(貯穀買入御証拠他) 村御役所宛 辰・巳・午年 一綴 一六三

(郷廻入札覚) 酉年八月・八月 一綴 一六六

〇扶食糶貸

牛堀・永山両村夫食貸出帳 (嘉永二一同六年) 横長半 一冊 六四

(扶食糶貸出シ帳) 嘉永七年 横長半 一冊 六七

寅夫食貸出シ面附帳 (嘉永七年カ)五月 横長半 一冊 六八

牛堀・永山両村扶食糶貸出シ帳 安政二年四月 横長半 一冊 六八

牛堀・永山両村辰扶食貸出シ帳 安政三年四月 横長半 一冊 六九

牛堀・永山両村丁巳夫食貸出帳 安政四年五月 横長半 一冊 六九

牛堀・永山両村安政五年午夫食米貸出連名帳 安政五年 横長半 一冊 六九

牛永両邑未夫食米貸出帳 安政六年三月 横長半 一冊 六九

(扶食糶貸出帳) 万延元年閏三月 横長半 一冊 六九

(扶食糶貸出帳) 万延二年三月 横長半 一冊 六九

(扶食糶貸出帳) 文久元年四月 横長半 一冊 六九

文久二年壬戌田植夫食米貸出帳 文久二年五月 横長半 一冊 六九

田植夫喰貸出元帳 元治元年四月 横長半 一冊 六九

夫喰貸出し候分 元治二年 横長半 一冊 六九

(扶食米貸出帳) 慶応元年一二月 横長半 一冊 七〇

(扶食米貸出帳) 慶応三年二月 横長半 一冊 七〇

扶食米貸出 慶応三年四月 横長半 一冊 七一

牛堀村辰年扶食貸出帳 慶応四年四月 横長半 一冊 七一

水難人稗貸出面付帳 牛堀村 明治三年七月 横長半 一冊 七二

(農馬代御金拝借証文) 永山村拝借人 御役所宛
文久二年極月

二通 三五〇

その他

(牛堀村他七ヶ村洪水困窮夫食拝借米代金拝借願書付) 嘉永三年四月

一通 三〇五

(凶荒救貸御引捨願上書付) 永山村 御郡御奉行所宛 安政三年三月

一通 三〇六

夫喰利米取立 元治元年二月

横長半 一冊 三〇七

寅卯辰永山村扶食米書拔帳 明治二年八月

横長半 一冊 三〇八

(水難ニ付拝借金受取覚) 永山村庄屋宛 酉年九月

一通 三〇九

(郷蔵米稗代金済覚) 牛堀村御役人衆中宛 卯年五月・六月

一綴 三〇七

(堀之内村神倉組夫食米式俵御渡願口上書) 堀之内村権兵衛 牛堀村長宛 四月

一通 三〇九

交通

通行

御通行・泊

(水戸・山野辺様江戸御登ニ付口上書) 潮来利左衛門 宝永七九年三月

一通 三三六

宰相様御小休祝儀贈向留帳 天保五年三月

横長半 一冊 三三六

五十八代遊行上人通行懸リ 牛堀村他 文久三年三月

一綴 二二六

小金宿御止宿諸入用払方帳 元治元年七月

横長半 一冊 二二七

行人控帳 元治元年極月

一綴 二二九

御老中様御若老様御泊歎立 慶応元年九月

半 一冊 三〇七

小金宿御止宿中諸入用証拠 子年七・八月

一綴 二一六

(御郡様畑見届之節入用覚) 左平次 牛堀村御役人様方宛 寅年二月

一通 二〇七

(巳年麦作御廻村入用帳カ) 巳年二月

一綴 二〇八

(御目付方昼食相用申候鑑覚) 御目付方 牛堀村庄屋宛 戌年三月

一通 二五九

(御目付様方分御勘定請取覚) 牛堀村飯田屋村御役所宛 辰年二月

一通 二五九

(郷村御用之節昼食分鑑村指銭之内組入申付覚) 大目付方 牛堀村庄屋宛 丑年一〇月

一綴 二六〇

御奉行様御着御賄調へ書 林蔵 五月

横長半 一冊 二〇六

(近藤義太夫様御荷物受取覚) 小川村役元 牛堀村御役元宛 七月

一通 二六六

御泊リ歎立 九月

横長半 一冊 二六五

(富田村御泊ニ付ふとん五十枚御用分遣し願書付) 大御山守 牛堀村役人中宛 一〇月

一通 二五〇

(ふとん十三枚請取覚) 堀ノ内村 牛堀村宛 一〇月

一通 二五〇

市川様羽田様其外臨時割合払方元帳

横長半 一冊 二五九

(御役人泊り入用書上) 田部村役人 水府御役人衆中宛

一通 二五九

(高橋多一郎様御泊入用等書付) 一通 二六〇

○余四磨御旅館

水戸余四磨様御旅館御下宿割帳 御本陣須田重作扣 安政四年四月 横長半 一冊 二〇〇

余四磨様御旅館諸入用書拔帳 元帳式冊之内 安政四年四月 横長半 一冊 二〇〇

余四磨様御旅館人足調帳 元帳式冊之内 安政五年四月 横長半 一冊 二〇〇

余四磨様鹿島香取御參詣諸人馬割合帳 里正扣 安政五年八月 横長半 一冊 二〇〇

(書本の覚) 六月 横長半 一冊 二〇〇
(庄屋宛書状) 一綴 二〇〇

○臨時御取締御出役御昼泊等

師岡猪之丞様御泊入用服部様御泊り払用帳 文久元年六月 横長半 一冊 二〇〇

文久元年酉調分 文久元年 横長半 一冊 二〇〇

御見張牛堀村御止宿御郡方様御賄御証扱写 牛堀村松屋 文久元年二月―至五月 横長半 一冊 二〇〇

御見張御郡方様御目附方様牛堀村御止宿諸入用仕出 松屋源八 文久元年二月―至五月 横長半 一冊 二〇〇

御見張牛堀村御出張御目附様方御賄御証扱写 牛堀村松屋源八 文久元年二月―至五月 横長半 一冊 二〇〇

御買上之通写 牛堀村庄屋 文久二年正月 横長半 一冊 二〇〇

万之通 牛堀村見張所 文久二年正月 横長半 一冊 二〇〇

髮結勤日記 牛堀・上戸兩村 文久二年二月 横長半 一冊 二〇〇

非常御取締御郡方様御目付方様牛堀・上戸兩村御見張御止宿中諸入用割合帳 文久二年九月 横長半 一冊 二〇〇

非常御取締御郡方様御目付方様牛堀・上戸兩村御出張御止宿中諸入用割合帳 文久二年九月 横長半 一冊 二〇〇

(御止宿諸入用諸取覚) 手代 戊午年一月 横長半 一冊 二〇〇

(御見張入用差引殘金請取書) 庄屋 文久二年二月 横長半 一冊 二〇〇

(見張所諸入用覚) 文久二年 一綴 二〇〇

○明治元年臨時諸入用

御国変ニ付諸入用書上帳 延方村 御郡御奉行所宛 明治元年一〇月 横長半 一冊 二〇〇

臨時數口諸入用帳 上戸村 明治元年一〇月 横長半 一冊 二〇〇

長国寺詰諸入用帳 上戸村 明治元年一〇月 横長半 一冊 二〇〇

脱奸人御追討御人数御止宿并臨時入用調帳 辻村 御郡御奉行所宛 明治元年二月 横長半 一冊 二〇〇

(詰人足覚) 明治元年一月 横長半 一冊 二〇〇

(米差送り他覚) 堀之内村茂木共・清水・築地村御郡御奉行所宛 明治元年一月 横長半 一冊 二〇〇

臨時諸入用書上帳 富田村 牛堀村大御山守宛 明治元年一月 横長半 一冊 二〇〇

脱奸御追討御人数御旅泊并人馬繼立諸入目書上 牛堀村永山共 御郡御奉行宛 明治元年一月 横長半 一冊 二〇〇

脱奸人御追討御人数御旅泊并人馬繼立諸入目書上 牛堀村 御郡御奉行所宛 明治元年一月 横長半 一冊 二〇〇

(昼食并御泊り取調覚) 富田村 明治元年 横長半 一冊 二〇〇

○御廻村諸入用

御巡村諸品之通	牛堀村会斗所	明治二年二月	横半半	一册	三七
麦作御廻村入用通	牛堀村	明治二年五月	横半半	一册	三三
大検見分御廻村諸品入目通	牛堀村	明治二年九月	横半半	一册	三六
御奉行様御廻村入目帳	牛堀・永山村	明治二年九月	横半半	一册	三六
御奉行様御廻村之御諸品之通	村役所	明治二年九月	横半半	一册	三〇
大検見御用之節諸品之通帳	牛堀村永山共	明治二年九月	横半半	一册	三三
御旅館御賄諸品通		明治二年九月	横半半	一册	三三
(諸払寛)	(明治二年九月)		横長半	一册	三六
(諸請取寛)	明治二年二月		横長半	一綴	三六
(村々参会入用寛)	高崎屋定右衛門	村御役所宛	横長半	一册	三六
(御泊入用他寛)	小春庵定兵衛	牛堀村役所宛	横長半	一册	三三
諸品之通	村役所	明治三年五月	横美半半	一册	三六
主宰様御巡村之御諸入用之控		明治三年五月	横長半	一册	三六
若君安戸様御旅館被仰付候ニ付諸入用之控		明治三年五月	横長半	一册	三六
(諸入用請取寛)	(明治三年五月)		横半半	一綴	三六
御殿様御路舟之節諸品之通	村主計処	明治三年九月	横半半	一册	三五

万記 村会計所 明治三年九月

御奉行様御廻村之節諸入用之通	村役所	明治三年神無月	横半半	一册	三三
(諸入用附寛)	明治三年		横長半	一册	三〇
○御昼食通					
御昼食之通	牛堀村	嘉永七年九月	横美半半	一册	三六
御昼食之御通	堀之内・茂木両村分	文久三年正月	横美半半	一册	三六
御昼食之御通	牛堀邸永山共	文久三年正月	横美半半	一册	三三
牛堀村御昼食之御通	慶応四年二月より始		横半半	一册	三三
堀之内村御昼食之御通	明治三年三月		横半半	一册	三二
御泊御昼食通帳	堀之内村茂木共	明治三年三月	横半半	一册	三五
○御加持通					
御加持持帳	牛堀村永山共	嘉永七年八月	横美半半	一册	三三
御加持持御通帳	牛堀村永山共	文久二年九月	横美半半	一册	三七
御加持持御通帳	堀之内・茂木両村分	文久三年正月	横美半半	一册	三六
御加持持之御通	牛堀邸永山共	文久三年正月	横美半半	一册	三六
万小仏御加持持米通	堀之内村庄屋	慶応二年八月一三年二月	横半半	一册	三六
御加持持帳	牛堀村永山共	慶応四年三月一明治三年九月	横半半	一册	三六
御加持持米通	老番	明治三年正月	横美半半	一册	三六

御加扶持御通帳 堀之内村茂木共 明治四年一〇月 横半半 一冊 四〇

御加扶持御通帳 牛堀村永山共 明治四年一二月 横半半 一冊 四三

伝馬

伝馬歩夫水戸飛脚廿八ヶ村割合覚(元禄五年) 一通 二〇五

(伝馬錢割渡覚) 牛堀村他宛 元禄六年四月 一通 二〇五

(申ノ諸人馬御改覚) 牛堀村永山共 元文五年一二月 一通 九七

(牛堀札他一〇カ村伝馬割渡方并参会入用覚) 元治二年 一綴 二〇六

伝馬惣郷割合銀渡方 明治元年一二月 横半半 一冊 四六

(伝馬割請取覚) 延方村庄屋 戊午九月 一通 二〇二

(通り馬人馬共泊リ駄賃宿賃村中割請取覚) 丑年カ 一通 二〇六

(伝馬割渡シ勘定ニ付参会村方届書) 大御山守上戸村他宛 二月 一通 二〇五

その他

(御目付廻村手馬飼料并御殺生御用人御扶持方請取覚) 御目附・吟味方御殺生人 牛堀村庄屋宛 慶応元年一〇・十一月 三通 二五〇

高書抜き調へ帳 林蔵 明治二年二月一七月 横長半 一冊 三五

(病人送り覚) 村役人 役人中宛 卯年六月 一綴 二〇二

(御馬飼料代受取覚) 牛堀村役人 辰年一〇月 一通 二五〇

(大豆・から麦代金御下ニ付請取覚) 牛堀村役人 辰年一〇月 一通 二五〇

(銚子行上下拾三人入用諸覚) 九月 一綴 六元

水運

改・極印

(川内ニテ水戸御極印打替申ニ付仰付覚) 水戸御極印舟惣舟頭衆中宛 貞享四年一二月 一通 二五九

(大高瀬舟寸尺高改申上覚) 牛堀村 元禄四年六月 一通 二〇三

(立舟改書上帳) 元禄一〇年一二月 一通 二〇六

(富田村舟持共御尋ニ付申上書付) 御郡御役所宛 享保一八年一二月 一通 二〇〇

(舟御改請証文) 村御役人中宛 天保七年九月 一通 二〇五

(東京川筋通船御極印申受ニ付一札) 矢幡村大御山守宛 明治二年五月 一通 二〇七

常陸国行方郡牛堀村舟元帳 明治三年一二月 半 一冊 三三

河船御極印一件留 潮来村久次郎 未年一二月 半 一冊 三五

(牛堀村永山共舟数人数書上) 巳年八月 一通 二〇三

(舟極印御切上覚) 一通 二五五

○船売買

(五大力舟買求極印願書付) 牛堀村庄屋 元禄九年八月 一通 二〇三

(古五大力船買求ニ付差上申手形) 牛堀村舟主庄屋宛 宝永三年七月 一通 二〇七

(売船証文) 武州葛飾郡權現堂川岸舟主 川船御役所宛 宝曆一四年三月 一通 二〇五

(大五大力舟買取一札) 鹿島郡太田新田舟買主 牛堀村庄屋宛 安永八年八月 一通 二〇五

堀之内村舟証拋 慶応三年三月

一綴 二〇六

(大高瀬舟買申ニ付入上ケ覚) 牛堀村吉兵衛
未年十一月

一通 二〇三

○絶船

(小茶舟絶船願書付) 牛堀村 南民政御役所 明
治三年五・六・一二月

一綴 二〇六

(小高瀬舟御黒印板紛失絶船願書付) 佐久山権
右衛門 申年九月

一通 二〇六

(舟数御役金并絶船覚)

一通 二〇四

牛堀・永山・堀之内村分共絶船御聞濟書類

一通 二〇三

船借用

船借用証文 天保七年九・一〇月

一綴 二〇六

船借用証文 天保七年—九年

一綴 二〇七

流・破船

(上戸村舟吹流太田新田ニテ打破候ニ付内濟一
札) 太田新田・上戸村・上戸村舟主・牛堀村世人
内濟人・内取持人宛 安永八年九月

一通 二〇九

(流船相渡ニ付差入申一札) 古渡村伊兵衛 牛堀
村御役所宛 安政四年八月

一通 二〇三

(難船引上見届書一札) 間屋中宛 一二月

一通 二〇三

(御極印付船流失ニ付見届一札)

一通 二〇六

船支度申付

水戸様御内船用意御通達 役人 安食村他役人衆
中宛 卯年一〇月

一通 二〇九

御普請方廻村御用船申付覚 御普請方 牛堀村庄
屋宛 閏五月

一通 二〇六

(御舟支度申付)

御米船積

御城米船積請取申手形 板久村舟頭 牛堀村庄
屋宛 貞享三年十一月—四年一月

一綴 二〇四

卯ノ御城米請取手形 板久村舟頭 牛堀村宛 貞
享四年九月

一通 二〇七

(積預リ申卯ノ御物米大豆手形) 板久村舟主・
牛堀村宛 貞享四年霜月

一通 二〇八

(御物成米雜石舟積請取一札) 板久村舟主 牛
堀村宛 元禄二年二月

一通 二〇一

申御城米舟積内払米覚 元禄五年二月

一通 二〇四

寅御城米積之覚 元禄一年正月

一通 二〇四

(御城米舟積請取覚) 須田源之丞宛 天保八年一
一月

一通 二〇五

(潮来村他御城米用船印拜借覚) 嘉永六年一〇
—十二月

一綴 二〇五

(御城米積代金指引帶ニ付願上書付) 願人政兵
衛 御役所宛 嘉永七年三月

一通 二〇九

(御運送方荒子増結上納覚) 牛堀村大御山守・南
郡民政御役所宛 明治二年正月

一綴 二〇九

堀之内村茂木共巳御城米船積庭帳 明治二年一
〇月

一冊 二〇三

御証文判取帳 堀之内村役人中宛 明治二年一〇
月

一冊 二〇五

牛堀・永山巳御城米舟積判取 牛堀・永山御役
所中宛 明治二年一〇月

一冊 二〇九

牛堀村永山共巳御城米船積庭帳 明治二年一〇
月

一冊 二〇九

横長半

横半半

(御米指遣申覚) 矢幡村組頭 牛堀村舟主・庄屋
宛 丑年一〇月

(御城米餅米舟積ニ付覚) 牛堀村庄屋 卯年一二月

(牛堀村他御城米御舟印御渡ニ付取調書付) 須田源之丞 正月

(御米舟破船不仕ニ付申達状) 浜鳴伝右衛門代 牛堀村宛 七月

(御城米大豆舟積ニ付触書) 八月

(御城米番船取極度ニ付廻章) 牛堀・上戸村庄屋 九月

その他

(舟申紛候ハ、曲事ニ付一札) 牛堀村永山共 天和元年一二月

(牛堀村納竹船積ニ付扶持方請取覚) 浜鳴伝右衛門代 元禄六年三月

水戸江指登候関宿川請負人願出候故書付指上申候扣 牛堀村永山共 御郡御奉行所宛 享保一八年一二月

(江戸・松戸・関宿・小堀船宿船々茶錢差上日延願書付) 牛堀村他五カ村 御郡御役所宛 明和三年正月

(船問屋相立願上書付) 牛堀・堀之内村願人 御郡御役所宛 安永三年六月

(汲上村市郎兵衛カ札村藤七宛船買求金滞ニ付為取替濟口証文) 嘉永七年六月

(延方村三郎兵衛方ニ而船造立札村藤七滞金ニ付一札) 大御山守宛 嘉永七年六月

一通 三六五

一通 三六九

一通 二〇三

一通 二〇六

一通 二五九

一通 二〇四

一通 二〇九

一通 二五一

一通 二〇六

一通 二〇〇

一綴 二〇九

一通 二六五

(永山地先霞ヶ浦港口常夜灯築立借地願書付) 高浜・土浦・府中願人 牛堀御役人宛 文久二年三月

(高瀬船茶船川浚御役錢ニ付御定御請書) 永山村伊勢屋他 村御役所宛 文久二年三月

廻戸村与兵衛舟送り証 鳩崎関口八兵衛 須田重作宛 明治一三年一二月

(御舟式艘御弘入札望人無ニ付申上書付) 牛堀村庄屋 卯年七月

(佐原迄御用船賃請取覚) 藤兵衛 御役所宛 辰年一〇月

(御船印受取覚) 高崎村矢口甚五郎 舟主宛 三月

(御献上御材木積船さし人足ニ付配符) 七月

(小川御船金子請取覚) 小川御船 牛堀村庄屋宛 九月

(高瀬舟注文并入札ニ付配符) 矢幡村庄屋 牛堀村庄屋宛 一二月

(御用舟并人足組わけ帳)

(牛堀村舟人附近絵図)

(往還船入附近絵図)

(下総国岩ヶ崎・左原村カ牛堀・上戸村江相懸リ利根川大網ニ付御訴訟申上書付) 下総国岩ヶ崎・左原村 御奉行所宛 寛文二年一〇月

(利根川御運上ニ付指上申返答御目安) 牛堀村喜三郎・上戸村理右衛門 寛文二年一二月

一通 三六五

一通 三六九

一通 二〇三

一通 二〇六

一通 二五九

一通 二〇四

一通 二〇九

一通 二五一

一綴 二〇六

一通 二〇〇

一通 二〇九

一通 二六五

一通 二六五

漁業

33×47

一鋪 三三〇

135×33

一鋪 三三一

(下総国香取郡三ヶ村ノ牛堀村隠田魚漁願上ニ付申上書付) 牛堀村 御目付御役所宛 明和七年九月

一通 二三

(永山村網代縮ニ付御慈悲之程御含願申上書付) 永山村 御郡御奉行所宛 天保二年正月

一綴 二六三

(潮来村与次右衛門下利根川魚漁御吟味ニ付仰渡一札) 潮来・永山・上戸村惣代 御奉行所宛 天保三年九月

一通 二六

(永山・境嶋村魚漁場境筋御定杭打建ニ付為取替申一札) 天保七年十一月

一綴 二七

(下利根川筋漁事過料錢申渡覚) 下総国上須田村他・潮来村他 御奉行所宛 天保八年十一月

一通 二九

(永山村小漁稼ニ付一札) 宇兵衛他 御役人衆中宛 天保一〇年七月

一通 三〇

(牛堀村水行不指障小漁三ヶ年請負一札) 請負人 村御役人中宛 嘉永六年六月

一通 三三

網代請負金手形 永山村請負人・入札人 村御役人中宛 嘉永七年七月

一綴 三〇

(永山村大徳網運上受負一札) 請負人 村御役所宛 安政四年二月・万延元年七月

二通 二三

(上戸村之者永山村地元上納場立入藻草取口論手疵為負候一件書付) 安政五年五月・九月

二通 三三

(潮来村下利根川筋制禁之漁具一件申上書付) 末九月

一綴 二三

(流網ニ付廻状)

一通 三四

維新

郷校

(小川・潮来・湊館詰合一件書付) 慶応元年五月

一綴 二四六

(湊・小川両館江出入詰合後逝去候村預り人内密取調書) 慶応元年閏五月

横美平

一冊 二四六

(小川館詰他覚) (慶応元年十一月)

一綴 二四八

(富田村潮来御館詰合百姓自訴入牢御免ニ付始末書) 慶応四年四月・閏四月

二通 二四九

潮来御館詰人百姓申上 慶応四年閏四月

一綴 二四九

(小川・潮来・湊館詰合一件書付) 慶応四年閏四月

一綴 二四七

(入牢ニ付親妻子書指上猶預願書) 富田村羽生豊五郎他 村御役所宛 慶応四年閏四月

一通 二四九

(富田村潮来詰合百姓村預ケ心痛死去始末書) 富田村清四郎 慶応四年閏四月

一通 二四七

(富田村出牢人始末書) 勘左衛門 慶応四年閏四月

一綴 二四八

(御館勤富田村百姓栄吉住居難波ニ付御仁惠願上書付) 富田村勘右衛門 慶応四年閏四月

一綴 二四八

(村預り人出奔御出陣御供ニ付申上書) 村御役所宛 (慶応四年一〇月)

一通 二四三

(永山村召捕人出牢仰付願書) 村御役所宛 慶応四年

一綴 二四〇

(富田村小金詰合百姓仮葬屈) (慶応四年)

一通 二四六

(手繩執成并御免ニ付一札) 矢幡村 大御山守宛
明治元年一月 二通 一四三

(入牢人村預御願書付) 沼尾村・潮来村 南郡民
政御役所宛 明治二年五月 一通 一四三

(永山村預ケ手繩御宥免願書付) 村御役所宛
明治二年六月 一通 一四三

(村預ケ仰付御免切解寛) 三月 一通 一四三

(上戸村先役御召捕ニ付助合金覚留) 一通 一四三

潮来郷村々三館詰人名控 横長半 一通 一四三

(手沢村御預ケ人請書) 横長半 一通 一四三

(潮来御館詰合人人足密場差遣詰請文并行方不
知者御届) 半 一通 一四三

(京師并小金表罷在候者書上雛形) 大御山守
牛堀村他庄屋宛 閏四月 一册 一五六

稽古所 横長半 一册 一五六

(牛堀村文武稽古之為飯米周施之儀延引願書付)
牛堀村大御山守 慶応四年八月 一綴 一三三

(蒲団借用願書付) 長国寺稽古所 大御山守宛
辰年九月 一通 三七七

諸隊 一通 三七七

勝進隊義名 牛堀村永山共 明治三年二月 横長半 一册 一五〇

勝進隊義名 牛堀村永山共 明治三年二月 横長半 一册 一五三

進銳隊義名 堀之内村茂木共 明治三年二月 横長半 一册 一五三

(馬上筒・胴乱・江川笠・合薬等代金覚) 丑堀
御役元宛 午年(明治三年九)三月 一通 一六〇

(馬上筒他代金指引覚) 御役元(明治三年九)閏
一〇月 横長半 一册 一六三

(隊士御用) 丑年一〇月 一通 一五〇

勝進隊諸入用持出之覚 横長半 一册 一五三

(大中小隊解兵ニ付新規兵隊取立歎願書) 一通 一五五

調書 一通 一五五

(麻生御陣所之御召捕相成者名年行跡調書付)
矢幡村他 大御山守・御郡御奉行衆宛 元治二年二
月 一綴 一六三

永山村御目付様御取調書上扣 慶応元年九月 半 一册 一五五

牛堀村御目付様御取調書上帳(慶応元年九) 美 一册 一五七

(脱走人ニ付存意書付) 慶応四年九月 一綴 一五三

(御附屬御追討御用勤候者取調書) 潮来村他
大御山守・御郡御奉行所宛 明治元年二月 一綴 一六七

(箱根御供御宥免願書) 永山村願人 御郡御奉行
所宛 明治二年正月 一通 一五九

寅十一月廿一日脱藩之者手續 一通 一五九

關所 一通 一五九

鳴崎村利衛門等三人須田源之丞荷物預リ来候分
封印村預リ受書 島崎村 慶応四年三月 半 一册 一六〇

(須田家宅御封印番一札) 永山村定七 村御役所
宛 慶応四年閏四月 一通 一六六

(關所御預ケ者扶持料所持高之内御救願書) 須
田源之丞・牛堀村 御郡御奉行所宛 慶応四年八月 一通 一六七

(堀村之儀ニ付再願書付) 須田内蔵八妻てる 慶
応四年六月 一綴 一六六

(矢幡村折笠勤兵衛欠所分入札覚) 矢幡村 大
御山守宛 明治元年二月 一通 一六二

(矢幡村元郷土折笠勤兵衛居宅預中盜難ニ付歎願書) 矢幡村 大御山守宛 明治二年正月

一通 三三四

須田源之丞關所御払田畑控 須田重作 明治五年一〇月

一冊 八二五

(茂木村御大山守茂木惣兵衛欠所ニ付家屋敷諸道具落札仰付願書付) 牛堀村 御手代衆宛 辰年二月

一通 二五〇

維新

江戸御用日記 天保一五年八月

一冊 六三

見張出動扣 慶応四年七月

一冊 三三

(口上書) 明治元年閏四月

一綴 一六五

(午年米・金・鉄炮代・玉代請取覚) 牛堀村御役元宛 明治三年一・三・五月

一綴 二五三

(家禄半禄借上分下願書) 岳野才介他 明治八年五月

一綴 一六九

(浮嶋金策之儀ニ付申上書付) 麻生村貢造 須田・他宛 子年カ

一綴 二七

(去十月中御出長之御諸入用覚) 村御役所宛 巳年正月

一綴 三二

(御進免御供之面々組合出立割并休泊割) 五月

一冊 一六六

(関口浜之介ニ付書上)

一通 一五七

(各隊宿割カ)

一通 一六三

(幕脱水奸を助ケ水戸城ヲ襲ふ由ニ付応援之御含書)

一通 二五五

聞書

線姫君様御新葬御行列 御守殿本多善吉 安政三年一月

一冊 三三

外夷之一条聞書 貳番(安政四・五年)

一冊 八六

字喜代その晰聞書 第三番 (安政元年一万年延元年)

一冊 五八

浮世の筆記 第四 須田為憲 文久二年

一冊 八三

亥三月九日酒井但馬守指趣大目付御達之覚 亥三月十九日英国軍艦の指出候書翰之大意 (文久三年カ)

一通 二六四

坐右風聞隨筆 (慶応元年一三年)

一冊 五四

(維新聞書) 五月

一通 一五二

旧幕脱人銚子陣中江降伏之姓名

一冊 一五四

(幕末京地ノ風聞申上書付)

一通 一五六

堀織部遺言

一通 一五六

(馬喰町止宿浪人共召捕一件ニ付手紙之写)

一通 二五八

(近在天狗動向等書付)

一通 二六三

寺社

触・廻状

(寺社方支配之族人別改ニ付廻状) 浜村他庄屋中宛 五月

一通 六八

(寺社修験動ニ付仰書付) 郡・寺社奉行所 一〇月

一綴 六七

(寺院道心者并城下托鉢ニ付廻状) 村々諸寺院中・庄屋組頭中宛 一〇月

一通 一六九

(寺社修験年頭御礼花美無之様触書)

一通 六九

(諸寺・修驗・祠官ニ付申触書)

寺社領

牛堀村新嘗祭事料之内半減郷藏詰 郡務方御役所宛 明治四年八月

元水戸県管轄常陸国行方郡牛堀村寺領土地改帳 明治四年二月

元水戸県管轄常陸国行方郡永山村寺領土地改帳 戸長添須田幹為光写 明治四年二月

(社領村所持ニ御返シ願書付)

(牛堀村永山共寺地覚)

(潰寺跡地除地百姓地書上)

鎮守

(永山村鎮守除田畑書上) 牛堀村永山共 寺社御役所宛 延享二年八月

(鎮守祭面浮米願書付) 辻村他 大御山守・御郡御奉行所宛 天保一四年九月

(鎮守社田無心ニ付一札) 十人頭・組頭 須田茂重郎宛 天保一五年二月

鎮守御神供庇格子入目 組頭・十人頭 嘉永七年六月

鎮守山王日吉社拝殿普請化募 世話人永山十人頭中 村役所宛 安政四年一〇月

(永山鎮守拝殿建前一卷) 村役所宛 安政四・五年

牛堀鎮守鳥居建替一卷 世話人十人組頭中 万延元年四月

一通 二〇六

一通 九〇六

一冊 二九六

一冊 三三三

一通 三〇二

一通 三〇三

一通 三三三

一通 二〇三

一綴 六九

一通 三〇〇

一冊 三〇〇

一冊 三〇二

一綴 三〇三

一冊 三〇六

1 玉垣屋根替共鎮守鳥居建替奇進帳 世話人十人頭中 万延元年五月 美 一冊

2 鳥居建替金子請取帳 十人頭中 万延元年四月 横半半 一冊

3 鎮守鳥居建替玉垣屋根替とも諸入用払出帳 世話人十人頭中 万延元年六月 横長半 一冊

4 鎮守石鳥居奇附割返帳 万延二年二月 横美半 一冊

5 鎮守鳥居建替玉垣屋根替入用借用帳 文久元年四月 横美半 一冊

6 (金子出入覚) 横美半 一綴

7 (諸請取覚) 申年一六月 一綴

8 (諸板木代等受取覚) 申年四月 一綴

9 (鳥居絵図面) 横長半 一枚

堀之内鎮守免同修覆料石橋溜池諸米勘定指引蔵入控帳 里正 文久三年盛夏 横長半 一冊

茂木村鎮守免并組田米取立蔵入控帳 茂木村 文久三年盛夏 横長半 一冊

鎮守御本社屋根替奇附連名帳 上町 慶応四年正月 半 一冊

鎮守御本社屋根替奇附連名帳 上沖 慶応四年正月 半 一冊

鎮守御本社屋根替奇附連名帳 仲町 慶応四年正月 半 一冊

鎮守御本社屋根替奇附連名帳 宿組 慶応四年正月 半 一冊

鎮守御本社屋替奇附連名帳 川岸組 慶応四年正月 半 一冊

(鎮守祭事米御下ケ受取寛) 世話人 須田幹之助
宛 明治一九年正月

鎮守免入御勘定

一通 六五

長泉院

永山村長泉院先年寺内書上帳之写シ 牛堀村
寛文七年二月(享保一六年写)

一通 六二

(長泉院除山統空地ニ付一札) 牛堀村永山共 享
保一二年七月

一通 六五

(長泉院寺地変更ニ付追願書付) 願人長泉院・
牛堀村 寺社御奉行所御郡御奉行所宛 享保一八年
七月

一通 六七

(長泉院当引寺地案内見分書) 牛堀村永山共 享
保一八年十一月

一通 六六

長泉院祠堂金証文 牛堀村立合庄屋 寺社御奉行
所宛 延享元年一二月

一通 六六

(長泉院且中金子借用手形) 檀中惣代借用人 村
御役所宛 安政五年三月

一通 六六

長泉院御除地御年貢地所務之御通并仕訳帳 安
政七年 明治三年

一綴 三五

永山村長泉院焼失之節諸入調書 村御役所宛

一通 六三

長国寺

長国寺祠堂金覚帳 村扣 安政七年三月

横長半

一冊 三七

(長国寺山門楼上題書字形写) 喜兵衛写 文久元
年四月

一通 六三

(利金御返却ニ付覚) 長国寺 御役元宛

一通 一〇五

その他

(永山村地藏院之託言取扱覚) 地藏院 寛文九年

一通 六三

(拝昭院普請日用錢人足割) 元禄一二年二月
(寺院小坊跡之分書附差上書) 牛堀村永山共 元
禄一五年閏八月・正徳四年一〇月・同五年四月

一綴 八五

(頓心札紛失ニ付口上書) 牛堀村永山共 寺社御
奉行所宛 正徳六年三・四月

一綴 三三

初穂納米取立扣帳 天保一三年一月

横長半

一冊 三〇

(金昆羅大権現御神輿金ニ付御拝借証文) 世話
人・十人組頭中 御役元宛 天保一四年一〇月

二通 二七一

(幣串代覚) 天保一五年

一通 一五三

新嘗祭当番指引帳 弘化二年一月

横長半

一冊 五二

祭祀免 弘化二年

一通 六二

初穂神納連名帳 村 安政二年

横長半

一冊 三二

御祈禱諸入用帳 組頭・十人頭 文久二年八月

横長半

一冊 三七

(薬師堂御普請日用人足錢ニ付覚) 牛堀・永山
村 辰年八月

一通 六八

(感応院薬師如来覚) 申年三月

一通 三五

(寺割并旦那数覚)

一綴 六四

御用状・書状

御検地御用状

御検地御用状

一卷 一五三

1 (天保年中御検地御用状巻調置覚書)
須田源之丞 安政三年水無月

一通

- 2 江幡雄八郎・永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 天保八年八月二日 一通
- 3 立花忠八郎・永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 正月一日 一通
- 4 (土地方御改正ニ付御繩奉行申論書) 庄屋・組頭・老農宛 一通
- 5 庄司八郎・小泉七左衛門御用状 柏崎村庄屋嶋田長右衛門方・牛堀村大御山守須田源之丞方宛 一〇月二二日 一通
- 6 (土地方御改正ニ付心得覚) 一通
- 7 須田源之丞御用状 上戸・潮来・牛堀村他七ヶ村庄屋宛 一〇月二三日 一通
- 8 (大洲徳嶋之田畠改方他承度ニ付御用状) 一通
- 9 広瀬元八郎・永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞宛 八月二三日 一通
- 10 鹿志村準二郎・鈴木庸介御用状 島崎村庄屋宛 正月二日 一通
- 11 庄司弥八郎御用状 牛堀村庄屋宛 九月一二日 一通
- 12 市毛熊之介・西野孝次郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 七月二日 一通
- 13 吉成又衛門御用状 牛堀村大御山守須田源之丞・柏崎村庄屋島田長衛門宛 六月五日 一通
- 14 庄司八郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 一〇月二二日 一通
- 15 柏新兵衛・西野孝次郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 六月二七日 一通

- 16 木村庫兵衛・庄司弥八郎御用状 潮来村窪谷太郎右衛門方・牛堀村須田茂十郎方宛 七月二二日 一通
- 17 宮部教三郎・笹嶋雄三郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 七月二日 一通
- 18 立花忠八郎・永井周平御用状 牛堀村庄屋須田茂十郎方宛 五月一日 一通
- 19 (土地方御改正ニ付村々宗附帳之儀口達之覚) 亥年九月 一通
- 20 長右衛門書状 長右衛門宛 一〇月一八日 一通
- 21 庄司弥八郎・小泉七左衛門御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 一二月一〇日 一通
- 22 広瀬元八郎・永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 一〇月六日 一通
- 23 (田畠取調之義ニ付覚) 一通
- 24 嶋田長右衛門書状 須田源之丞宛 一〇月二四日 一通
- 25 利右衛門書状 茂十郎宛 六月二二日 一通
- 26 木村庫兵衛・須田彦兵衛・庄司弥八郎・佐藤平左衛門・照沼平三郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 六月一六日 一通
- 27 寺社方米田久次郎・鈴木善四郎御用状 嶋崎村庄屋宛 正月二二日 一通
- 28 大久保久八郎・鈴木庸助御用状 牛堀村庄屋宛 正月二五日 一通
- 29 広瀬元八郎・鈴木庸介御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 八月二六日 一通
- 30 市毛熊之介・永井周平御用状 牛堀村庄屋須田茂十郎方宛 四月五日 一通

御用状・書状

- 31 須田源之丞書状 大場惣助・位戸太郎兵衛宛 六月七日 一通
- 32 庄司弥八郎御用状 牛堀村大御山守方宛 閏九月二十九日(天保一四年々) 一通
- 33 広瀬元八郎・西野孝次郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 四月一二日 一通
- 34 (鐘石仏等書上案紙) 鈴木庸介御用状 牛堀村須田茂十郎宛 八月一六日 一通
- 35 永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 九月一四日 一通
- 36 (自葬祭之者菩提所へ割指錢同様取立ニ付申達書付) 天保一二年 一通
- 37 長右衛門書状 須田宛 九月一二日 一通
- 38 大沼平藏・増子宗八郎・庄司弥八郎御用状 牛堀村庄屋須田茂十郎宛 七月一四日 一通
- 39 大場惣介政信書状 須田源之丞・同茂十郎参人々御出宛 正月二三日 一通
- 40 佐竹常丞御用状 牛堀・永山両村御役中宛 三月一五日 一通
- 41 長右衛門書状 須田宛 一〇月二四日 一通
- 42 (須田茂十郎・同源之丞家格御付書写) 天保一四・一五年 一通
- 43 (神助外夷懼服国家清平御祈之覚書付) 長右衛門書状 須田宛 八月五日 一通
- 44 長右衛門書状 源之丞宛 九月一二日 一通
- 45 (神社覚書付) 一通

- 48 (中納言様鹿嶋香取御参詣ニ付先年之通仰付願書付) 牛堀村庄屋須田茂十郎・大御山守須田源之丞 御郡御奉行所宛 天保一四年六月 一通
- 49 (御帰国御用金ニ付仰渡書写并指上切願人数写) 牛堀村喜久右衛門外子育金先年指出ニ付賞美御達書付) 文化元年九年一一日 (弘化元年々) 一通
- 50 長右衛門書状 須田宛 八月二〇日 一通
- 51 (帳面認様案紙) 牛堀敬牛松の記 一通
- 52 与左衛門・藏人書状 一二月一九日 一通
- 53 (富田・清水・茂木・永山・牛堀村御立山木障伐申覚) 川又弥十郎・大内与一郎御用状 牛堀村庄屋宛 正月二日 一通
- 54 江橋信藏・杉山七次郎御用状 牛堀村庄屋宛 四月一九日 一通
- 55 栗田兵藏・江橋信藏御用状 牛堀村庄屋宛 一〇月五日 一通
- 56 菊池信藏・渡辺左衛介御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 正月二〇日 一通
- 57 二階堂役僧光明院書状 牛堀村御役人中宛 辰年二月一四日 一通
- 58 庄司弥八郎御用状 牛堀村庄屋宛 九月一〇日 一通

63	宇留野世介御用状	一通
64	庄司弥八郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 五月一〇日	一通
65	加納安太郎・鈴木庸介御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 天保二年二月二七日	一通
66	土地御改正一件御配符卷(表紙九) 須田源之丞	一通
67	嶋田長右衛門書状 須田源之丞宛 一〇月二三日	一通
68	大都彦三郎・鈴木庸介御用状 嶋崎庄屋宛 二月三日	一通
69	加納安太郎・鈴木庸介御用状 牛堀村庄屋須田茂十郎方宛 正月一〇日	一通
70	広瀬元八郎・永井周平御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 六月四日	一通
71	庄司弥八郎御用状 嶋崎村庄屋宛 閏九月二二日(天保一四年)	一通
72	寺辻方米田久次郎・鈴木善四郎御用状 牛堀村庄屋宛 正月二二日	一通
73	(御鷹場村七拾式ヶ村ニ付仰出寛)	一通
74	柏茂(無名氏)書状 須田・同茂宛 戊午一〇月一四日	一通
75	長右衛門書状 源之丞宛 二月一六日	一通
76	庄司弥八郎御用状 柏崎村庄屋嶋田長右衛門宛 一〇月二二日	一通
77	御繩奉行見分ニ付申付覚 庄司弥八郎一〇月	一通

78	市毛熊之介・西野孝次郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞方宛 二月七日	一通
79	鈴木庸介御用状 大御山守須田源之丞方宛 二月二三日	一通
80	(土地方御正之儀被仰出ニ付申達書付)	一通
81	弥八郎書状 源之丞・長右衛門宛 九月晦日	一通
82	加納安太郎御用状 牛堀村大御山守須田源之丞宛 四月三日	一通
83	(土地方御正之儀被仰出候ニ付申達書付) 午(安政五)年御配符	一通
	午御配符入	一枚
	小崎吉之介・金沢惣兵衛御用状 潮来村大御山守方宛 二月一五日(巳年)	一通
	菊地庄五郎・蘭部一次郎御用状 牛堀村庄屋宛 正月一七日	一通
	蘭部一次郎・菊地庄五郎御用状 牛堀村庄屋宛 正月一九日	一通
	惣介書状 重作宛 正月二七日	一通
	三嶋村名主治郎兵衛書状 牛堀村須田重作宛 午年正月二七日	二通
	石田丹後御用状 須田重作宛 二月朔日	一通
	丹後書状 重作宛 二月朔日	一通
	丹後書状 重作宛 二月一四日	一通
	石川八百藏・栗田兵藏御用状 牛堀村庄屋宛 二月一五日	一通

御用状・書状

石田丹後御用状 須田重作宛 二月一五日

一通 一八〇

石川八百藏・栗田兵藏御用状 牛堀村庄屋宛
二月二〇日

一通 一八七

御普請方助水泉藏・大津亀之介御用状 牛堀村
庄屋宛 二月二〇日

一通 一八七

松浦吉十郎・栗田兵藏御用状 潮来村大御山守方
・牛堀村大御山守添役宛 三月七日

一通 一八九

(牛堀村北浦往還提置土他御普請宛人足申付覚)
三月

一通 一九〇

惣介御用状 重作宛 四月朔日

一通 一八三

須田重作御用状 石田丹後宛 四月朔日

一通 一八六

西野惣藏御用状 上戸・牛堀村庄屋宛 四月三日

一通 一八九

石田丹後書状 須田重作宛 四月一五日

一通 一九三

折笠純一郎御用状 重作宛 四月二二日(午年)

一通 一九三

石川八百藏・小林惣九郎御用状 潮来村大御山
守方・牛堀村大御山守添役須田重作宛 四月二七
日

一通 一八六

丹後書状 重作宛 五月朔日

一通 一九〇

大御山守石田丹後御用状 永山村庄屋宛

二通 一九六

石田丹後御用状 須田重作宛

二通 一九六

大串泉三郎御用状 牛堀村庄屋宛 五月三日

一通 一九六

上戸村某書状 永山村御役人中宛 五月三日

一通 一九三

西野惣藏御用状 牛堀村庄屋宛 五月四日

一通 一九三

石田御用状 須田宛 五月四日

一通 一九三

(富田村御仕法農馬望人届出候様申触) 西野総
藏 牛堀村永山他村々庄屋宛 五月五日

一通 一九四

丹後書状 重作宛 五月五日

一通 一九五

長国寺文明竹書状 牛堀村長須田重作宛 五月一
〇日

二通 一九〇

寺社奉行書状 永山村長泉院宛 五月五日

一通 一九六

丹後書状 十作宛 五月一五日

一通 一九六

大御山守石田丹後書状 上戸・牛堀西村庄屋宛
五月一六日

一通 一九六

上戸村書状 永山村宛 五月一六日

一通 一九六

大串泉三郎御用状 牛堀村大御山守添役須田重作
宛 六月八日

一通 一九五

倉敷村大御山守添役信戸保五郎御用状 牛堀村
大御山守添役須田重作宛 六月一〇日

一通 一九四

大川藤藏・野島佐三郎御用状 牛堀村大御山守
添役須田重作宛 六月二二日

一通 一九六

三嶋村山本治郎兵衛書状 須田重作宛 六月二四
日

一通 一九六

丹後書状 重作宛 六月二九日

一通 一九七

(出稼中出生梓同道罷帰候ニ付人別御差加願書)
永山村平左衛門 御役所宛 安政五年六月

一通 一九五

石田丹後御用状 須田宛 七月一〇日

一通 一九三

小島郁藏御用状 潮来・牛堀村大御山守方宛 七
月一七日

一通 一九六

石田丹後御用状 須田重作宛 七月二〇日

二通 一九七

延方村沢田平格書状 須田重作宛 七月二二日

一通 一九七

菊地忠之介・栗田兵藏御用状 牛堀村大御山守
添役須田源之丞方宛 七月二五日

一通 一九八

石川八百藏・栗田兵藏御用状 牛堀村庄屋宛 八
月七日

一通 一九三

稲田重藏御用状 富田・清水・矢幡・築地・堀之内・嶋崎・潮来・上戸・牛堀村々庄屋宛 八月一九日	一通	一八六
杉浦吉十郎・栗田兵藏御用状 牛堀村庄屋宛 八月二〇日	一通	一九〇
菌部一次郎・富永謙藏御用状 牛堀村庄屋宛 九月四日	一通	一九〇
丹後書状 重作宛 九月二一日	二通	一九二
関戸正左衛門書状 須田重作宛 一〇月一〇日	一通	一八四
関戸正左衛門書状 須田重作宛 一〇月一四日	一通	一八六
丹後書状 重作宛 一〇月一五日	一通	一九三
潮来村石田縫殿之介書状 牛堀村須田重作宛 一〇月一七日	一通	一八七
矢幡村折笠純一郎書状 須田重作宛 一〇月一八日	一通	一八九
海野平珍御用状 牛堀村大御山守添役須田重作宛 一〇月二七日	一通	一九三
大串宗三郎御用状 島崎・上戸・牛堀村々庄屋宛 一一月一四日	一通	一八二
常州河内郡十河岸出役西村総藏水戸御用状 潮来村大御山守方・牛堀村同添役須田重作宛 一一月二五日	一通	一九三
石田丹後御用状 須田重作宛 一一月二六日	一通	一九〇
大串泉三郎御用状 牛堀村庄屋宛 一一月二六日	一通	一八〇
大串泉三郎御用状 牛堀村庄屋宛 一一月朔日	一通	一九七
大串泉三郎御用状 須田重作宛 一一月三日	一通	一九五
大串泉三郎御用状 牛堀村庄屋宛 一一月三日	一通	一九三

御用状・書状

大御山守石田丹後御用状 牛堀村庄屋宛 一二月三日	一通	一八三
御用状 (永山村庄屋宛) 一二月三日	一通	一八七
杉浦吉十郎・栗田兵藏御用状 潮来村大御山守方・牛堀村大御山守添役須田重作宛 一二月四日	一通	一九二
丹後書状 重作宛 一二月六日	一通	一九九
石田丹後書状 須田重作宛 一二月一一日	一通	一八三
御量方佐藤健之介・加納七衛門御用状 牛堀村庄屋宛 一二月二二日	一通	一九六
佐藤健之介・加納七衛門御用状 牛堀村庄屋宛 一二月一五日	一通	一八四
御普請方佐藤健之介・加納七衛門御用状 牛堀村庄屋宛 一二月一七日	二通	一九九
丹後書状 重作宛 四日	一通	一八三
丹後書状 重作宛 一五日	一通	一九〇
丹後書状 重作宛 一六日	一通	一八一
山く書状 須田宛 二九日	一通	一八四
(霞ヶ浦組合魚漁皆止出訴之儀ニ付議定書)	一通	一八三
(旅諸代金手扣)	一通	一八三
頭書	一通	一八七
(上戸村書状) 大御山守宛	一通	一九四
明治二歳巳御配符	一綴	一六七
明治二歳巳御配符	一通	一八六
(御領分牛堀村郷医周伯村預ケ御免ニ付申上書) 慶応四年閏四月八日	一通	一八六

八郎兵衛書状 重作宛 閏四月二二日(明治元年)	一通	二六九	大御山守土橋通介御用状 大御山守須田重作宛 二月二二日	一通	二六八
桑名安一郎・橋本寿八郎御用状 潮来村大御山守方・牛堀村同須田重作方宛 正月四日	一通	二六〇	桑名安一郎・小蘭江哲之介御用状 牛堀村庄屋宛 二月二三日	一通	二六五
桑名安一郎・大内孝太郎御用状 潮来村大御山守方・牛堀村同須田重作方宛 正月九日	一通	二六一	小田部仁介・遠西安次郎御用状 牛堀村大御山守方宛 二月二三日	一通	二六六
石田恒堂御用状 大御山守須田重作宛 正月九日	二通	二六二	佐藤哲三郎・石川八百藏御用状 牛堀村大御山守須田重作方宛 二月二四日	一通	二六七
恒堂書状 重作宛	二通	二六三	橋本寿八郎・館惣十郎御用状 牛堀村庄屋宛 二月二五日	一通	二六八
桑名安一郎・大内孝太郎御用状 潮来村大御山守方・牛堀村大御山守須田重作方宛 正月九日	一通	二六三	橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 堀之内村庄屋宛 二月二六日	一通	二六九
義明書状 須田宛 正月九日	一通	二六四	恒堂書状 重作宛 三月一六日	一通	二七〇
大御山守石田恒堂御用状 牛堀村組頭中宛 正月一〇日	二通	二六五	石川村庄屋矢口甚兵衛書状 富田御役元須田重作宛 四月一八日	一通	二七一
桑名安一郎・益子勇藏御用状 牛堀村大御山守須田重作方宛 正月一二日	一通	二六六	平野屋五兵衛書状 加藤三夫・吉田兵左衛門宛 五月七日	一通	二七二
大内孝太郎・桑名安一郎御用状 牛堀村大御山守須田宛 正月一二日	一通	二六七	恒堂書状 重作宛 六月六日	一通	二七三
立花三七郎・根本正之介御用状 須田重作宛 正月一七日	一通	二六八	柏淳平・川村介三郎御用状 永山村庄屋宛 六月二一日	二通	二七四
柏淳平御用状 潮来・大洲・辻・延方・築地・矢幡・堀之内村庄屋宛 正月一九日	一通	二六九	助川敏二郎・遠西安次郎御用状 堀之内村庄屋宛 七月二二日	一通	二七五
桑名安一郎・大内孝太郎御用状 牛堀村大御山守須田重作方宛 二月二三日	一通	二六〇	立花三七郎・関内字喜衛門御用状 牛堀村庄屋宛 七月二五日	一通	二七六
大内孝太郎・桑名安一郎御用状 牛堀村大御山守須田重作方宛 二月二五日	一通	二六一	桑名安一郎・中村孝三郎御用状 牛堀村庄屋宛 八月四日	一通	二七七
橋本寿八郎・桑名安一郎御用状 永山村庄屋宛 二月二〇日	一通	二六三	新井十左衛門御用状 磯山尚七・草野伝藏・須田重作宛 八月四日	二通	二七八
佐藤哲三郎・石川八百藏御用状 牛堀村大御山守方宛 二月二二日	一通	二六三			

橋本寿八郎・中村孝太郎御用状 八月七日	牛堀村庄屋宛	一通	一七九
川村助三郎御用状	牛堀村大御山守方宛 八月七日	一通	一七〇
大内孝太郎・桑名安一郎御用状 八月一日	牛堀村大御山守方宛	一通	一七一
伊藤孝次郎・野島昌太郎御用状 八月一日	牛堀村大御山守宛	二通	一七二
秋山孫三・桜井介之進御用状 八月二三日	堀之内村庄屋宛	一通	一七三
根本正之介・秋山孫三御用状 八月二三日	永山村庄屋宛	一通	一七四
佐藤哲三郎・大内孝太郎御用状 八月一日	牛堀村大御山守方宛	一通	一七五
佐藤哲三郎御用状 八月二〇日	牛堀村大御山守須田重作宛	一通	一七六
桑名安一郎・中村孝三郎御用状 八月二三日	永山村庄屋宛	一通	一七七
桑名安一郎・中村孝三郎御用状 八月二五日	牛堀村庄屋宛	一通	一七八
神祇局中海野八之進・寺門元次郎御用状 九月二日	永山村庄屋宛	一通	一七九
橋本寿八郎・中村孝三郎御用状 九月一日	牛堀村大御山守方宛	一通	一八〇
野島昌太郎・伊藤孝次郎御用状 九月二日	牛堀村大御山守方宛	一通	一八一
某書状 九月二五日		一通	一八二
中村孝三郎・秋山孫三御用状 一〇月五日	牛堀村大御山守方宛	一通	一八四

館惣十郎・伊藤孝次郎御用状 〇月六日	牛堀村庄屋宛	一通	一七五
川村助三郎御用状	牛堀村庄屋宛 一〇一八日	一通	一七六
伊藤忠衛門御用状	牛堀村庄屋宛 一〇月二三日	一通	一七七
岡本吉兵衛書状 三日	須田重作宛 初冬(一〇月)二日	一通	一七八
小貫忠藏・三浦郡兵衛御用状 上戸・牛堀村庄屋宛	辻・築地・潮来・上戸 一〇月二四日	二通	一七九
小貫忠藏・三浦郡兵衛御用状 一〇月二五日	上戸 牛堀迄庄屋宛	一通	一八〇
小貫忠藏・三浦郡兵衛御用状 上戸・牛堀村庄屋宛	辻・築地・潮来・上戸 一〇月二五日	一通	一八二
(永山村百姓六右衛門煇村入帳仰付願書) 役所・南郡民政御役所宛 明治二年一〇月	村御	一通	一八三
弥三郎書状 次郎八宛	一二月一八日	一通	一八三
桑名安一郎・秋山孫三御用状 二月二日	牛堀村庄屋宛	一通	一八三
川村助三郎御用状 二日	潮来村大御山守方宛	二通	一八四
恒堂書状	重作宛 一二月五日	二通	一八四
天徳寺書状	御役元須田重作宛 極月一〇日	一通	一八五
石田恒堂書状	須田重作宛 一二月三日	一通	一八六
某書状	重作宛 一二月二四日	一通	一八七
橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 守方須田重作宛	牛堀村大御山守方宛 一二月二八日	二通	一八八
恒堂書状	重作宛 五日	一通	一八九
佐哲書状	須田宛 一一日	一通	一九〇

恒堂書状 重作宛 一一日 二通 一七三

恒堂御用状 重作宛 二二日 一通 一七三

惣介書状 重作宛 二二日 一通 一七三

恒堂書状 重作宛 二六日 一通 一七三

石田恒堂書状 須田重作宛 三〇日 一通 一七三

和田平太郎・小貫忠藏御用状 牛堀村大御山守須田重作宛 二通 一七三

石田恒堂書状 須田重作宛 一通 一七三

橋本寿八郎書状 須田重作宛 一通 一七三

小貫・和田御用状 牛堀村庄屋宛 一通 一七三

潮来村大御山守宛御用状 一通 一七三

石井左一郎・石川登一郎御用状 正月一八日 一通 一七三

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 七月二二日 一通 一七三

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 七月二二日(寅年) 一通 一七三

潮来・牛堀村大御山守須田重作宛御用状 一通 一七三

相田金之介・石川登一郎御用状 正月二五日 一通 一七三

広瀬元八郎御用状 二月四日 一通 一七三

相田金之介・大内孝太郎御用状 三月二二日(亥年) 一通 一七三

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 閏四月二二日 一通 一七三

桑名安一郎・橋本寿八郎御用状 閏四月二二日 一通 一七三

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 五月一五日 一通 一七三

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 五月二九日 一通 一七三

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 六月二三日 一通 一七三

小島藤太郎・三田寺秀太郎御用状 六月二五日 一通 一七三

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 八月一九日 一通 一七三

中根健次・中村庫兵衛御用状 八月二〇日 一通 一七三

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 八月二二日 一通 一七三

石川登一郎・川村介三郎御用状 八月二七日 一通 一七三

笹嶋雄之介・砂押泉三郎御用状 十一月一七日 一通 一七三

潮来・牛堀村大御山守宛御用状 一通 一七三

菊地脩藏・広瀬元八郎御用状 正月二〇日 一通 一七三

相田金之介・石川登一郎御用状 正月二六日 一通 一七三

海老根権藏・相田金之介御用状 二月二日 一通 一七三

中村孝三郎・橋本寿八郎御用状 六月二二日 一通 一七三

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 六月二二日 一通 一七三

中根伴次・中村庫兵衛御用状 七月八日 二通 一七三

丹後書状 重作宛 七月一日 二通 一七三

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 八月一八日 一通 一七三

石井左一郎・石川登一郎御用状 八月二四日 一通 一七三

菊地忠之介・佐藤哲三郎御用状 一〇月五日 一通 一七三

中村孝三郎・森山敏之介御用状 一〇月六日 一通 一七三

石川登一郎・野島佐三郎御用状 十一月一九日 一通 一七三

相田金之介・桑名安一郎御用状 十二月二五日 一通 一七三

石井左一郎・石川登一郎御用状 二月二七日 一通 三三六

潮来村大御山守・牛堀村同添役須田重作宛御用状

杉浦吉十郎・小島郁藏御用状 三月二日 一通 一六三

牛堀村大御山守須田茂十郎宛御用状

広瀬元八郎・永井周平御用状 正月三日 一通 三五元

牛堀村大御山守須田源之丞宛御用状

市毛熊之介・永井周平御用状 三月二五日 一通 三五五

宇留野孝介・鈴木庸介御用状 三月二七日 一通 三五六

庄司弥八郎書状 四月一四日 一通 三五三

大久保久八郎・笹嶋雄三郎御用状 六月二日 一通 三三六

大久保久八郎・笹嶋雄三郎御用状 六月二三日 一通 三五五

高野矢之助・笹嶋雄三郎御用状 九月二七日 一通 三五六

玉造村大御山守白井喜三次御用状 一〇月一四日 一通 一八三

小林信之介・海老根安藏御用状 二月二四日 一通 一九〇

牛堀村大御山守須田重作宛御用状

小島郁藏御用状 正月八日 一通 一六六

石井左一郎・石川登一郎御用状 正月八日 一通 三四〇

会沢栄藏・石川登一郎御用状 正月九日 一通 三三三

河和田村大御山守添役平戸源之介御用状 正月二一日 一通 三三七

川又藏・半中根健次御用状 二月八日 一通 一八〇

庄司弥三衛門御用状 二月二六日 一通 一八三

磯部徳次郎御用状 四月四日 一通 一七五

中村庫兵衛・庄司弥三衛門御用状 四月二〇日 二通 一八六

中根健次・中村庫兵衛御用状 四月二日 一通 一八六

広瀬元八郎御用状 四月二五日 一通 三三七

高倉曬之介・川又金之介御用状 四月二七日 一通 三三〇

秋山孫三・大内孝太郎御用状 閏四月朔日(明治元年) 一通 一八二

磯部徳二郎御用状 閏四月六日(明治元年) 一通 一八六

磯部徳二郎・佐藤哲三郎御用状 閏四月一六日 一通 三五二

川又金之介・渡辺四郎藏御用状 閏四月一七日(嘉永四年) 一通 一九三

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 五月八日 一通 三五五

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 五月二日 一通 一七三

館惣十郎・橋本寿八郎御用状 六月五日 一通 三三五

中村孝三郎・桑名安一郎御用状 六月三日 一通 三三七

桑名安一郎・橋本寿八郎御用状 六月一六日 一通 一八五

弓野俊之介・橋本寿八郎御用状 六月一七日 一通 一八四

海老根権藏・桑名安一郎御用状 六月一九日 一通 一九六

石川登一郎・野島佐三郎御用状 六月二〇日 一通 三三五

柏淳平・宮部辰之介御用状 六月二九日 二通 一八五

桜井介之介・宮部辰之介御用状	七月四日	一通	一八五
桑名安一郎・宮部辰之介御用状	七月四日	一通	一八五
橋本寿八郎・宮部辰之介御用状	八月五日	一通	一九六
延方村小島孫衛門書状	八月二七日	一通	一九七
中根健次御用状	八月一日	一通	三九五
海老根権藏・桑名安一郎御用状	九月五日	一通	一七三
宗倉村大御山守真家又四郎御用状	九月五日	一通	一八三
根本正之介・室伏昌太郎・永井周平・大内孝太郎御用状	九月五日	一通	三六
大御山守宮本主馬介・同大場惣介御用状	九月六日	一通	三〇三
川又金之介・菊地脩藏御用状	九月二二日	一通	三七
大内孝太郎御用状	九月二五日	一通	三七〇
小貫忠藏・石川八百藏御用状	一〇月朔日	一通	一九九
広瀬元八郎御用状	一〇月九日	一通	一九九
橋本寿八郎・大内孝太郎御用状	一〇月一八日	一通	一七五
橋本寿八郎・大内孝太郎御用状	一〇月一八日	一通	三七七
小貫忠藏・石川八百藏御用状	一〇月二二日	一通	三六
石川登一郎・伊藤忠左衛門御用状	一一月七日	一通	三七
広瀬元八郎御用状	一一月九日	一通	一七〇
玉井将二郎御用状	一一月一三日	一通	三六四
中根健次・野島佐三郎御用状	一一月二三日	一通	一九七
笹嶋雄之介御用状	一一月二七日	一通	三六
川村助三郎御用状	一二月一七日	一通	三〇

(脱奸人共ニ付注進等書状)

1 石川八百藏御用状	牛堀村大御山守方宛	一通	三六
一〇月五日			
2 石川八百藏・小川忠藏書状	須田重作宛	一通	
一〇月四日			
3 惣介御用状	重作宛	一通	
一〇月三日			
4 小貫・石川書状	牛堀村大御山守方宛	一通	
〇月三日			
5 (富田他五カ村兼并玉御下ケ願書付)	御役所宛	一通	
慶応四年一〇月			
海老根安藏・杉浦吉十郎御用状	正月一七日	一通	三五三
杉浦吉十郎・金沢藤之介御用状	正月二〇日	一通	一九六
小貫忠藏・石川八百藏御用状	一月二二日	一通	一九〇
杉浦吉十郎・金沢藤之介御用状	正月二二日	一通	一九六
海老根安藏・金沢藤之介御用状	正月二二日	一通	一九六
海老根安藏・金沢藤之介御用状	正月二二日	一通	一九七
西野孝次郎御用状	二カ月四日	一通	三五〇
川村助三郎・大沼平藏御用状	二月一〇日	一通	一九四
杉浦吉十郎・菊地脩藏御用状	四月二四日	一通	一九四
秋山孫三・大内孝太郎御用状	四月二〇日	一通	三九〇
海老根安藏・金沢藤之介御用状	四月二二日	一通	一九四
高岡藤四郎御用状	四月二八日	一通	一九三
室伏昌太郎・海老根安藏御用状	四月二九日	一通	一九四
海老根安藏・菊地脩藏御用状	四月晦日	一通	一九四

磯部徳二郎・佐藤哲三郎御用状 閏四月二〇日
(明治元年)

海老根安藏・菊地脩藏御用状 六月三日

寺門辰太郎御用状 六月三日

高倉曬之介・川又金之介御用状 六月九日

川又金之介・渡辺四郎藏御用状 六月一〇日

橋本定介・兼山長藏御用状 六月十五日

室伏昌太郎・金沢藤之介御用状 六月二十七日

桜井介之丞・海老根安藏御用状 七月四日

海老根安藏・菊地脩藏御用状 七月五日

後藤松右衛門、海老根安藏御用状 七月九日

野沢三郎衛門御用状 七月二日

江橋信泉・野嶋佐三郎御用状 閏七月二十七日(安政元年)

小島多四郎御用状 八月六日

海老根安藏・渡辺四郎藏御用状 八月二日

寺門辰五郎・菊地忠之介御用状 八月二日

和田保之介・杉浦吉十郎御用状 八月二三日

川村助三郎御用状 八月二三日

助川歙次郎・菊地三雄御用状 八月一三日

寺門辰五郎・菊地忠之介御用状 八月九日

秋山孫三・海老根安藏御用状 八月二日

秋山孫三・海老根安藏御用状 八月二五日

菊地忠之介御用状 八月二十九日 一通 一八五

杉浦吉十郎・金沢藤之介御用状 九月五日 一通 一九三

川又金之介・渡辺四郎藏御用状 九月一〇日 一通 三六八

伊藤孝次郎・館惣十郎御用状 一〇月六日 一通 一八四

桜井介之丞・海老根安藏御用状 一〇月二三日 一通 一七四

佐藤哲三郎・松山敏之介御用状 一〇月二四日 一通 三七四

杉浦吉十郎・金沢藤之介御用状 十一月五日 一通 一九三

川崎弦次郎・一沢十藏・大久保久八郎御用状 十一月二日 一通 一八四

菊地珍四郎御用状并大御山守廻状 十一月八日 一通 三〇七

桑名安一郎・佐藤哲三郎御用状 十二月八日 一通 三〇五

会沢栄藏御用状 十二月一〇日 一通 三〇四

益子勇藏・高倉曬之介御用状 十二月二四日 一通 三三九

海老根安藏・小林信之介御用状 十二月二五日 一通 一八四

牛堀村大御山守・同添役宛御用状 三月二日 一通 三三九

海老根安藏・小林信之介御用状 十一月二日 一通 三三九

牛堀村大御山守・潮来村庄屋宛御用状 七月二五日 一通 一七〇

菊地忠之介・寺門辰太郎・佐藤哲三郎御用状 七月二五日 一通 一七〇

大御山守須田重作宛御用状

大御山守石田丹後御用向状 閏四月八日

一通 三三九

大御山守石田恒堂御用向状 一〇月晦日

一通 三三六

矢口甚五兵衛書状 戊年二月六日

一通 三三四

関沢淇翁御用状 一二月一八日

一通 三三三

大御山守石田恒堂御用状 一二月二〇日

一通 三三四

大御山守見習須田内藏八宛御用状

延方村庄屋小峰孫衛門御用状 卯年五月二日

一通 一九〇

玉造村大御山守白井喜三次御用状 八月二五日

一通 一八三

玉造村大御山守白井喜三次御用状 二九日

一通 一八七

牛堀村庄屋須田十作宛書状

小石川黒嶽方栗原幸吉書状 一二月二〇日

一通 三三六

牛堀村庄屋宛御用状

国井将二郎・杉浦吉十郎御用状 正月二日

一通 三三五

栗田兵藏・稲田重藏御用状 三月二日

一通 一八〇

磯部徳次郎・宮部辰之介御用状 四月七日

一通 一七三

桜井介之丞・杉浦吉十郎御用状 四月一九日

一通 一八四

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 閏四月二九日
(明治元年)

一通 一七五

御普請方滝徳藏・川島庄八郎御用状 五月二〇日

一通 一七七

伊藤孝三郎・川又金之介御用状 五月二八日

一通 一七三

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 五月晦日

一通 一七六

中村孝三郎・大内孝太郎御用状 六月一日

一通 一八三

介川嶽二郎・中村孝三郎御用状 六月一七日

一通 一八三

柏徳二郎・佐藤哲三郎御用状 七月四日

一通 一八六

後藤松太郎・海老根安藏御用状 七月六日

一通 一七九

館惣十郎・桑名安一郎御用状 八月五日

一通 一八四

小藺江哲之介・桑名安一郎御用状 八月二日

一通 一七一

滝田繁介・小林信之介御用状 九月三日

一通 一七五

龜山保一郎・桑名安一郎御用状 九月六日

一通 一七九

寺門辰太郎・菊地忠之介・佐藤哲三郎御用状 九月二三日

一通 一七五

中村孝三郎・橋本寿八郎御用状 九月二〇日

一通 一八四

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 九月二日

一通 一八三

小藺江哲之介・桑名安一郎御用状 一〇月二七日

一通 一七六

御鷹方川又十松御用状 一〇月晦日

一通 一七七

御普請方大内安之介・小沼潤之介御用状 一一月三日

一通 一八〇

中村孝三郎・橋本寿八郎御用状 一一月一五日

一通 一七〇

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 一一月二日

一通 一七七

小藺江哲之介・中村孝三郎御用状 一二月二日

一通 一七四

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 一二月七日(辰年)

一通 一八七

御普請方齊藤市郎右衛門御用状 一二月二日

一通 一七六

立花三七郎・桑名安一郎御用状 一二月一四日

一通 一八三

小蘭江哲之介・橋本寿八郎御用状 一二月一六日

一通 一八七

小川御川岸役所坂本貞太夫御用状 一二月二三日

一通 三三三

牛堀村御役人宛書状

赤坂田町五丁目松野屋豊藏書状 一〇月二二日

一通 一五五

潮来村役人書状

一通 一八〇

牛堀村組頭宛御用状

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 七月二七日

一通 三六七

小蘭江哲之介・秋山孫三御用状 一〇月一〇日

一通 三六九

牛堀・永山両村庄屋宛御用状

橋本定介・大沼平藏御用状 四月二一日

一通 一七四

永山村庄屋宛御用状

高倉曬之介・海老根安藏御用状 正月一〇日

一通 一六四

長国寺納所書状 庄屋須田重作宛 三月九日

一通 一七三

大内孝太郎・菊地忠之介御用状 四月一五日

一通 三三五

橋本定介・兼山長藏御用状 五月二日

一通 三五五

栗田兵藏・野崎佐三郎御用状 五月二一日

一通 一六九

桜井介之丞・菊地脩藏御用状 五月一三日

一通 一六四

後藤松太郎・海老根安藏御用状 六月二七日

一通 一八五

後藤松太郎・海老根安藏御用状 六月二八日

一通 一七〇

御用状・書状

後藤松太郎・海老根安藏御用状 七月八日

一通 一八五

寺門辰太郎・菊地忠之介御用状 八月一九日

一通 一五九

清水徳太郎・一沢千藏御用状 九月一八日

一通 一六九

横須賀菊二郎・桑名安一郎御用状 一〇月二七日

一通 一七六

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 一二月二三日

一通 一七〇

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 一二月二三日

一通 一七五

野島昌太郎・渡辺四郎藏御用状 一二月二四日

一通 三三二

室伏昌太郎・海老根安藏御用状

一通 一六九

堀之内村庄屋宛御用状

大串平太郎・石川登一郎御用状 四月四日

一通 一七五

大串平太郎・海老根権藏御用状 四月一九日

一通 三六一

石井左一郎・野島佐三郎御用状 七月二七日

一通 一七六

中根健次御用状 八月八日

一通 三三三

寺社方大貫峰太郎・川崎長藏御用状 八月一〇日

一通 一六九

寺門辰太郎・菊地忠之介御用状 八月二〇日

一通 一七五

橋本寿八郎・三田秀太郎御用状 一〇月一〇日

一通 三三七

市村孫四郎御用状 一二月二日

一通 三三七

野島昌太郎・渡辺四郎藏御用状 一二月二四日

一通 三三三

堀之内・茂木村庄屋宛御用状

柏新兵衛・増子宗八郎御用状 三月七日

一通 三三三

茂木村庄屋宛御用状

会沢栄藏・石川登一郎御用状 正月二〇日

一通 三三三

和田平太郎・小貫忠藏御用状 三月一四日

一通 三九七

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 九月二一日

一通 八三〇

御普請方渡辺清三・砂押小三郎御用状 一二月五日

一通 三三三

石井左一郎・石川登一郎御用状 一二月七日

一通 三〇〇

富田村庄屋宛御用状

秋山孫三・大内孝太郎御用状 四月二〇日

一通 一八〇

磯部徳二郎・佐藤哲三郎御用状 閏四月一四日
(明治元年)

一通 一八〇

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 閏四月二九日
(明治元年)

一通 一八六

橋本寿八郎・大内孝太郎御用状 五日晦日

一通 一七三

橋本寿八郎・宮部辰之介御用状 七月八日

一通 一七三

桑名安一郎・大内孝太郎御用状 八月二二日

一通 三〇六

石川登一郎・川村介三郎御用状 八月二七日

一通 三〇六

上戸村庄屋宛御用状

橋本寿八郎・大串平太郎御用状 三月二四日

一通 一七九

各村庄屋宛御用状

加藤幸之介御用状 富田・清水・矢幡・堀之内・牛堀村々庄屋宛 二月二八日

一通 一六五

加藤幸之介御用状 富田・清水・矢幡・堀之内・牛堀村庄屋宛 二月晦日

一通 一八〇

大御山守平左衛門御用状 潮来始り大須留り村々庄屋宛 三月二日

一通 一六六

照沢四郎八・岡野清藏御用状 富田・清水・上戸村宛 三月一七日

一通 三九四

石川登一郎・庄司弥三衛門御用状 富田・牛堀村永山共他庄屋宛 三月二一日

一通 一六五

矢野唯之丞御用状 榊原啓介・須田源之丞・他宛 四月二日

二通 二五三

中村庫兵衛・莊司弥三衛門御用状 富田村他村々庄屋宛 四月二〇日

一通 三三七

鮎沢伊太夫御用状 上野村他村々庄屋宛 六月

一通 二六五

中根健次・江橋信藏御用状 鳴崎・赤須村庄屋宛 七月四日

一通 一六五

小川役所今泉久左衛門御用状 川中子・羽生・玉造・浜・富田・牛堀村庄屋宛 八月二一日

一通 二五二

加藤幸之介御用状 矢幡・牛堀・堀之内・茂木・清水・富田村々庄屋宛 八月二四日

一通 一八四

矢野唯之丞御用状 富田・永山・牛堀・他村々庄屋宛 八月二七日

一通 三三三

今泉久左衛門御用状 川名子・羽生・浜・富田・牛堀から崎迄村々庄屋宛 九月七日

一通 二六〇

今泉久左衛門御用状 川名子・羽生・浜・富田・牛堀から崎迄村々庄屋宛 九月一五日

一通 一六二

茂木惣兵衛書状 鳴崎・上戸・牛堀村々庄屋宛 十一月四日

一通 一七二

国井将二郎御用状 牛堀永山共・上戸・堀之内村々庄屋宛 十二月二日

一通 一八三

大御山守須田源之丞御用状 上戸・鳴崎・潮来・大洲・辻・延方・築地・矢幡・堀之内・清水・富田・牛堀村々庄屋宛 四月一九日

一通 二五六

大御山守石田丹後・同須田重作御用状 潮来・
辻・大洲・延方・築地・矢幡・堀之内・清水・富田・
島崎・牛堀・上戸村々庄屋宛 閏四月七日(明治元
年)

一通 一八四

大御山守須田重作御用状 富田・清水・堀之内・
矢幡・牛堀村々庄屋宛 閏四月一三日

一通 一六九

大御山守石田恒堂・同須田重作御用状 村々庄
屋宛 五月二〇日

一通 一八四

大御山守須田源之丞書状 嶋崎・上戸・清水村庄
屋宛 八月一六日

一通 一七九

大御山守須田重作御用状 上戸・嶋崎・堀之内・茂
木庄屋宛 一〇月一五日

一通 一七九

須田源之丞宛書状

吉崎十兵衛書状 正月九日

一通 二〇四

吉崎十兵衛書状 正月一〇日

一通 三三九

吉崎十兵衛書状 三月二九日

一通 三〇五

吉之介書状 正月一七日

一通 三〇四

内藤貞造書状 二月九日

一通 三三三

石田半右衛門書状 五月一四日

一通 三三四

笹目八郎兵衛書状 六月二二日

一通 三三七

内蔵八書状 七月二二日

一通 一九六

惣介書状 八月一五日

一通 二五四

要太郎書状 一〇月五日

一通 三三七

惣介書状 一〇月一三日

一通 三三三

藤之介書状 一〇月一九日

一通 三〇七

白井喜三次書状 一月二二日

一通 三〇〇

大曾根又市郎書状 二月六日

一通 一九〇

堀之内村勘右衛門書状 二月一六日

一通 三三九

石上庄左衛門書状

一通 一九九

○

石神庄左衛門書状 吉崎十衛門・須田源之丞宛
七月一九日

一通 一九四

須田源之丞書状

須田源之丞書状 永作惣左衛門宛 一〇月九日

一通 二〇三

源之丞書状 新宅宛

一通 三三九

須田平十郎宛書状

坂藤兵衛書状 二月二三日

一通 三六四

藤兵衛書状 三月三日

一通 三三九

吉崎十衛門書状 五月二日

一通 三三七

坂藤兵衛書状 五月二六日

一通 三三六

小峰孫右衛門書状 六月二五日

一通 一九九

大川五郎右衛門・大塚平五郎・窪谷理右衛門書
状 六月二八日

一通 二〇一

御師久保倉太夫書状 八月吉日

一通 三三六

橋本善左衛門・小室權左衛門書状 九月二日

一通 三三三

坂藤兵衛書状 一〇月一〇日

一通 三三三

所左衛門書状 一〇月一日

一通 二〇〇

嶋崎村藤兵衛書状 一月朔日

一通 三三六

某書状 一月二〇日

一通 三三五

坂藤兵衛書状 一月二六日

一通 三三三

長嶺善三郎書状 極月二〇日

一通 三三五

山来次郎兵衛書状

一通 三三〇

須田平十郎書状

一通 三二七

牛堀村平十郎書状 小室権左衛門・橋本善左衛門宛 四月一五日

一通 三二七

須田伊右衛門宛書状

一通 三三三

吉重郎右衛門書状 五月一七日

一通 三三三

大の彦兵衛書状 一〇月一七日

一通 三三六

辻村内藤五右衛門書状 二月九日

一通 三三三

矢幡村片岡介兵衛書状

一通 三三三

内藤五右衛門書状

一通 三三六

須田喜久右衛門・清兵衛宛書状

一通 三三六

今井孫八書状 三月一五日

一通 三三六

山田義兵衛書状 一〇月一〇日

一通 三三三

○

今井吉兵衛書状 永峯孫左衛門・坂本五右衛門・須田清兵衛宛 三月二三日

一通 三三三

吉兵衛書状 清兵衛宛 三月二三日

一通 三三〇

須田喜源次宛書状

一通 三三〇

多田権兵衛書状 二月一〇日

一通 三三三

○柿磨宛書状

月村書状 正月五日

一通 一九七

月村書状 正月

一通 三三三

某(月村カ)書状 閏如月三日

一通 三三七

青山書状 牛堀大人宛 弥生二六日

一通 三三〇

杉雨正月村書状 卯月

一通 三三九

月村書状 さ月

一通 三三七

月村一子左梅書状 五月

板一通 三三九

某(月村カ)書状 七月

一通 三三六

某(月村カ)書状 九月一六日

一通 三三三

佐原鬼可事本城常右衛門書状 九月二五日

一通 三三七

某(月村カ)書状 霜月六日

一通 三三五

月村書状 極月二日

一通 三三六

某(月村カ)書状 時鳥月三日

一通 三三六

月村書状 二二日

一通 三三三

某(月村カ)書状

一通 三三三

某(月村カ)書状

一通 三三七

○

杉雨月村俳句

板一枚 三三六

須田茂十郎宛書状

藤井耆昭カ書状 二月一七日

一通 三三七

潮來村宮本千藏書狀 七月一〇日 一通 三〇四
石井新四郎秀親書狀 一〇月一四日 一通 二九二

須田内蔵八宛書狀

大串藤一郎書狀 正月一六日 一通 三三六

磯五郎書狀 二月朔日 一通 三三〇

金沢藤之介書狀 四月一五日 一通 二〇七

三郎衛門書狀 四月一五日 一通 三三九

金沢藤之介書狀 四月二一日 一通 二〇九

久八郎書狀 四月二八日 一通 二〇八

金沢藤之介書狀 四月二八日 一通 二〇六

大久保久八郎書狀 初夏望カ日 一通 二〇五

三郎衛門書狀 五月六日 一通 三三六

金沢藤之介・菊地脩藏書狀 六月二日 一通 三三五

一沢千藏書狀 八月 一通 二〇六

一沢千藏書狀 九月朔日 一通 一九一

一沢千藏書狀 一二月二〇日 一通 一九三

喜三次書狀 一〇月二八日 一通 二〇八

喜三次書狀 一二月二一日 一通 二〇九

須田内蔵八書狀

須田内蔵八書狀 金沢宛 一二月二日 一通 二〇七

須田源之丞・同内蔵八宛書狀

知常書狀 二月二七日 一通 三三六

磯又右衛門書狀 三月一〇日 一通 三〇五
矢野唯之丞書狀 四月朔日 一通 三三六
藤之介書狀 〇 一通 二〇一

延方村庄屋孫兵衛書狀 牛堀村源之丞宛 五月三日 一通 二五九

小林信之介・海老根安藏御用狀 一〇月三日 一通 二〇一

須田重作宛書狀

丹後書狀 三月一九日 一通 三三六

丹後書狀 閏四月九日 一通 三三二

丹後書狀 閏四月二四日 一通 三〇〇

丹後書狀 五月三日 一通 三二一

丹後書狀 五月九日 一通 三〇九

丹後書狀 五月一九日 一通 三〇三

丹後書狀 五月二〇日 一通 三三九

丹後書狀 五月二一日 一通 三〇八

丹後書狀 五月晦日 一通 三三九

丹後書狀 六月二日 一通 三三六

丹後書狀 七月五日 一通 三三七

丹後書狀 七月九日 一通 三三九

御同役丹後書狀 七月三日 一通 三三九

丹後書狀 七月一五日 一通 三三七

丹後書狀 七月二〇日 一通 二〇一

丹後書状	七月二〇日	一通	三〇四
丹後書状	七月二〇日	一通	三〇六
丹後書状	七月二三日	一通	三〇四
丹後書状	八月六日	一通	三〇五
丹後書状	八月一三日	一通	三〇四
丹後書状	九月八日	一通	三〇〇
丹後書状	一〇月二〇日	一通	三〇三
丹後書状	十一月八日	一通	三〇七
丹後書状	十一月二二日	一通	三〇六
丹後書状	十一月二七日	一通	三〇七
丹後書状	三日	一通	三〇六
丹後書状	四日	一通	三〇八
丹後書状	五日	一通	三〇二
丹後書状	七日	一通	三〇〇
丹後書状	九日	一通	三〇七
丹後書状	九日	一通	三〇五
丹後書状	二九日	一通	三〇四
丹後書状	晦日	一通	三〇七
○			
丹後御用状	正月二二日	一通	三〇四
石田丹後御用状	正月二四日	一通	三〇三
丹後御用状	閏四月二三日	一通	三〇六

石田丹後御用状	閏四月二二日	一通	三〇〇
石田丹後御用状	五月二〇日	一通	三〇三
大御山守石田丹後御用状	六月二七日	一通	一七四〇
丹後御用状	八月二一日	一通	三〇五
丹後御用状	八月二六日	一通	三〇七
丹後御用状	九月七日	一通	三〇五
石田恒堂御用状	一〇月四日	一通	一〇九六
御同役石田丹後御用状	一二月二七日	一通	一〇九六
丹後御用状	七日	一通	三〇四
丹後御用状	一九日	一通	三〇三
丹後御用状	二八日	一通	三〇四
○			
江戸江川屋太七書状	辰年正月二二日	一通	二〇九五
折笠勘兵衛書状	正月一八日	一通	三〇六
砂押泉三郎書状	正月二四日	一通	一〇一〇
某書状	正月二九日	一通	三〇三
清宮文三郎書状	二月三日	一通	三〇六
久保木藤四郎書状	二月一七日	一通	二〇〇
久保木太郎八書状	二月一九日	一通	二〇〇
高七 ^ま 花沢仁左衛門書状	二月二七日	一通	二〇九六
信戸太郎兵衛書状	三月六日	一通	三〇五
富田村羽生仁郎書状	三月九日	一通	二〇四

坂藤次衛門書狀	三月一四日	一通	三〇九
高安佐七書狀	三月一七日	一通	二八三
八郎兵衛書狀	三月一九日	一通	三〇四
麻生藩羽生勝之進書狀	三月二二日	一通	三一九
庄司弥三衛門書狀	三月二四日	一通	三〇三
羽生勝之進(芦風)書狀	竹苞宛 三月二四日	一通	三〇〇
敬次郎書狀	竹苞宛 三月二五日	一通	三〇三
雅山書狀	三月二五日	一通	三〇三
新井十左衛門書狀	三月二九日	一通	三〇元
久保木栄太郎書狀	四月二日	一通	三〇三
長国寺書狀	四月一日	一通	三〇六
常雄書狀	四月一日	一通	三〇六
野嶋宇太郎書狀	竹苞宛 四月二日	一通	三〇三
吉田謙之介書狀	四月二四日	一通	三〇一
加納源太郎書狀	四月二五日	一通	三〇五
小河原伝左衛門書狀	四月二六日	一通	三〇七
伊能三造書狀	四月二〇日	一通	三〇九
惣介書狀	四月二〇日	一通	三〇三
八郎兵衛書狀	四月二二日	一通	三〇六
八郎兵衛書狀	四月二三日	一通	三〇九
小河原伝左衛門書狀	辰年四月二五日	一通	三〇元
村田市左衛門書狀	四月二五日	一通	三〇二

左七書狀	四月二五日	一通	三〇六
大友圭介書狀	四月二五日	一通	三〇三
太郎兵衛書狀	四月二六日	一通	一九六
五郎左衛門書狀	四月二九日	一通	三〇八
関戸正左衛門書狀	四月晦日	一通	三〇壹
吉成恒次郎書狀	閏四月一〇日(明治元年九)	一通	三〇壹
栄二郎書狀	閏四月一日	一通	三〇四
岡本吉兵衛書狀	閏四月二七日(明治元年九)	一通	三〇六
三嶋村山来治郎兵衛書狀	午年五月四日	一通	三〇五
山来治郎兵衛書狀	五月一〇日	一通	一九六
大場惣介書狀	五月一六日	一通	三〇二
純一郎書狀	五月一八日	一通	三〇三
八郎兵衛書狀	五月二八日	一通	三〇六
大吉十三郎書狀	五月二九日	一通	三〇四
関戸正左衛門書狀	六月六日	一通	三〇四
大場惣介書狀	六月一五日	一通	三〇六
吉田謙之介書狀	六月一七日	一通	三〇〇
関戸富之丞書狀	六月二三日	一通	三〇四
関戸喜右衛門書狀	六月二三日	一通	三〇六
某書狀	六月二九日	一通	三〇三
市左衛門書狀	七月二日	一通	三〇七
榊原啓介書狀	七月三日	一通	三〇四

延方村関沢泰介書状 七月一五日 一通 三〇九
 二本松寺書状 七月一七日 一通 三〇五
 村田市左衛門書状 七月二〇日 一通 三〇五
 成井甲五郎書状 七月二四日 一通 三〇五
 市左衛門書状 七月二六日 一通 三〇六
 折笠桂齋書状 七月二七日 一通 三〇六
 恒堂書状 竹苞宛 七月 一通 三〇六
 大場惣介書状 葉月二日 一通 三〇七
 長国寺書状 八月一五日 一通 三〇七
 関戸正左衛門書状 八月一九日 一通 三〇八
 関戸正左衛門書状 八月一九日 一通 三〇八
 潮来村関戸正左衛門書状 八月二四日 一通 三〇八
 常雄書状 八月二四日 一通 三〇八
 渡部良介書状 八月二八日 一通 三〇九
 宮本主馬之介書状 八月晦日 一通 三〇九
 惣介書状 九月朔日 一通 三〇九
 八郎兵衛書状 九月六日 一通 三〇九
 宮本主馬之介書状 九月八日 一通 三〇九
 平山左一郎書状 九月一二日 一通 三〇九
 羽生仁郎書状 九月一三日 一通 三〇九
 三嶋村山来治郎兵衛書状 卯年九月一四日 一通 三〇九
 高安宗悦書状 九月一五日 一通 三〇九

前嶋武次右衛門書状 九月一八日 一通 三六一
 大御山守石田恒堂書状 九月二二日 一通 一〇七
 大崎次郎兵衛書状 九月二四日 一通 三〇七
 長岡村木村富藏御用状 九月二八日 一通 六〇〇
 惣介書状 九月二八日 一通 三〇六
 藤次衛門書状 九月望日 一通 三〇四
 八郎兵衛書状 一〇月朔日 一通 三〇六
 石田縫殿之介書状 一〇月二日 一通 三〇七
 綽山書状 一〇月五日 一通 三〇七
 惣介書状 一〇月六日 一通 三〇九
 長国寺書状 一〇月一〇日 一通 三〇九
 橋本寿八郎書状 一月一七日 一通 三〇〇
 八郎兵衛書状 一〇月二七日 一通 三〇二
 久五郎書状 一月二日 一通 三〇三
 恒堂御用状 一月一〇日 一通 三〇四
 折笠桂齋書状 一〇月一日 一通 三〇九
 関沢淇兵衛書状 一〇月一六日 一通 三〇八
 大御山守石田恒堂御用状 霜月二〇日 一通 三〇八
 小島郁藏書状 一月三日 一通 三〇五
 高安左太郎書状 一月七日 一通 三〇三
 恒堂書状 一月二五日 一通 三〇六
 関戸正左衛門書状 一月三日 一通 三〇三

窪木藤四郎書狀 二月六日

一通 三〇三

信戸伊五郎書狀 二月六日

一通 三〇六

関戸正左衛門書狀 二月七日

一通 三〇三

坂敬二郎書狀 臘月一六日

一通 三〇五

恒堂書狀 二月二五日

一通 三〇四

惣介書狀 師走二七日

一通 三〇七

関戸喜右衛門書狀 三日

一通 三〇五

常雄書狀 竹苞宛 五日

一通 三〇六

山来治郎兵衛書狀 二〇日

一通 三〇七

新二郎書狀 三〇日

一通 三〇四

十左衛門書狀

一通 三〇七

石田縫殿之介書狀

一通 三〇二

須田重作・他宛書狀

樽見久介書狀 大場惣介・須田重作宛 五月一四日

一通 三〇三

大場惣介御用狀 石田丹後・須田重作宛 閏四月二七日(明治元年)

一通 二八四

潮来村大御山守石田丹後書狀 大場惣介・須田重作宛 子年七月

一通 三〇五

内藤五郎左衛門書狀 大場惣介・須田重作宛 九月三日

一通 三〇七

福田善兵衛・先宮又四郎・大場惣介書狀 石田丹後・須田重作宛 一〇月三日

一通 三〇五

須田重作書狀

須田重作書狀 関戸正左衛門宛 五月二日

一通 三〇三

須田重作書狀 三嶋村役人衆中宛 六月二日

一通 三〇三

重作書狀 佐藤哲三郎宛 七月二〇日

一通 三〇三

重作書狀 惣助宛 七月二〇日

一通 三〇四

須田重作書狀 大場忠衛宛 一〇二二日

一通 三〇元

大御山守石田丹後・須田重作書狀 大御山守福田善兵衛・加固弥三郎宛 一〇月

一通 三〇四

某書狀 正月五日

一通 三〇三

清宮村本宮治左衛門外老人書狀 須田御内室宛 九月一日

一通 三〇〇

めぶ書狀 二月四日

一通 三〇三

須田武兵衛宛書狀

一通 三〇三

下田長左衛門・幸保惣兵衛書狀 六月一九日

一通 三〇六

須田幹之助・幹三宛書狀

一通 三〇七

東京大野書店書狀 明治一七年四月一日

一通 三〇七

前嶋源藏書狀 四月二日

一通 三〇三

玉川徳兵衛書狀 五月二〇日

一通 三〇三

はく書狀 五月一五日

一通 三〇元

坂嘉也書狀 七月二日

一通 三〇元

東京小築庵書狀 明治一八年七月二日

一通 三〇元

東京大野書店書狀 明治一七年七月二九日

一通 三〇元

坂書状 須田幹宛 八月三日

一通 三三九

下総国香取郡西大須賀村桜井仁右衛門書状 八月四日

一通 三三〇

東京報告社書状 八月一〇日

一通 三〇九

坂嘉也書状 九月一九日

一通 三三〇

桜井忠兵衛書状 一〇月二三日

一通 三〇六

羽生跡也書状

一通 三三五

○

小堤通雄・ふせ平彦書状 須田幹三宛 八月二七日

一通 三三六

須田宛書状

要助書状 二月三日

一通 三〇一

今井隱居書状 寅年四月三日

一通 三〇四

石田書状 閏四月二九日

一通 三二五

大場書状 五月一七日

一通 三〇九

山口直次郎書状 五月二四日

一通 三〇四

和勢総左衛門・河原井三年書状 五月二四日

一通 三〇六

梅香書状 七月二日

一通 三〇三

長国寺書状 七月二日

一通 三〇六

七五郎書状 一〇月二七日

一通 三三〇

某書状 二月三日

一通 三三三

山来書状 六日

一通 三〇五

石田書状 二二日

一通 三二七

○

大崎新六書状 御新宅須田宛 三月一六日

一通 三〇九

こめ介書状 須田御父子宛 四月朔日

一通 三三一

左太郎書状 須田御両家宛 五月一九日

一通 三〇〇

某書状 須田御叔父宛 五月二五日

一通 三三三

大久保書状 須田御父子宛 九月一七日

一通 三〇九

てる書状 須田御父伯・御おば宛 霜月二〇日

一通 三〇六

さゝめ内書状 須田御兄宛

一通 三〇七

多た書状 須田うち御母宛

一通 三三五

○

高安書状 須田・笹目宛 閏四月二日

一通 三〇九

松田信之輔書状 浜野茂右衛門・室町甚五郎 須田宛 一〇月二〇日

一通 三〇三

金沢書状 浜野・須田・御同姓・白井宛 一一月七日

一通 三五六

須田書状

須田書状 関口宛

一通 三〇五

他家問書状・御用状

畑四郎左衛門書状 石田辰右衛門宛 正月一日

一通 二九九

野口書状 久保木宛 旧二月一九日

一通 三三六

孫右衛門書状 藤兵衛・平十郎宛 三月三日

一通 三五五

加しま書状 三月二〇日

一通 三〇四

八郎兵衛書状 左太郎宛 三月二九日

一通 三〇六

柴田仲右衛門書狀	大場米藏宛	四月二二日	一通	三〇六
順吉書狀	御姉宛	五月二五日	一通	三〇三
寿八郎・孝太郎書狀	哲三郎宛	五月二六日	一通	一〇九
恒堂書狀	佐藤宛	五月二八日	一通	三〇六
真宮又四郎書狀	佐藤哲三郎宛	五月二九日	一通	三三三
小貫・和田書狀	寺門宛	六月五日	一通	三六五
三上甚助書狀	佐藤友太郎宛	六月六日	一通	二〇七
牛堀村舟主熊太郎事いせ屋勘右衛門書狀	善吉宛	六月一三日	一通	三四二
孝太郎・寿八郎書狀	辰太郎宛	六月	一通	二〇六
寺門書狀	佐藤宛	七月一三日	一通	三六五
大場惣介書狀	佐哲三郎宛	七月二日	一通	三三七
大場惣介書狀	寺門宛	七月二日	一通	三〇三
半助書狀	御且那宛	七月二六日	一通	二〇五
清水忠兵衛書狀	某宛	九月朔日	一通	三五
中村孫すけ書狀	某宛	一〇月六日	一通	三三〇
留三郎書狀	御兄宛	一〇月七日	一通	二〇三
知常書狀	酣古宛	一〇月二二日	一通	三六
東府井坂伝源書狀	金沢・小林・海老根宛	卯年一〇月二二日	一通	三六七
阿久津登書狀	折笠純一郎宛	一〇月二三日	一通	三〇九
城之助書狀	茂右衛門宛	霜月七日	一通	三〇六

下玉里村室町甚五郎書狀	玉造村大御山守白井喜三次宛		一通	三〇九
1 室町書狀	白井宛	十一月一日	二通	
2 茂衛門書狀	御伯父・内藏八宛	十一月七日	一通	
3 茂衛門書狀	甚五郎宛	十一月七日	一通	
中村孫右衛門書狀	石田辰右衛門宛	十二月九日	一通	三六〇
坂藤兵衛書狀	某宛	〇月二二日	一通	三六七
留三良書狀	御兄宛		一通	二〇〇
佐藤哲三郎書狀	大場惣介宛		一通	二〇四
菊地忠之介書狀	寺門辰太郎宛		一通	三四一
高安書狀	某宛		一通	三三三
川上亭主人書狀	田右近衛門宛		一通	二〇八
梅田文順書狀	鴻巣修齋宛		一通	二〇七
弓埜俊之助・金沢藤之介御用狀	某宛	三月六日	一通	二九一
川又金之介・渡辺四郎藏御用狀	牛堀村某宛	三月二三日	一通	二九六
杉浦吉十郎・金沢藤之介御用狀	牛堀村某宛	四月三日	一通	三三一
石田丹後御用狀	関戸喜衛門宛	四月二三日	一通	三〇四
荒嶋宮中村高安清左衛門書狀	麻生御用番藤屋福左衛門宛	七月二四日	一通	三〇一
宮中村高安清左衛門書狀	玉造村大場惣介宛	七月二四日	一通	三〇一

島崎村書状 牛堀村宛

(菊地三雅御用状)

某書状

某書状 正月三日

某書状 二月朔日

米状之写 三月八日

某書状 三月二十九日

某書状 四月一九日

某書状 四月二十四日

某書状 七月二日

某書状 八月三日

某書状 八月九日

某書状 八月二三日

某書状 九月二六日

某書状 一〇月一〇日

某書状 一二月二二日

某(小沼源兵衛カ)書状 極月晦日

某書状

某書状

某書状

某書状

一通 一九七
一通 二五〇

一通 二六七

一通 二九四

一通 一九〇

一通 二四九

一通 三〇七

一通 二五〇

一通 二四二

一通 二四四

一通 三四四

一通 三五三

一通 二四九

一通 二四七

一通 二四六

一通 二四八

一通 二四八

一通 二四九

一通 二五三

某書状

〇

(御用状封包)

書状

(書状断簡)

書状集

書状集

1 (東山殿御茶同朋能阿弥作品拓本)

2 吉田美太郎書状 須田茂十郎宛 一月一〇日

3 吉田美太郎書状 御本家御伯父様宛 二月二日

4 吉田伝八郎書状 須田茂十郎・須田重作宛 二月晦日

5 (某女書状)

6 久津木太郎右衛門書状 須田喜源治宛 八月二二日

7 多田庄兵衛書状 須田喜源司宛 九月二二日

8 まさ書状 御かもし殿宛

9 ちう詠草

10 美寿詠草

11 (新治郡安倉村代官浜野茂右衛門娘おとみ殿詠草)

12 (為孝寄婦鴈咏祖母君遺墨)

一通 二五三

一綴 二六二

一綴 二六三

一卷 二六七

一枚

一通

- 13 吉田美太郎信近書狀 須田茂十郎・同内藏
八宛 正月二八日 一通
- 14 吉田兵左衛門大信書狀 須田茂十郎参人々
御中宛 正月二〇日 一通
- 15 ます・ミチ書狀 御兄様宛 一通
- 16 大塚省五郎書狀 須田内藏八宛 九月一六
日 一通
- 17 庄兵衛書狀 おちか宛 一月二一日 一通
- 18 利衛門書狀 茂重郎狀 一九日 一通
- 19 吉田美太郎書狀 一通
- 20 吉田兵左衛門書狀 須田茂十郎・同重作宛
一月二二日 一通
- 21 吉田兵左衛門書狀 須田茂十郎・同重作宛
七月二二日 一通
- 22 六月十九日御用番久世様へ御届 一通
- 23 (吉田)兵左衛門書狀 (吉田)美太郎宛
二月二二日 一通
- 24 (吉田)兵左衛門書狀 (吉田)美太郎宛
三月二二日 一通
- 25 (武術稽古人覚) 一通
- 26 吉田兵左衛門書狀 須田茂十郎・須田重作
宛 四月二二日 一通
- 27 (吉田)美太郎書狀 須田源之丞・同茂十
郎・同重作・同駒太郎宛 四月二二日 一通
- 28 某(吉田兵左衛門カ)書狀 一通
- 29 土屋采女正様藩吉田兵衛門大坂勤番ニ付
大坂カ来狀 六月二二日 一通

御用狀・書狀

- 30 吉田兵左衛門書狀 須田茂十郎・同重作宛
二月一〇日 一通
- 31 (吉田)美(太郎)書狀 御本家御叔父
・新宅御叔父宛 七月二二日 一通
- 32 篠田八郎兵衛書狀 須田内藏八宛 正月六
日 一通
- 33 大坂より廻ル異情風説 一通
- 34 須田源之丞書狀 (須田)茂十郎宛 閏正
月五日(天保二二年カ) 一通
- 35 (蝦夷地一体上知仰出ニ付御触書) 卯年
一一月朔日(安政二二年カ) 一通
- 36 吉田兵左衛門書狀 土浦吉田美太郎宛 九
月二〇日 一通
- 37 某書狀 八月二五日 一通
- 38 吉田兵左衛門書狀 閏七月二二日(安政元
年カ) 一通
- 39 (嘉永六未年十二月宗鏡寺外所持釣鐘他
献上願書并御来翰写) 一通
- 40 (吉田)美太郎書狀 (須田)駒太郎宛 八
月二二日 一通
- 須田氏親類之来狀
- 1 為吉書狀 内藏八宛 六月二二日 一卷
二套
- 2 八太夫書狀 御本宅様・御新宅様宅 七月
一二日 一通
- 3 為吉書狀 内藏八宛 六月二二日 一通
- 4 八太夫書狀 尊兄宛 二七日 一通

- 5 (大坂御城江西洋流銃隊ニ付御書付他)
卯年六月七月(安政四年カ) 一通
- 6 (京都并東海道出水ニ付申上書状) 閏五月
(安政四年カ) 一通
- 7 兵左衛門書状 茂十郎宛 (安政五年)三月
一二日 一通
- 8 (大坂安治川口并木津川口御台場御取建
ニ付大坂城代土屋采女正宛老中御書付写)
(安政四年)四月二八日 一通
- 9 美太郎書状 御本家御伯父様宛 安政四年
九月二日 一通
- 10 吉田兵左衛門書状 須田茂十郎・同重作宛
五月二〇日(安政四年カ) 一通
- 11 兵左衛門書状 茂十郎・重作宛 九月二二
日(安政四年カ) 一通
- 12 吉田兵左衛門書状 須田茂十郎・同重作宛
七月二日(安政四年カ) 一通
- 13 (左原清宮利右衛門)書状 須田源之丞宛
八月二五日(安政) 一通
- 14 大沢甚左衛門書状 須田駒太郎宛 六月一
日 一通
- 15 伝左衛門書状 須田駒太郎宛 五月二日 一通
- 16 吉田兵左衛門書状 須田茂十郎・同重作宛
(安政元年)一二月二日 一通
- 17 大塚甚左衛門書状 須田内蔵八宛 一通
- 18 兵左衛門書状 茂十郎・重作宛 八月二二
日 一通
- 19 大塚甚左衛門書状 須田茂十郎宛 五月六
日 一通
- 20 清宮利右衛門書状 須田源之丞宛 一〇月
一六日(安政元年カ) 一通
- 21 浜野隱居書状 須田茂十郎・駒太郎・人々
御中宛 八月二五日 一通
- 22 浜野茂衛門書状 須田茂十郎宛 八月二一
日 一通
- 23 (宮村并兼帯共御役御免ニ付同役江連候
書状反故) 嘉永七年八月二七日 一通
- 24 伊能四郎兵衛書状 須田源之丞宛 一二月
二八日 一通
- 25 具美書状 御兄様宛 八月二七日 一通
- 26 はまの父書状 須田おちう宛 二月二五日 一通
- 27 吉田兵左衛門書状 須田茂十郎・須田重作
・人々御中宛 (安政二年)六月二二日 一通
- 28 先日長崎江渡来之イキリス人持参書翰之
和解之由略々 一通
- 29 吉田兵左衛門大信書状 須田茂十郎・同
駒太郎宛 正月五日 一通
- 30 (容体書) 安政四年六月二〇日 一通
- 31 吉田兵左衛門書状 須田茂十郎・須田重作
宛 (安政四年)六月二〇日 一通
- 32 津国兌助書状 須田宛 七月三日 一通
- 33 小河原兄書状 須田氏おてる宛 一通
- 34 笹目八郎兵衛書状 須田内蔵八宛 霜月三
日 一通
- 35 高安佐左衛門書状 須田内蔵八宛 一一月
三日 一通

- 36 浜野為吉書狀 須田内蔵八宛 三月二日 一通
- 37 よしだ姉書狀 寿田おちう宛 婦美月二九日 一通
- 38 浜野勝之丞書狀 須田源之丞宛 三月三日 一通
- 39 清書狀 お亭流宛 一通
- 40 齊藤雄一郎盛洋書狀 須田茂十郎・人々御中宛 正月十五日 一通
- 41 (高浜笹目)八郎兵衛書狀 御令兄宛 九月二〇日 一通
- 42 某書狀 須田喜久右衛門・同喜源次・人々御中宛 八月二十六日 一通
- 43 浜野茂右衛門書狀 須田茂十郎宛 一月二十八日 一通
- 44 (高浜笹目)八郎兵衛書狀 御令兄宛 一日 一通
- 45 書狀 一通
- 46 兵左衛門書狀 お喜多宛 一通
- 47 兵左衛門書狀 お喜多宛 一通
- 48 (吉田兵左衛門カ)書狀 一通
- 49 浜野勝之丞書狀 須田茂十郎宛 六月二二日 一通
- 50 浜野隱居書狀 須田茂十郎宛 四月二日 一通

(書状集)

- 1 葉三郎書狀 須田宛 正月二日 一通
- 2 神竜寺書狀 須田茂十郎宛 九月二七日 一通

一巻
二六宛

- 3 如蓮書狀 須田宛 九月念六日 一通
- 4 漢詩草稿 須田宛 一通
- 5 如意書狀 須田茂十郎宛 七月二七日 一通
- 6 如蓮書狀 須田茂十郎宛 八月八日 一通
- 7 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 二月二一日 一通
- 8 神竜寺書狀 須田茂十郎宛 正月念三日 一通
- 9 神竜大寅書狀 須田茂十郎宛 季春五日 一通
- 10 如意書狀 須田茂十郎宛 季春二〇日 一通
- 11 如蓮書狀 須田宛 春夏念一日 一通
- 12 長久保源五兵衛書狀 岡部庄介宛 閏七月二九日 一通
- 13 (長久保源五兵衛書狀カ) (岡部伝右衛門宛カ) 一通
- 14 某書狀 五月六日 一通
- 15 南京船安房国忽戸村飄着漢人願書 安永九年夏 一通
- 16 (阿蘭陀人持渡駱駝凶断片) 一通

(書状集)

- 1 某(大寅カ)書狀 一通
- 2 大寅書狀 須田茂十郎宛 霜月一九日 一通
- 3 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 夏五一九日 一通
- 4 長嶋信書狀 須田茂十郎宛 八月八日 一通

一巻
一六〇

5	善心寺三郎兵衛書状 須田茂重郎・同源八 宛 二月二日	一通
6	神竜寺書状 須田茂十郎宛 五月二六日	一通
7	神竜寺大寅書状 須田茂十郎宛 八月念日	一通
8	深作九六書状 須田茂十郎宛 三月二日	一通
9	大内与一郎書状 須田茂十郎宛	一通
10	大内与一郎書状 須田茂十郎宛 二月二 日	一通
11	(常陸国多賀郡河原子村他漁船の者異国 船より貰候品覚) 安政二年カ	六通
12	小島担雪書状 須田茂十郎宛 五月一〇日	一通
13	長嶋カ二兵衛書状 須田茂十郎宛 三月一七 日	一通
(書状集)		
1	(吉成又右衛門支配所牛堀村庄屋須田茂 十郎閉戸申付書) 巳年	二通
2	須田茂十郎書状 須田源之丞宛	一通
3	某書状 一月二六日	一通
4	鈴泉書状 須田宛 二月二〇日	一通
5	某書状 須田宛 二月二〇日	一通
6	菊地脩藏・市毛熊之介御用状 牛堀村庄 屋須田茂十郎宛 一月二〇日	一通
7	嶋田長右衛門書状 須田茂十郎宛 一二 月二日	一通
8	後藤友右衛門書状 秋葉友次郎宛 一二 月二日	一通

9	某書状 一月二三日	一通
10	友次郎書状 太郎兵衛宛 二月三日	一通
11	(中納言様御隠居御慎の儀御免訴願ニ付 江戸表罷登度願書) 上青山村他八カ村 大山守 御郡御奉行所宛 天保一五年八月 九日	一通
12	信戸 太郎兵衛書状 須田源之丞宛 九月二 日	一通
13	吉成君之御連合之御文通 二月六日	一通
14	庄司弥八郎書状 須田宛 一〇月一五日	一通
15	嶋田長右衛門書状 須田源之丞・茂十郎宛 一〇月一六日	一通
16	新治郡石川村小松嶋小七郎書状 同郡安倉 村浜野茂右衛門宛 二月一三日	一通
17	関口秀庵書状 須田茂十郎宛 一〇月一七 日	一通
18	(村々百姓立騒罷出候者引返申付達書状) 須田源之丞 上戸庄屋宛他 一〇月一八日	一通
19	惣介書状 茂十郎宛 一月一九日	一通
20	御迎人別手扣 中納言様一件出牢水戸カ帰村出節村内之 者出迎之者道法人数扣	一通
21	(牛堀村庄屋須田茂十郎獄扶持代請取申 覚) 富田太之衛門 右組頭宛 四月六日	一通
22	詠草	一通
23	詠草	一通
24	遊鷹詠草	一通

25	漢詩	一通
26	詠草	一通
27	実書状 党兄宛	一通
28	御郡御役所様(広瀬元八郎・西野孝次郎)御用状 牛堀村須田源之丞方宛 一二月一日	一通
29	土屋采女正様藩中吉田伝八郎書状 須田伝八郎宛 一二月一日	一通
30	(立花忠八郎・大串藤之介)御用状 源之丞宛 一二月一日	一通
31	御役所様(市毛熊之介・西野孝次郎)御用状 秋葉・倉敷・玉造大御山守・牛堀村須田茂十郎方宛 一二月二七日	一通
32	鈴木・鴨泉(御郡奉行吉成又衛門様御出府之御御付添ニ而罷登候衆)書状 竹山宛 極月二〇日	一通
33	鴨川書状 須田宛	一通
34	香仙又書状 須田宛 六月三日	一通
35	市毛熊之介・西野孝次郎御用状 牛堀村庄屋宛 一二月二三日	一通
36	吉成又右衛門様御付添之御役所々書状 兩人 一二月二六日	一通
37	茂十郎(江南々御国迄御指下シニ相成候節我孫子宿元々被遣候)書状 御父様・御母様・妻子とも宛 一二月九日	一通
38	吉成君御出府之節御付添御役所様御手代江幡雄八郎書状 須田宛 霜月二五日	一通
39	江幡雄八郎書状 須田茂十郎宛 一二月一八日	一通

御用状・書状

40	某書状 極月七日	一通
41	弥八郎書状 須田宛 一二月三日	一通
42	宮部孝三郎書状 須田源之丞宛 一二月一日	一通
43	惣介書状 茂十郎宛 七日カ	一通
44	関口秀庵書状 須田茂重郎宛 一二月二日	一通
45	某書状 一二月三日	一通
46	蝶七郎書状 須田宛 一二月二七日	一通
47	大場惣介書状 須田源之丞宛 一二月五日	一通
48	惣介書状 源之丞・茂十郎宛 一二月五日	一通
49	(吉成又右衛門様御扱奉請潮来御領村々願書)	一通
(書状集)		
1	長嶋三太郎書状 八月二八日	一卷 一六三
2	長嶋三太郎書状 須田宛 五月二六日	一通
3	無為道人書状 須田章宛	一通
(書状集)		
1	某書状 三月二日	一卷 一六三
2	某書状	一通
3	無書状 菊雅宛 卯月一八日	一通
4	無書状 菊賀宛 八月一八日	一通
5	某書状	一通

(化政期諸大家文通集)

- 6 某書状 一通 一六四
- 7 無書状 菊賀御社中宛 一通
- 8 詠草 一通
- 9 詠草(立春可登子) 一通
- 10 詠草 一通
- 1 (拾心集メ由来記) 柿磨 一卷
- 2 葛斎書状 歳子雅風宛 霜月二日 一通
- 3 詠草 一通
- 4 金令書状 一二月一〇日 一通
- 5 金令書状 柿丸宛 四月一〇日 一通
- 6 金令書状 柿丸宛 一通
- 7 某書状 柿磨宛 一七日 一通
- 8 対竹書状 かし磨宛 二月六日 一通
- 9 対竹書状 柿磨様宛 三月一日 一通
- 10 (対竹カ)書状 三月二九日 一通
- 11 大梅書状 柿磨宛 二月一日 一通
- 12 大梅書状 柿磨宛 三月一日 一通
- 13 金令書状 菊雅宛 一二月一六日 一通
- 14 大梅書状 柿磨宛 二月二七日 一通
- 15 田喜庵書状 柿磨宛 卯月二〇日 一通
- 16 金令書状 一通

- 17 中井嘉右衛門書状 鳴宮仁兵衛宛 一通
- 18 某書状 一通
- 19 久保木太郎衛門書状 須田源之丞宛 九月一三日 一通
- 20 久保木太郎右衛門書状 内藤五郎作・小嶋孫兵衛・降力田茂作宛 一二月一日 一通
- 21 嘉右衛門書状 仁兵衛宛 一四日 一通
- 22 久保木太郎右衛門書状 須田嘉源治宛 八日 一通
- 23 久保木多郎右衛門書状 須田喜源治宛 二月九日 一通
- 24 詠草 猿翁 一通
- 25 葛斎書状 菊雅宛 八月二日 一通
- (書状集)
- 1 退入書状 豊州宛 二七日 一通
- 2 某書状 一通
- 書状集 一六六
- 1 某書状 一通
- 2 某書状 堀田豊州宛 一通
- 諸名家尺牘 一六七
- 1 詠草(寄弓恋) (斎藤)彦磨 一通
- 2 漢詩(題酒樓書画会) 洛陽花(斎藤彦磨) 一通
- 3 某書状 一通
- 4 神龜寺大寅書状 須田茂十郎宛 一通

- 5 大寅書狀 須田茂十郎宛 中春晦日 一通
- 6 水蓮道人書狀 須田茂十郎宛 中春九日 一通
- 7 漢詩(土浦神竜寺大寅禪師毫跡水戸藤田寅之助草稿) 東湖漁人 一通
- 8 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 中春念八日 一通
- 9 大寅書狀 須田茂十郎宛 後春月三日(天保二二年) 一通
- 10 神竜寺書狀 須田茂十郎宛 仲冬一九日 一通
- 11 神竜寺書狀 須田茂十郎宛 孟春一八日 一通
- 12 神竜寺書狀 孟春六日 一通
- 13 東雄書狀 須田茂十郎宛 一〇月三日 一通
- 14 戸崎重太夫潮来竹枝詞 一通
- 15 藤野寿進書狀 須田茂十郎宛 一月一七日 一通
- 16 閑齋書狀 酣古宛 一〇月一六日 一通
- 17 正敬書狀 須田宛 閏月二日 一通
- 18 土浦神竜寺大寅禪師墨跡 一通
- 19 (会沢先生庚子元旦御詩亨) 一通
- 20 (漢詩亨) 一通
- 21 (拙評) 一通
- 22 冬日過牛堀(漢詩并詠草) 安富号 一通
- 23 きおろ書狀 粟飯原ぬし宛 二月一日 一通

一卷 一五壹

(書狀他集)

- 1 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 冬春初四日 一通
- 2 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 仲春九日 一通
- 3 三太三(長嶋)信書狀 須田大兄宛 三月六日 一通
- 4 長崎信書狀 正月二三日 一通
- 5 三太三(長嶋)信書感 一通
- 6 神竜寺大寅書狀 須田茂十郎宛 仲秋八日 一通
- 7 神竜寺書狀 須田茂十郎宛 最初父日 一通
- 8 神竜寺大如書狀 須田茂十郎宛 三月八日 一通
- 9 某書狀 一通
- 1 葛庵執事書狀 菊雅宛 一月三日 一通
- 2 某書狀 一通
- 3 葛齋書狀 菊雅宛 一月二九日 一通
- 4 兼輔書狀 菊雅宛 一月一五日 一通
- 5 田喜謨書狀 柿麿宛 二月一六日 一通
- 6 無書狀 きく賀宛 正月一〇日 一通
- 7 鶯口書狀 柿麿宛 文月二五日 一通
- 8 某書狀 一通
- 9 無書狀 菊雅宛 六月一五日 一通
- 10 某書狀 一通

一卷 一五貳

- 11 葛齋書状 須田桓麿宛 子年冬・三日 一通
- 12 庵主書状 菊雅宛 如月八日 一通
- 13 一同書状 柿丸宛 正月六日 一通
- 14 謨書状 柿麿宛 六月七日 一通
- 15 葛齋書状 菊雅宛 三月二十八日 一通
- 16 金令舍道彦書状 二九日 一通
- 17 金令執事書状 蓑まろ宛 五月九日 一通
- 18 応之書状 金令宛 七月二日 一通
- 19 楚山書状 柿麿宛 文月二七日 一通
- 20 金令書状 柿麿宛 文月朔日 一通
- 21 某書状 一通
- 22 金令執事書状 菊雅宛 一二月九日 一通
- 23 金令詠草(題山梅) 柿丸宛 一通
- 24 雅称 金令舍 須田氏秀雄宛 文化八年霜月 一通
- 25 金令書状 菊雅宛 一二月二七日 一通
- 26 葛齋書状 菊雅宛 四月二日 一通
- 27 葛齋書状 菊雅宛 九月二三日 一通
- 28 詠草 一通
- 29 某書状 四月二七日 一通
- 30 葛齋執事書状 菊雅宛 九月二三日 一通
- 31 須田柿麿書状 夢南宛 正月一三日 一通

- 32 尾州名古屋東琵琶島油屋大助方加藤爾書状 雪里先生・菊雅先生宛 九月九日 一通
- 33 佐原庵右衛門書状 菊雅宛 一二月三日 一通
- 34 葛齋書状 菊雅宛 一二月七日 一通
- 35 さはら庵右衛門書状 菊雅宛 水無月一日 一通
- 36 齋葛書状 菊雅宛 九月一五日 一通
- 37 楚山書状 一通
- 38 恒丸書状 菊雅宛 八月一七日 一通
- 39 楚山書状 柿丸宛 九月二五日 一通
- 40 詠草 一通
- 41 詠草写 光孝天皇 一通
- 42 (為綱名書) 文化二二年三月二日 一通
- 43 (遠州流菴号免授状) 有楽庵一恵・青葉庵一雅 寛政二二年二月 一通
- 44 (遠州流一字書出) 有楽庵一恵 須田一雄宛 寛政二二年五月 一通
- 45 詠草写 壬生忠岑 一通
- 46 詠草写 崇徳院御製 一通
- 47 詠草写 源俊頼 一通
- 48 詠草写 道愈法師 一通
- 49 詠草写 大式三位 一通
- 50 詠草写 隆源法師 一通
- 51 詠草写 柿本人丸 一通
- 52 詠草写 藤原時実 一通

53 (淀屋辰五郎下屋敷門人闕所後當時堂島
富貴手嶋屋安十郎所持留)

(書状集)

- 1 吉田兵左衛門大信書状 須田茂十郎宛
正月一〇日 一通 一卷 一五三
- 2 高安左太郎書状 須田御兄・駒太郎宛 一
〇月一七日 一通
- 3 大沢甚左衛門書状 須田駒太郎宛 八月二
二日 一通
- 4 浜野茂衛門書状 須田茂十郎宛 一二月二
〇日 一通
- 5 小松原伝左衛門書状 須田内蔵八宛 二
月六日 一通
- 6 浜野蔵右衛門・同勝蔵書状 須田茂十郎
宛 一二月一八日 一通
- 7 某書状 一通
- 8 吉田兵左衛門大信書状 須田源之丞・須
田茂十郎・須田重作宛 正月五日 一通
- 9 喜口書状 寸田御本家宛 一二月二日 一通
- 10 関戸宇伝二書状 隅田清兵衛宛 七月二八
日 一通
- 11 安食村今井吉兵衛書状 牛堀村清兵衛宛
如月二五日 一通
- 12 浜野茂右衛門書状 須田茂十郎宛 正月一
三日 一通
- 13 某書状 六月二三日 一通
- 14 はく書状 さと宛 一通
- 15 吉兵衛書状 清兵衛宛 五月四日 一通

御用状・書状 家 家

16 多田庄兵衛書状 須田喜源次宛 一二月一
〇日 一通

17 庄兵衛書状 お千賀宛 二月四日 一通

18 浜野茂衛門書状 須田茂十郎宛 閏四月二
〇日 一通

19 吉田美太郎書状 須田駒太郎宛 二月二二
日 一通

20 吉田書状 須田宛 一〇月二日 一通

21 吉田兵左衛門大信書状 須田茂十郎・同
重作宛 正月一〇日 一通

22 久保木三郎衛門書状 須田喜源治宛 一
一月一三日 一通

23 よし田うち書状 寿田御本家宛 神無月二
六日 一通

家

家

由緒・系譜・相統

(人別帳庄屋源之丞分写) 宝永四年々

讓帳 立合久左衛門 親吉兵衛 安永八年八月
・吉兵衛言置安永五年四月

(安食村江戸出府ニ付名代借地人水帳印置ニ付
一札) 安食村 同村吉兵衛宛 天明八年

(須田喜久右衛門身上向御救御達仰付願書付)
(寛政六年)

- 一通 一四三
- 一通 一三五
- 一通 一六二

(下総州埴生郡安食村家屋敷ニ付御吟味付届書) 寛政一二年四月	一通	二六元
(須田長光墓碑銘写) 東武櫻溪榛谷詠謹撰 天保二年四月	一通	六元
(御垢附葵御紋羽織頂戴ニ付郡宰箱書) 郡宰吉成信身 天保五年二月	一通	一四七
湖新田沢前 兩家分 天保一五年	一冊	五五
(家父為則賀延祠詞) 如阜(十作) 嘉永六年	一通	二五〇
庄屋役被仰付候祝儀之留 須田重作 嘉永七年八月	一冊	四七
大御山守添役祝儀受納留 須田重作為憲 安政四年五月	一冊	四六
御本家様分米扣 富田屋平次郎 御新宅宛 慶応四年五月	一通	二五七
本家世話控 須田 明治五年一二月	一冊	一五二
(須田源八ノ須田幹之介江相掛居家物置宅地引渡一件書) 水戸裁判所言渡他 明治一一年一三年	一綴	一〇元
(須田翁紀徳之碑文写) 水戸陽軒手塚惠進撰 明治單關冬	一通	七
(下総国埴生郡安食村今井吉兵衛家族寛)	一通	九三
(須田家人別帳下書)	一通	六五
(須田幹三経歴大要) 茨城県行方郡香澄村役場	一通	九七
(日高屋利兵衛由緒書)	一通	二九
(須田幹三履歴并農業事蹟)	一綴	三三六
須田茂十郎在役中勤功	一綴	三三六

家禄奉還願書(表紙) 貫族士族須田幹之助	一通	一四六
(家屋鋪別家讓渡証文案紙)	一通	一四六
(かんや台旧屋敷ニ付覚書)	一綴	一五四
本家分世呂都乃覚	一冊	一五〇
(須田家系図)	一綴	一三〇
(庄屋須田十作家作ニ付拝借金願書下書)	一通	二五五
(喜久衛門由緒并庄屋役中諸覚)	一冊	二六元
(代用教員辞令) 新治郡役所 須田昇二宛 大正五年	一通	六元
冠婚葬祭		
目錄 須田政右衛門 宝曆元年一二月	一通	二四〇
悔之留 安政五年一〇月	一冊	三〇〇
歳暮祝義留 慶応二年一二月	一冊	四〇
先考須田為憲君喪祭諸色入用帳	一冊	三〇一
先考為憲君喪祭式小遣帳 明治五年正月	一冊	三〇四
付込之通 明治五年正月	一冊	三〇三
(香奠帳) 洗人常陸屋治兵衛他七人 明治五年正月	一冊	三〇三
諸弘判取帳 明治五年二月	一冊	三〇四
新盆見舞扣帳 須田氏 明治五年七月	一冊	三〇五
阿千賀香奠帳 洗人前嶋直介他七人 明治五年一二月	一冊	三〇三
葬式小遣帳 明治五年一二月	一冊	三〇七

祖母多田阿千賀君喪式諸色入用帳 明治五年二月 横長半 一冊 三〇六

諸品之通 虎ノ屋 明治五年二月 横長半 一冊 三〇六

御通帳 叶屋彦兵衛 須田宛 明治五年二月 横長半 一冊 三〇七

御通帳 亀屋祐助 須田宛 明治六年一月 横長半 一冊 三〇〇

須田於千賀五十ヶ日ノ牒 帳場世話人須田ち賀 明治六年二月 横長半 一冊 三〇八

阿千賀婦人新盆見舞帳 明治六年九月 横長半 一冊 三〇〇

先考須田為憲三回季 明治六年一月・同七年一月 横長半 一冊 三〇六

おわか祝儀之留 明治六年 横長半 一冊 八六

盆見舞受納控 須田為幹 明治七年七月 横長半 一冊 一五九

小遣帳 明治三年六月 横長半 一冊 三〇九

香奠帳 浅野藤助・前嶋春吉 明治三年六月 横長半 一冊 三〇〇

附込帳 須田帳場 明治三年六月 横長半 一冊 三〇三

方塘居士新盆見舞 大正一〇年 横長半 一冊 三〇五

附込通 申年一二月 横長半 一冊 三〇九

附込通 申年一二月 横長半 一冊 三〇三

目録 酒井仁兵衛 須田幹三 横長半 一冊 四七

十四午歳未祝儀之控 横長半 一冊 五〇

安産御見舞 桜井 横長半 一通 九七

(御祝儀包紙) 西市郎右衛門 一通 三六

家内喜多留(祝儀包紙) 一通 三六

目録 一綴 一四七

目録 一綴 一四三

家 家 經營

(帶祝金包紙) 一通 一六四

(方塘須田翁之墓碑銘写) 一通 三〇三

(故須田重作柩図) 一通 三〇五

附込通 須田内 横長半 一冊 三〇一

(葬式諸留帳) 横長半 一冊 三〇四

(金子他請取帳) 横長半 一冊 三〇〇

經 營

納 稅 (諸稅請取覚) 須田幹之助・重作宛 明治七年 一綴 八五

(堀之内村分成貢米石代内納分受取覚) 堀之内村戸長 牛堀村須田幹之介宛 (明治八年) 一月 一通 一四九

(須田幹之介分諸稅受取記) 明治九年 一綴 一五七

(諸稅受取記) 須田幹之介宛 明治九一五年 一綴 八〇

貢金民費納帳 牛堀村須田重作 明治一〇年七月 一冊 六一

貢金民費納帳 牛堀村久保木藤四郎 明治一〇年七月 一冊 六一

(十年田方分稅通知記) 第二天区三小区事務所 須田幹之介宛 明治一一年四月 一通 三六

(十年田方分稅通知記) 第二天区三小区 須田慶藏宛 明治一一年四月 一通 三六

(諸稅受取記) 須田幹之介宛 明治一一年五月 一綴 八五

(諸稅請取記) 須田幹之助・久保木藤四郎宛 明治一五・一六年 一綴 八五

(本年分區入費等半額上納通知証) 村披所 須田幹之助宛 八月	村披所	須田幹之介宛 一二月	須田重作・重藏分貢金覺	持 地	(宝永六丑年高覺) 午年三月	(御手前田畑高有覺) 須田政右衛門・立合組頭 寛延二年一二月	須田氏持高永留 源田源之丞 文化一五年三月 (天保七年初夏書替)	須田氏持高永留 須田氏源之丞 天保七年初夏	須田氏持高田島名寄帳 天保一三年八月	持高之内田畑山林之略図 須田氏 弘化四年初夏追々書入	須田氏持分株高永留 須田重作 明治四年一二	永山村分田地預リ証抛帳 預リ人久保木藤四郎 須田重作宛 明治五年一月	(隱居分田地山酒藏覺) 戊年	土地・山売買	(申田地永代渡シ手形) 助右衛門 惣兵衛宛 寛文五年一月	(田地売渡証文) 宝曆一〇年 慶応四年	(有合畑売渡手形) 牛堀村長左衛門 日高屋利兵衛宛 明和五年一二月
一通	二六三	一通	二六三	一通	二四三	一通	三三三	一冊	六	一冊	六	一冊	三	一冊	三	一通	一〇三

(在合屋敷売渡証文) 政右衛門 日高屋利兵衛宛 明和六年三月	日高屋利兵衛	(在合屋敷売渡証文) 牛堀村利兵衛 長兵衛宛 明和八年六月	(浦笠場并埜地売渡証文) 境浜村彦衛門 牛堀村源之丞宛 文化一三年九月	(売渡申山証文) 介重郎 須田源之丞宛 天保六年二月	(田地売渡証) 明治二一〇〇年	(田地売渡証文) 堀之内村伝三郎 須田重作宛 明治四年一二月	(増金申入質地書替ニ付一札) 坂本利兵衛 須田重作宛 明治七年四月	(地所抵当別紙差入申証書) 嶋崎村岡崎勘右衛門 牛堀村久保木藤四郎宛 明治八年六月	(質地地券相渡申ニ付証書) 堀之内村実川藤左衛門 牛堀村久保木藤四郎宛 明治九年一月	(区入売渡田地分金子請取記) 久保木藤八郎 須田源八宛 明治一〇年八月	(田地売渡証文書替ニ付古証文借用記) 栗林須田幹之介宛 明治一二年一月	(田地永代売渡約定書) 森内重兵衛 須田幹之介宛 明治一三年一月	(質地ニ付公認付証書預リ証) 片波見安兵衛 須田幹之介宛 明治一九年二月	(田地代金之内受取証) 片波見安兵衛 須田幹之介宛 明治一九年一月	(田地代金覺力) 明治		
一通	一〇四	一通	一〇五	一通	二六三	一通	二〇四	一通	二〇元	一通	一〇四	一通	一〇四	一通	一〇七	一通	一五〇

嶋崎村彦兵衛分御札下ノ畑買手形 彦兵衛
源之丞宛 五月 一通 三三三

(関口伸介田地金受取記) 須田喜一郎 須田
幹之介宛 八月 一通 三六七

(田地代金差引覚) 一通 一五九

本田新田扣地覚 一通 一三二

○

(富田村羽生恒三郎方江相懸リ候売渡置田地不
相渡刺作徳米滞不実被致難出出入一件諸証抛写
卷卷) 須田茂十郎・他 御郡御奉行所宛 弘化四
年 嘉永六年 一綴 二〇七

(堀之内村源右衛門江相掛リ田地入付米代金滞
高辻組替田地不相渡一件内濟議定証文) 須田
茂十郎代兼須田源之丞 御郡御奉行所宛 嘉永三年
五月 一通 一〇〇

(矢幡村正助江相掛リ候売渡山田地引渡方滞内
濟一札) 須田茂十郎・矢幡村正助 御郡御奉行所
宛 嘉永三年七月 一通 一〇九

土地取換

(田地為取換証) 富田村高崎三郎右衛門 牛堀村
久保木藤四郎代山口善助 明治九年四月 一通 一〇三

地券・登記

地券 茨城県 須田幹之介・橋木平兵衛宛 明
治一三年六月 二枚 四〇〇

地券状願 牛堀村今泉太左衛門 新治県権令宛
明治七年九月 半 一冊 二七五

差上申証文 牛堀村須田幹之介 新治県権令宛
明治七年九月 半 一冊 二七六

(地券状拜受并税印上納委任状) 須田幹之介
明治一二年六月 一綴 三〇六

家 経営

地所売買地券確認証願 明治一四年一 一九年 一綴 三六

地券登記済之証下付願 須田幹三・代人 土浦
治安裁判所麻生出張所宛 明治二二年一月 一通 七〇

返証文

(田地返リ証文) 須田茂十郎 堀之内村組頭宛
弘化二年一二月 一綴 一〇五

(田地返却ニ付相渡申証書) 須田幹之介宛 明治
一五年五月 一綴 一〇四

宅地帰証書 一通 一三九

官有地払下願

官有地御払下願 願人須田幹之助 県知事宛 明
治一一年一〇月 半 一冊 八〇

(官林御払下代半金即納届) 新治県士族須田幹之
助 新治県令宛 三月 一通 三六二

家屋売渡

永代売渡申居家証書 石橋徳太郎後見人石橋し
げ 須田幹之助宛 明治一三年三月 一冊 七六

建家売渡証 宮塚幸之助 須田幹之助宛 明治
一一年九月 半 一冊 七六

○

(玉造村成井藤九郎方江相懸リ候売渡置実家屋
敷不相渡且地代家賃相滞難出出入一件諸証抛写
卷卷) 須田茂十郎 御郡御奉行所宛 弘化四年
嘉永六年 一綴 二〇六

借地・家屋

相渡申棚請状 平兵衛 池田平重郎宛 元禄一三
年四月 一通 一三七

店請証文 須田源之丞宛 文政八年六月・天保五年
九月 三通 八六

借地証 須田重作・幹之助宛 明治一丁一九九年	一綴	三三	文久三歲發亥入付米取立帳 須田重作 文久三年	一冊	橫半半	一三
屋敷地借証文 久保木藤四郎宛 明治六年七・一〇月	一綴	三	御城米納帳 新宅			
家賃地代請取帳 須田幹之助 明治二二年七月	一冊	三三	元治元歲甲子入付米取立帳 須田重作 元治元年	一冊	橫半半	一三
(宅地借地明渡ニ付助合金記) 高崎伊兵衛 須田幹之助宛 明治一五年一〇月	一通	一〇三	明治元歲辰入作米取立帳 明治元年	一冊	橫半半	一五
借家証 川嶋吉兵衛 須田幹三宛 明治一〇年八月	一通	三	御城米組取帳 須田 明治元年二月	一冊	橫半半	一五
小 作			白米持參帳 明治二年一〇月	一冊	橫半半	一四
(入付米手形) 嶋崎村利衛門 源之丞宛 弘化二年正月	一通	一四六	庚午田畑入作取立帳 明治三年一〇月	一冊	橫半半	一六
(小作証書) 須田重作・幹之助宛 明治七丁一八年	一綴	一〇六	明治十二年小作米并麦錢帳 明治二二年八月	一冊	橫半半	一六
(堀之内村小作人三人分定免覺) 源之丞宛	一通	三〇	明治十三庚辰歲小作米畑錢取立 須田重作 明治一三年	一冊	橫半半	一六
入作米取立帳			明治十八年度田圃收益取調帳 明治一八年	一冊	橫半半	一七
湖海田毛付 弘化二年秋	一冊	六〇	明治十九年度田畑小作米麥調 明治一九年	一冊	橫半半	一七
嘉永三年戌田方入作米取立帳 須田氏 嘉永三年	一冊	一七	明治三十四年度田方小作取立簿 明治二四年	一冊	橫半半	一七
安政三年丙辰歲入作米取立帳 須田氏 安政三年	一冊	一六	明治三十一年度小作米取立帳 明治三一年	一冊	橫半半	一八
安政四丁巳歲入作米取立帳 須田重作 安政四年	一冊	一六	明治三十九年度田地小作米調 明治三九年	一冊	橫半半	一八
安政五年戊午入作米取立帳 須田重作 安政五年	一冊	一五	大正三年度小作米納入扣 大正二年	一冊	橫半半	一八
安政六年未入付米取立帳 安政六年	一冊	一七	大正十四年小作米借地料受入帳 大正一四年	一冊	橫半半	一八
入附米取立 万延元年一二月	一冊	三三	糶米貸			
文久二年壬戌入作米取立帳 須田重作 文久二年	一冊	一三	(米糶借用手形) 須田源之丞・茂重郎宛 天保六年	一綴		三三
			年一嘉永元年			
			糶米借用申一札 三郎兵衛 須田茂重郎宛 弘化四年六月	一通		三三

(借用申夫喰米証文) 須田千代吉・重作・幹之介
宛 慶応四年―明治二〇年 一綴 七七

(借用申米証書) 須田重作・幹之助宛 明治二一
二三年 一綴 七六

(米式俵受取記) 須田駒之丞 須田幹之助宛 明
治九年四月 一通 三五五

(米式俵拜借願口上書) 堀之内村石神権兵衛 須
田幹之介宛 明治九年四月 一通 三五五

(米六俵御渡願書付) 須田幹之介宛 明治二〇年
一月 一通 三五五

(米仕切) 伊藤庄助 須田重作宛 子年三月 一通 三五五

(米考俵仕切代金濟寛) 牛堀千代田稻吉 御新宅
宛 辰年六月 一通 三五五

(米半俵請取記) 矢幡村村山 須田宛 寅年二月 一通 三五五

(米代殘金受取寛) 西大須賀村榎井要助 須田重
作宛 巳年三月 一通 三七〇

(米請取記) いせや藤介 茂左衛門宛 一月 二通 三五五

(米式俵渡願記) 堀之内石神権兵衛 須田幹之介
宛 七月 一通 三五五

(米式俵請取記) 蓮山 須田方高崎惣右村衛門
宛 二月 一通 三六四

奉 公 人

(相渡申人請狀) 須田源之丞宛 天和三年極月 一通 八六

(相渡申質物請狀) 須田平拾郎宛 元禄七・八・
一二年二月 一綴 二〇〇

(相渡申質物請狀) 須田源之丞宛 元文三年一二
月 一通 九六

(指上申奉公人請狀) 延享三・安永八・天明八年
一綴 九六

(奉公人請狀) 天保一五年―明治二二年 一綴 九六

雇人証券 須田幹之助宛 明治八年一月 一通 二五二

婢女引請書 須田幹之介宛 明治一三年一月 一通 二五二

雇人之証 須田幹之助・幹三宛 明治一六―三五
年 一綴 九六

吉季奉公証 須田幹三宛 明治三四―四〇年 一綴 九六

(武家奉公人請狀) 享保一十九年三月 一通 九六

夜番雇受証 須田幹之介宛 明治一十九年 一通 九六

地主会 地 主 会 一通 九六

地主会及小作品評会收支計算書 大正四年度 一綴 二五〇

1 (大正四年度議案) 大正四年 (出品米審査結果通知) 香澄村地主会 一綴

2 大正四年度地主会費徵收簿 香澄村地主 半 一綴

3 大正四年度地主会收入金内訳簿 香澄村 半 一冊

4 大正四年度地主会支出金内訳簿 香澄村 半 一綴

5 (大正四年度決算他) 地主会 一綴

6 (大正四年度香澄村地主会費徵稅伝令書 領收証書) 香澄村地主会事務所 大正 一綴

7 (大正四年度香澄村地主会費徵稅伝令書 領收証書) 香澄村地主会事務所 大正 一綴

繪 図

須田氏持分谷新田略絵図

(家屋配置略図)

(田地略図)

堀之内次左衛門前田地絵図

(第十四号字西巷丁地図)

(小字卜杭山大図取調書)

家 計

金銀出入帳

金銀出入帳	嘉永六年正月	横長半	一冊	一八
金銀出入帳	須田重作 嘉永七年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入覚帳	安政二年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	須田重作 安政四年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	須田重作 安政六年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	須田 万延二年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	須田重作 文久三年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	文久四年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	慶応四年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	明治六年正月	横長半	一冊	一五
金銀出入帳	明治七年二月	横長半	一冊	一五
金銀出入控	須田重作 明治一二年一月	横長半	一冊	一五

(金錢出入控) 須田幹之助 明治一三年

大正式年度金錢出納帳 大正二年

○

堀之内村源五左衛門勘定仕訳 天保六年—嘉永二年

三願我身(諸留帳)

無尽・講

掛金判取帳 世話人 須田幹之介宛 明治九年旧一〇月

(細田鎌才無尽金請取記) 前嶋新六 須田幹之助宛 明治一四年五月

(弘益会請取証) 須田慶三宛 明治一四年

(溜講会通知記) 須田幹之助宛 明治一五年一月

(溜講掛金受取記) 須田幹之助宛 明治一六年旧三月

(無尽之内受取記) 須田幹之助宛 明治一八六月

窪谷太郎右衛門溜講書類

貸 借

(金子預り証文) 須田平十郎 橋本清左衛門宛 貞享三年一二月

板久村助右衛門金卯平分 貞享四年一二月

勘兵衛ニ払覚 元禄元年一二月

(安食村重郎兵衛御材木請負積違ニ付家屋敷売渡申金子証文) 安倉村大酒屋孫八宛 宝曆七年八月

(預り申金子証文) 今井吉兵衛宛 安永九年四月

横長半 一冊 一八

横長半 一冊 一八

横長半 一綴 一四二

横長半 一冊 一五

横長半 一冊 一五

横長半 一通 一六

(金子借用証文) 須田喜久衛門・源之丞・茂十郎宛 享和三年—弘化四年	一綴	七五
年賦切金証文 三島村安兵衛 喜久衛門宛 文政三年	一通	二七五
(長宏寺預り金二件書類) 須田茂十郎・長宏寺寛天 弘化三—四年	一綴	九五
(借金証文) 嘉永二—三年	一綴	二七〇
(預ケ金元利請取覚) 須田源之丞宛 嘉永三年六月	一通	二七〇
(三本松又兵衛戻し金借用覚) 須田茂十郎宛 嘉永五年—二月	一通	九五
(増金仕訳証文) 須田重作宛 明治三年—二月	一通	九五
(借用申金子証文) 須田重作・幹之助宛 明治三—九年	一綴	七三
(佐原村伊能七左衛門借用金一件書類) 須田重作他 明治四年三—四月	一綴	九七
(用立金并利金受取記) 西大賀村仁左衛門 重作宛 明治七年一〇月	一通	二五八
(利分内金受取記) 久保木 須田幹之介宛 明治九年九月	一通	二五九
(利足金受取記) 西大須賀村桜井仁右衛門 須田幹之介宛 明治一〇年一月	一通	二五七
(貸附金証書紛失ニ付口上書) 須田幹之介 才野三四郎宛 明治一〇年一月	一通	二六七
(借用申金子証文) 高崎多三郎 須田幹之介宛 明治一〇年七月	一通	二六五
借用申金子証書 須田幹之介宛 明治一〇—一四年	一綴	七三

(証書見当不申ニ付相渡申証書) 須田幹之介宛 明治一一年一月	一通	九六
(米金借用覚) 須田幹之介宛 明治一一年七月	一通	二六五
(貸金讓売ニ付相渡し申一札) 久保木太七 須田幹之介宛 明治一二年五月	一通	九六
(金子受取記) 茂木村高崎伝平 須田幹之介宛 明治一三—一五年	一綴	一〇〇
(元金之内請取記) 久保木太郎八 いせ屋藤助宛 明治一四年—二月	一通	二六五
(元金之内請取記) 久保木平八 須田宛 明治一四年—二月	一通	二六五
(書入牛堀村番外考番地建物図) 須田幹之介宛 明治一五年五月	一鋪	二三四
(差引残金之内受取記) 久保木太郎八代 須田幹之助宛 明治一六年三月	一通	二六七
借用申金子証 須田幹之助宛 明治一七—一九年	一綴	七三
借用申金子証 須田幹三宛 明治二〇—二六年	一綴	七〇
借用申金子手形 須田源之丞宛 辰年—二月	一通	一〇〇
(借金元利差引覚) 久保木栄太郎 須田幹之介宛 卯年六月	一通	一〇〇
(于觸代滞ニ付馬代金ニ而指引願ニ付口上書) 丹後 重作宛 酉年—一月	一綴	二〇〇
(古証文跡を返却ニ付口上書) 久保木 須田幹之介宛 一月	一通	二六七
(前借覚) 藤次郎・長十郎・政吉 六月	一通	一〇〇
(御郡方拝借金ニ付覚) (須田)	一通	一〇〇

歲中小遣帳 須田重作 文久三年正月 橫長半 一冊 一六四

歲中諸入目控帳 文久四年正月 橫長半 一冊 一六五

歲中失費 明治七年一月 橫長半 一冊 一六三

歲毎々改勘定帳 式十三番 紀元二五三四(明治七年) 橫長半 一冊 一六五

明治十二年家事經費帳 須田重作 明治二二年旧正月 橫長半 一冊 一六三

歲中諸經費控 須田幹之助 明治一三年二月 橫長半 一冊 一六〇

(明治二十九年年度金穀度計) 明治二九年 橫長半 一冊 一五二

(明治三十一年年度金穀度計) 明治三二年 橫長半 一冊 一五三

明治三十式年度金穀計度 明治三二年正月 橫長半 一冊 一六〇

(賄帳) 旧一二月 橫美半 一冊 一六〇

普 請

穀藏普請入用帳 須田氏 安政四年八月 橫長半 一冊 一五〇

土藏普請入費 須田幹之助 明治二二年二月 橫長半 一冊 一五六

居家建築買入物代價控 明治二二年 附職人賃錢渡控 橫長半 一冊 一五九

請 取

(覺天僧金子請取書付) 須田茂十郎宛 弘化二年極月 一通 一三〇

呉服物売上之覚 奈良屋新右衛門代 須田源之丞宛 嘉永三年六月 橫美半 一冊 一五七

賄諸品買入帳 台所庄藏 明治二年八月 橫半半 一冊 一五七

諸色通 小川屋藤兵衛 須田幹之助宛 明治八年八月 橫半半 一冊 一五九

(諸勘定受取記) 須田幹之助宛 明治一〇年 一綴 一五五

(受取覚帳) 村井彦三郎 須田幹之助宛 明治一二年二月 橫長半 一冊 一七〇

油之通 龜や 須田宛 明治一四年一月 橫半半 一綴 一四〇

(封物并書狀請取記) 草莖長四郎 津ノ宮村郵便局久保木太郎宛 明治一四年一月 一通 一三三

諸品通 虎屋 須田宛 明治一四年月旧正月 橫美半半 一冊 一四三

(出金分立替金受取記) 神向寺安兵衛氏 須田幹之介代理宛 明治一四年三月 一通 一五九

(諸請取覚) 須田幹之介・他宛 明治一四・一五年他 一綴 一六二

現金売上之覚 京都出店佐原奈良屋 須田重作宛 明治一五年一月 橫美半 一冊 一五五

買物附込帳 須田 明治一五年正月 橫半半 一冊 一四七

附込簿 須田 明治一五年一月 橫半半 一冊 一四七

魚之通 須田宛 明治一五年正月 橫半半 一冊 一五九

油之通 龜屋澄作 須田宛 明治一五年二月 橫半半 一冊 一五九

御通 高崎伊兵衛 須田御新宅宛 明治一六年一月 橫半半 一冊 一四七

おほひ帳 内堀さき 明治一六年正月 橫美半半 一冊 一三六

魚通 まつや源八 須田宛 明治一六年旧正月 橫半半 一冊 一四七

水油之通 高橋油店 須田宛 明治一六年二月 橫半半 一冊 一四一

酒之通 浅野藤介 須田幹之助宛 明治一六年二月 橫半半 一冊 一五七

(佐原奈良屋勘定請取書) 須田重作宛 明治一六年二月 橫長半 一冊 一五六

(諸勘定受取記) 須田幹之助宛 明治一六年 一綴 一五五

(諸勘定受取記) 須田幹之介宛 明治二六・一七年 一綴 八毫
 酒之通 森田屋 須田宛 明治一七年一月 横半半 一冊 四三
 (諸請取覚) 須田幹之助宛 明治一七年 一綴 八毫
 (鴻巣薬局請取記) 須田幹之助宛 明治一八年旧 一綴 二五〇
 二月
 (酒代請取記) 銚子屋三治郎 須田幹之助宛 明 一通 一四二
 治一八年旧二月
 (新聞代等領収証) 佐原立真舎 須田新宅・幹之 一綴 二五五
 助宛 明治一八年
 (請取記) 須田幹之介宛 明治一八・一九年他 一綴 二六三
 明治十九年度証拠 須田幹之助宛 明治一九年 三綴 八毫
 (諸請取留) 大正一〇年七月 一綴 三〇七
 (瓦師請取覚) 須田重作他宛 卯年九月 一通 三六
 (玄米老俵受取記) 五町内世話人代 須田源之助 一通 三六
 宛 巳年旧正月
 (荷物受取記) 源田がしさをらや嘉七 牛堀かし 一通 三六〇
 政兵衛宛 五年九月
 万之控 辰年四月 一綴 三三
 (請取覚) 牛堀大工文蔵宛 午年二月 一綴 二五五
 (板代記) 柳や 須田宛 未年旧七月 一通 二五
 (柴安瓦師請取覚) 須田重作宛 寅年二月 一通 二五
 (米式俵請取記) 一月 一通 二五
 (なら棒炭代金請取記) 戸崎村五郎右衛門 なる 一通 二六

(乗り下并手綱染等代金受取覚) 鳴や富次郎 御役元宛 三月 一通 二五〇
 (時計師直し記) 岡崎定次郎 三月 一通 二五五
 (両国村松町鉄砲師売上代請取覚) 渡辺藤左衛 門 宮本・樽見宛 四月 一通 六四
 (焼印代手付請取覚) あかねや 重兵衛宛 五月 一通 六六
 (杉ね切、つゝ身、けづり手間代覚) 上戸村利 兵衛 五月 一通 二八〇
 (提灯外代金覚) 安左衛門 源兵衛宛 七月 一通 三九
 (代金元利請取覚) 叶屋 宮内雅平宛 七月 一通 二六三
 (万十八草地代覚) 越後屋七兵衛 須田氏宛 七 一通 二五元
 月
 (櫓木老丁代請取記) 潮来石田源二郎 牛堀村政 兵衛宛 旧七月 一通 二四
 (料理代請取記) 高崎屋多三郎 八月 一通 二四〇
 (佐原岡田八十七請取覚) 須田宛 九月 一通 二五
 (左原奈良屋請取記) 須田重作宛 九月 一通 二五
 (請取覚) 須田宛 一〇月 一通 四
 (呉服代請取覚) 霜月 横半半 一冊 七
 (預ケ金之内受取覚) 須田幹之介宛 一二月 一通 二三七
 (西大須賀村江往返入用差引残受取記) 牛堀橋 屋前嶋半助 須田幹之助宛 一二月 一通 二五五
 (森田屋受取通) 須田宛 旧一二月 一冊 七
 (森田屋受取通) 須田宛 旧一二月 一冊 七
 (諸入用代請取覚) 伊久蔵 横半半 一綴 二〇

(大工払覚)

(買物覚)

(呉服物品々代覚) 奈良屋新右衛門 須田重作宛

(諸請取覚)

(請取覚) 須田源之丞

(請取記) 須田重作宛

(請取記) 須田新宅宛

(請取記)

(請取記) 須田宛

(請取記) 色川他宛

学芸・信仰

手 扣

水戸御用日記 二十七番 須田源之丞 天保一三年一〇月

水戸御用日記 二十八番 須田氏 天保一四年九月

大石崎一件御用留 三十番 須田源之丞 弘化二年一月

掌中小記 須田為則 弘化三年春

掌中記 三拾卷番 弘化三年霜月

掌中記 三拾貳番 須田為則 弘化四年一〇月

掌中記 三拾三番 須田為則 嘉永元年一二月

掌中記 三拾四番 須田為則 嘉永二年八月

一通 五〇六

一綴 二六〇

一綴 二六〇

一綴 二六三

一綴 二六三

一綴 二六〇

一綴 二六〇

一綴 二六三

一綴 二六三

一綴 二六七

横半半 一冊 五三

横半半 一冊 五〇

横半半 一冊 五七

横半半 一冊 五六

横半半 一冊 五〇

横半半 一冊 五元

横半半 一冊 五元

横半半 一冊 五七

水中日記 須田氏

蜂屋柿集 下 柿磨

(諸覚帳)

松の千世

○

都鳥日記 二十八番 須田氏 天保一四年四月

雅俗日記 二十九番 須田為則 天保一五年四月

百梅日記 三拾五番 須田氏 嘉永三年六月

百梅日記 三拾六番 須田氏 嘉永四年六月

百千鳥 須田氏

百梅記 須田氏

農業意見

農業督励私議 須田幹三 茨城県知事宛 大正三年五月

農会革新ノ議

詠 草

木の葉馬士 須田氏

天保の七のとしの記

おなし八酉としの記

戊戌の記

己亥の記

天保十二子年

辛丑の記

横半半 一冊 五〇

横半半 一冊 七〇

一綴 二二七

一綴 二二六

合一冊

一冊 八三

一冊 八三

一冊 八三

一冊 八四

一冊 八四

一冊 八四

初紅葉	天保一二年	半	一冊	八〇
壬寅の記		半	一冊	八〇
二荒・塩原の日記	柿磨子 天保一四年	美	一冊	八〇
嘉永五年子とし草稿	柿磨	半	一冊	八〇
春季七題	安政三年	半	一冊	八〇
窓形集	須田為則柿磨 安政五年五月	半	板一冊	二四七
霞浦八景句集	今泉太兵衛編 須田方塘題詞 明	半	板一冊	二四七
治二年二月				
辛亥草稿	須田氏柿磨	半	一冊	八三
庚戌の記		半	一冊	八三
辛亥の記		半	一冊	八三
無題十一首				
談世篇答稻葉直賢国手			一卷	八〇
語神行我引				
たけ垣集		半	一冊	八〇
牛堀の景	須田為則		一通	三三
(敲窓万玉声并附録)	岩井政五郎潔	12×16	一冊	二四七
(柿磨句碑拓本)			一枚	四〇
(詠草)		半	一冊	八〇
(詩歌)			一綴	二五三
(詠草写)			一通	二六三

1	(窪谷氏母公米字の賀 須田氏柿磨詠草) 辛亥(嘉永四年)	一通
2	(七十一年翁柿磨 六十七歳ち賀詠草) (嘉永六年)	一通
3	(七十一年翁須田氏為則詠草 親類和睦会) (嘉永六年)	一通
4	(七十二翁柿磨 六十八歳千賀詠草) 寅(安政元年) 甲	一通
5	(七十四翁柿磨詠草) (安政三年)	一通
6	(七十四翁柿磨詠草) (安政三年)	一通
7	(七十四翁須田柿磨詠草) (安政三年)	一通
8	(七十五翁柿磨詠草) (安政四年)	一通
9	(七十五翁柿磨詠草) (安政四年)	一通
10	(七十五翁柿磨詠草) (安政四年)	一通
11	(七十五翁柿磨詠草) (安政四年)	一通
12	(七十五翁柿磨詠草) (安政四年)	一通
13	(七十六翁柿磨老人詠草) (安政五年)	一通
14	(七十六翁柿磨老人詠草) (安政五年)	一通
15	(七十六翁柿磨老人詠草) (安政五年)	一通
16	(七十六翁柿磨詠草) (安政五年)	一通
17	(七十七翁須田柿磨詠草) (安政六年)	一通
18	(柿磨老人詠草)	一通
19	(柿磨老人詠草)	一通
20	(柿磨老人詠草)	一通

親戚姻家文書
二一通 四四

21 (柿磨老人詠草 牛堀の湊帰帆)

蔵 書

須田氏蔵書目録

〇

武田家武具要説 高坂弾正 天正五年 安政六年
九月須田内蔵八写

渡天説話 徳兵衛事宗心 宝永四年

宝永吾妻鑑 宝永六年 天保七年七月国安定次郎
義智写

折たく柴の記 下 源君美 正徳六年五月 須田
氏為則書・文化一四年春染筆須田氏

但来答問書 享保九年序 須田氏為則書・文化九
年如月菊雅園須田然麿

經濟録 卷第一 信陽太宰純操 享保一四年二月序

經濟録 卷第二 信陽太宰純撰

經濟録 卷第三 信陽太宰純撰

經濟録 卷第四 信陽太宰純撰

經濟録 卷第五 信陽太宰純撰

經濟録 卷第六 信陽太宰純撰

經濟録 卷第七 信陽太宰純撰

經濟録 卷第八 信陽太宰純撰

經濟録 卷第九 信陽太宰純撰

經濟録 卷第十 信陽太宰純撰

温智政要 参儀尾陽侯源宗春書撰 享保一六年序
須田為則書

一通

半 一冊 二〇一

半 一冊 二〇〇

15×22 一冊 二〇四

美 一冊 二四元

美 一冊 三九〇

美 一冊 二四四

横 一冊 二四三

美 一冊 二四四

美 一冊 二四四

美 一冊 二四四

横 一冊 二四七

横 一冊 二四九

横 一冊 二四〇

美 一冊 二四三

横 一冊 二四九

明君家訓 須田為則書

田園類説 谷猶右衛門本教輯 寛延年中 天保一〇年卯月須田源之丞為則

勸農固本録 天保一〇年四月須田源之丞

田園類説 谷猶右衛門本教輯 寛延年中 慶応元年水無月須田重作為憲写

但来先生南留別志 雲藩文学宇忠撰 宝曆一二年五月 文化五年二月須田氏菊雅

地方落穂集 上 (卷之一・二) 東武隠士泰路 宝曆一二年孟春

地方落穂集 中 (卷之三・四・五)

地方落穂集 下 (卷之六・七) 慶応三年八月竹苞写

地方落穂集 卷之一・二・三 東武隠士泰路 天保元年須田為則書

答問記 全 生駒周蔵 安永八年霜月 寛政一〇年初冬須田長光写

三國通覽 仙台林子平図并説 天明五年秋 弘化三年六月須田重作為綱写

年山記聞 卷考一六 寛政一二年三月序 文政六年葉月須田氏書

和漢年契 蘆屋山人(浅野高蔵) 寛政九年新編 天保二年一〇月校正再編

逸史 序釈言系表目録 中井積善 寛政一一年五月

逸史 自三至四(卷之三・四) 眞陰逸史氏同関子撰

水戸威公譜採余 小宮山昌考所輯録 寛政一二年一〇月 安政四年閏五月須田重作為憲写

美 一冊 二四九

美 一冊 二四七

美 一冊 三六八

美 一冊 二四五

美 一冊 二四六

美 一冊 二四七

美 一冊 二四八

美 一冊 三六三

美 一冊 三六六

美 一冊 三六一

美 一冊 二七〇

美 一冊 二四〇

美 一冊 二四三

美 一冊 二四三

美 一冊 二四〇

美 一冊 二四〇

梧窓漫筆 加賀多稼軒主人太田元貞才佐 文化一〇年六月 文化一三年八月須田氏為則寫	美	一冊	三九六
遊後楽園記 加賀太田元貞公幹撰 文化一〇年天保一五年正月寫	横	一冊	二四六
南千束原追鳥狩 須田氏九郎次 天保一二年三月	半	一冊	五五
常陸帶 天(上卷) 天保一五年 嘉永六年八月須田重作為憲寫	美	一冊	二四四
常陸帶 地(下卷) 嘉永六年八月須田重作	美	一冊	二四四
水府中納言様御直筆之寫 嘉永二年八月	美	一冊	二四九
長齊文略統 卷之一 東奥安積信 嘉永六年序	半	一冊	二四一
新策 一(卷之一) 安芸頼斐子成 安政二年後学杉本貞健刻新策序	美	一冊	二四六
新策 自一至三(卷之二・三)	美	一冊	二四七
亞墨利加書類 (安政四年丁巳十月中亞墨利加使節申上之趣并指出書附和解對談書) 安政四年 須田為憲寫	美	一冊	二四四
長崎夜話草 西川如見 己亥 天保六年一〇月須田氏寫	美	一冊	三九六
地方根元記 老 高倉胤明 庚戌季春	美	一冊	二四九
地方根元記 弍	美	一冊	二四〇
地方根元記 三	美	一冊	二四二
地方根元記 四	美	一冊	二四三
水府地理温古録草稿 高倉胤明 須田長光寫	美	一冊	三三六
地理細論集 地理根元記附録 寛政一一年初秋須田光烈寫(須田源之丞長光寫)	美	一冊	二四三
白川記	美	一冊	三三四

地利要法 卷上・中・下 岡沢良辰撰 天保一〇年如月須田九郎次寫	美	一冊	三六六
地利要法 卷上・中・下 慶応三年須田為憲寫	美	一冊	三六五
大平秘覽 乾坤合冊 須田氏寫	美	一冊	三六七
鬼神論 新井白石 文化一二年五月須田氏為則書	美	一冊	三六九
秘覽 須田氏為則書	美	一冊	三六二
大岡政要記 文化一三年二月須田氏	美	一冊	三六三
御定書(御定百ヶ条) 文化一三年卯月須田柿麿書	美	一冊	三六四
諸家大秘録前集 卷之一・二 享和三年陸月須田氏源喜次寫	美	一冊	三六五
當時珍說要秘録 卷上・中・下	美	一冊	三六七
明訓一班抄 源朝臣齊昭	美	一冊	二四〇
明訓一班抄 水戸源君齊昭卿 須田重作藏書	美	一冊	二四九
新論 水戸会沢 須田幹(写カ)	美	一冊	二四三
菱湖先生書百人一首 かのえねの十一月花房姓の子書	美	一冊	二四四
水府春秋記	半	一冊	二四七
太神宮諸雜事記 天保一三年須田駒太郎寫	美	一冊	二四八
国朝旧章録 卷之一一五 文化八年中秋須田柿麿為綱書	美	一冊	二四二
国朝旧章録 卷之七	美	一冊	二四三
国朝旧章録 坤之卷(卷之五之下・九・十) 太宰弥右衛門純選 文化一一年三月須田氏為則書	美	一冊	三六三
農政座右 乾	美	一冊	二四三
農政座右 坤	横	一冊	二四四

武家秘覽泰平年表 東武忍屋隱士輯 嘉永五年六月 須田重作為憲写	美	一冊	二四六	東照宮御遺訓付録 須田源之丞為則写	美	一冊	二四六
政談 元(卷之一・二) 物茂卿撰 菊月六月求之 須田・須田菊雅	美	一冊	二四三	東照宮百々条 享和二年初冬須田氏菊雅写			
政談 享(卷之三・四) 物茂卿 (享和の頃)亥 菊月廿日 須田氏(文化七年如月須田菊雅誦合書加)	美	一冊	二四三	泰平年表 文化一一年五月須田柿磨綱書			
政談 利(卷之五・六) 物茂卿 文化元年仲秋須 田菊雅光列写・同七年如月同人改	美	一冊	二四四	御代記 文化一一年五月須田柿磨綱書 水戸宰相様御直筆之写			
政談 貞(卷之七・八) 物茂卿 文化元年仲秋 須田菊雅書	美	一冊	二四三	告志篇 天保四年初秋須田氏源之丞為則写 (地方書写)			
香取古文書 (須田内蔵八写)為憲	美	一冊	二四六	武家諸法度・水戸御条目	美	一冊	二四三
香取古文書 大宮司 (須田内蔵八写)須田為憲 写	美	一冊	二四七	柳宮秘鑑 九卷之内 文化一一年秋須田柿丸 赤穂義士始末 天保一〇年六月茂十郎為章識			
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	祝詞 高柿村御百姓田畑取入見詰 荒井氏草稿			
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	古語拾遺			
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	東照宮御遺訓慶徳明鑑 須田平重郎為親	半	一冊	二四六
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	國語考大論 十八 荷田の訓之 須田為則書	美	一冊	二四七
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	初学聞書小検見始末集			
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	小検見小鏡 乾卷 須田為則選 嘉永二年九月			
香取古文書 (須田内蔵八写)須田為憲	美	一冊	二四六	須田重作為綱写 坤卷 須田為則著述 嘉永二年九月	美	一冊	二四六
香取古文書 乾 弘化四年初夏須田重作為綱写	美	一冊	二四四	須田重作為綱写			
西山遺事 寛政一〇年菊月長光写・天保五年合冊	美	一冊	二四三	小検見小鏡 須田重作為綱写			
近藤本多兩傑士より立原翠軒老人江文通并土州 漂流満次郎仙藩金忠輔之伝 塩谷誠稿他 安政 五年四月須田為孝写	美	一冊	二四五	須田重作為綱写			
外国人物 上野増田梅林長儀画・下毛葆光堂意明書 安政六年水無月須田内蔵八源為孝写	美	一冊	二四五	農政纂要并並知行算本術略術細説 大場景明選			
異船渡来見聞 須田(内蔵八)為孝写	美	一冊	二四六	寛政九年仲冬須田長光再写			
水戸御家代記 須田氏為則書	美	一冊	二四七	土地方備忘録 安政四年五月須田重作為憲	半	一冊	二四六
義公行実・他 享和二霜月須田氏喜源次	美	一冊	二四七	(但馬出石藩仙石家御家騒動記)			
武家諸法度 須田氏	美	一冊	二四六	隣疋臆議 屠竜居士稿	美	一冊	二四七
御定百々条 須田氏	美	一冊	二四六	勸農或問 藤田幽谷 天保五年水無月須田氏写			
				社倉私議 中井竹山 天保五年六月須田源之丞為 則書	美	一冊	二四五
				竜宮夢物語 天保一四年二月須田九郎次	半	一冊	二四七
				水戸中納言齊昭卿御作要名 弘化四年二月写カ	美	一冊	二四七
				草々留	美	一冊	二四九

弘簡録 総目録 邵経邦撰 嘉靖三十六年正月序 文
政一三年二月須田璋写

○算法

算用集 須田喜三郎 天保一一年カ

算割初之時特帳 須田氏 明治五年六月

算法雜記 須田幹之助 明治五年六月

(算法覚) 須田氏 明治五年六月

算法高割帳 須田幹助為矩 明治六年二月

雑算尺孝気 門人須田為憲 明治六年曆改元五月

天元術 須田為憲 明治六年八月

(算法帳) 須田為矩 (明治六年カ)

(算法帳) 須田氏 (明治六年カ)

(算法帳) (明治六年カ)

(算法帳) 須田為憲 明治

目安割木

○

算学修行帳 上野国勢多郡深山村須田浅造田親

明治九年

○ 奏議長公閣下封事 合冊 己巳年

(臣昭武謹上書) 半 一冊 五五

木村長門守書状写 猪佐馬助宛 四月 一通 二四七

景勝書状写 佐竹次郎宛 五月 一通 二五七

政宗書状写 大塚信濃守宛 霜月 一通 二五〇

新嶋料古書写

女大学

(那須国造碑拓本)

浅井氏系図

新撰知恵海

(大学校評并並當時流行いろは短歌他)

(伊勢案内京大坂絵図道法付)

京都御固御場所

(御役人附)

(消息往来) 須田幹写

(書物写)

金剛壽命陀羅尼經 南天竺三藏金剛智訳

○

(書籍拜借覚) 須田源之丞 卯年一二月

信 仰

大々神楽連名帳 鹿島大宮司内 文久四年正月

速集国書布国連簿 (龍神社文庫造宮社中連名簿

序) 水府下町正神主源重次誌 明治二年

永代施餓鬼免許証 長国寺法主・檀徒惣代 須田

幹三宛 明治三十三年一月

(御初穂請取覚) 滝平主殿 子年二月

鹿嶋御社奉納草稿 須田柿磨 丙辰年春

風昌治書状 高安左太郎宛

(御札)

一通 八五

一通 八五

一枚 八六

一通 三五

一綴 四五

一冊 二五九

一枚 一五五

一枚 一六四

一枚 一六九

一帖 三三九

一綴 二四六

一通 二四六

一通 二五五

一冊 二四三

一冊 二四四

一通 三〇元

一通 九六

一通 九六

合一通 四九

一綴 九五

(御札)

その他

浪垂下野小四郎申本知行会写	永昌二年	一通	一五三
かんげ虫腹薬	元禄七年六月	一通	六五
痢病熱病之妙薬法書	寛保四年四月	一通	六六
(浅間山噴火之記)	須田源之丞 天明三年七月	一通	六八
草々之留	文久元年一月	二冊	六三
(跡郎小藤太御悔関係書類)	慶応四年閏四月	一冊	七九
(帶等預リニ付差入申証券)	須田豊七 須田幹之介宛 明治九年一月	一通	三六六
(狂心発し立木伐ニ付差入申証書)	永山村齊藤久兵衛 須田幹之助宛 明治九年一月	一通	一五五
(裁判所引合日当請取証)	津ノ宮村高木与左衛門 須田幹之介宛 明治二年七月	一通	三七〇
(堀之内村実川藤左衛門ニ掛ル事件ニ付代人御願)	久保木藤四郎 明治二二年	一綴	一五五
川崎学社員之証	須田幹之介宛 明治一四年一月	一通	一〇五
(地番状受取委任状)	須田幹之介 明治六年三月	一通	一〇四
(棧瓦送り状之記)	明治一八年一月	一通	一五二
(蚜虫及害虫駆除予防法)	大生原村箕輪重三郎 明治四年一月	一通	六七
(辰戌亥年運世占)	平野石見 辰年六月	一通	六九
(須田為則病中心勞覚)	癸丑年二月	一通	三三九

(十月十三日人員改之節立会人名前帳渡可申覚) 辰年一〇月

送り状 久保木 須田重作宛 四月

(文化十四年正月漂着清国船絵図) 須田重作

(牛堀土木協会記念包紙)

(菜種拵様書付)

公儀御精進日并殺生除日

(為章撰武具所持ニ付心得) 須田源之丞為則

(くわい中まゆはけ図)

土浦城主大坂御城代之節右表江勤為之節間檜吉田□左衛門罷出候節被贈候書類

(旅入用覚)

(清水村平兵衛との下し材木之覚)

(小字丸峰徳三郎払跡略図)

水戸一粒万金丹

○

(帳簿断簡)

(帳簿断簡)

(雑並断簡)

(雑并断簡)

(雑)

(雑)

(雑)

一通	三五六
一通	三五六
一通	三三〇
一枚	三三〇
一通	三〇六
一綴	三六九
一通	一四五
一通	一四四
一通	一三三
一通	一三三
一綴	二六六
一通	二七〇
一通	二七〇
一袋	二六三
一袋	二六四
六綴	三六五
五綴	三六九
一枚	二六九
一括	三三三

横長半

〔参 考〕 (電子複写史料)

- | | |
|---|--------|
| (須田為憲画像) 前島恭光画 | 一枚 |
| (題詞) 須田為幹 明治九年五月 | 一枚 七三 |
| 天保年初の農家経済 須田幹三 大正七年五月
〔帝国農会報八卷五号〕 | 一綴 三九七 |
| 藩時の穀倉 須田幹三 大正七年八月〔帝国農会
報八卷八号〕 | 一綴 三九六 |
| 小宮山楓軒氏農村教育の一斑 須田幹三 大正七
年二月〔帝国農会報八卷二二号〕 | 一綴 三九八 |

須田家文書解題

文書の伝来と特色

文書の伝来

本文書は昭和二七年に茨城県行方郡香澄村（現牛堀町一六番地）故須田誠太郎氏から当館に譲渡されたものを主とし、昭和四六年一〇月整理担当者の現地調査に際して現当主須田禎一氏から当館へ寄贈されたものを加えたものである。昭和二七年度分の文書記号は27Jで本目録では整理番号は一―二七三〇、昭和四六年度分の文書番号は46Aで整理番号は三〇〇一―三〇三二である。

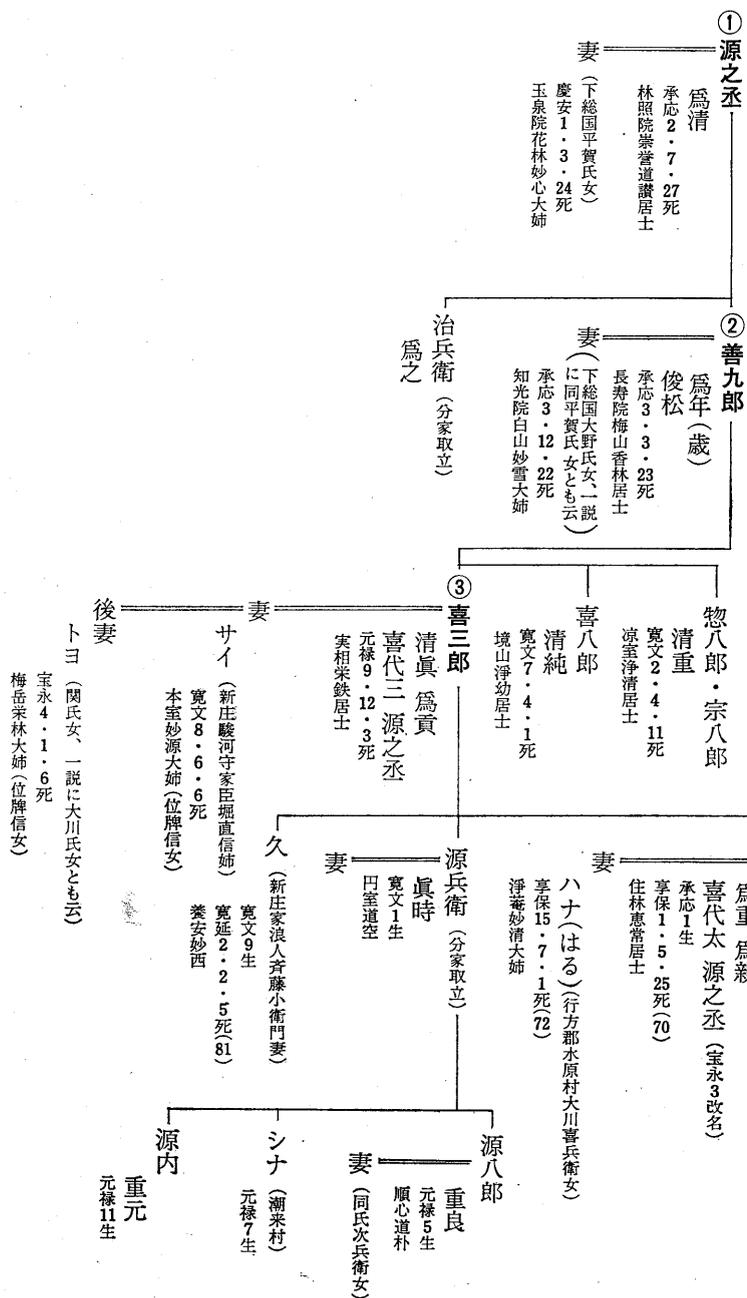
文書の特徴

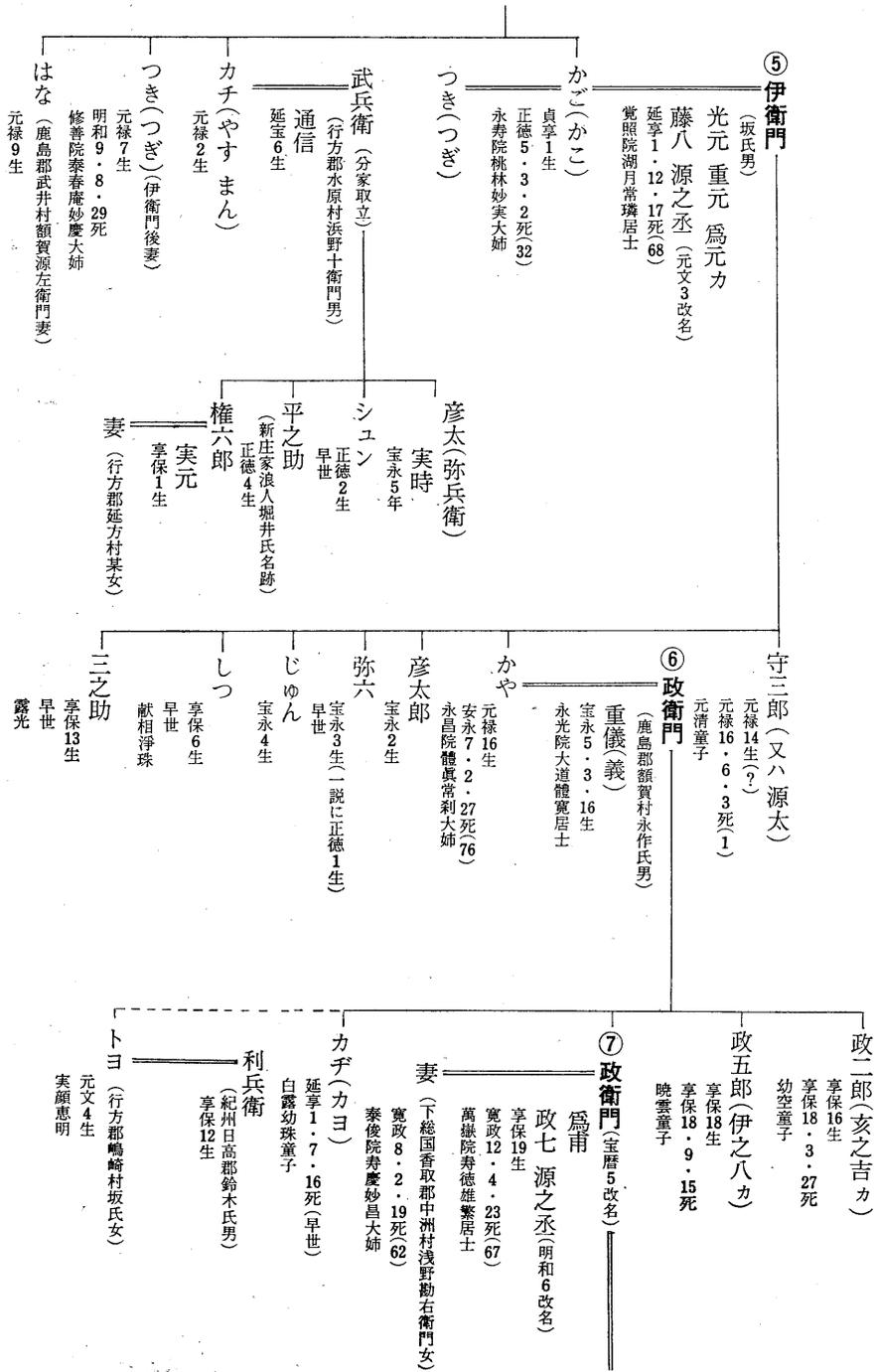
須田家は牛堀・永山両村の庄屋を勤め、幕末期には周辺村落の兼帯庄屋、及び大御山守を勤めたので、その関係の文書が多い。特に大御山守の史料としては纏っている。なお須田家では天保一五年に分家（新宅と称している）が取立てられ、本目録に収録した史料はこの分家のものである。なお須田本家は須田四郎氏が横浜市旭区万騎ガ原一六番地に現住しておられる。

須田家の系譜

系譜としては、(一)須田四郎氏所蔵の半紙判四丁の系譜がある(以下須田本家本と略記する)。それは寅年(慶応二年カ)六月須田内蔵八によるもので「右系譜、明和間御郡奉行弓削左内様江家乗類御取寄御取調成被下置候節、御後家焼却之節、焼亡仕候、残録零記ヲ拾採致シ、且口碑ニ伝フルヲ併セ概記仕奉指上候、何事モ愚父引統テノ不快、万緒宜敷御弥縫成下置度奉願上候」と末尾に記るされている。(二)「須田家系図」(須田家文書整理番号一六二〇)(以下須田家文書を省略し「整理番号」のみを記す)は須田為則の手になるものである。(三)「代々系譜」(茨城県教育財団蔵須田家文書70、当館フィルム収集、茨城県行方郡牛堀町須田禎一氏旧蔵水戸市茨城県教育財団蔵、須田家文書66)は主として須田重作以後の新宅について記している。この三本と須田家墓碑、須田本家位牌、須田家文書による須田家系図は次の通りである。

須田家系図





⑧ 喜久衛門 (寛政6改名)

(下総国殖生郡安食村今井吉兵衛三男)

眞円 長光

大吉 清兵衛 源之丞 (文化11改名)

宝曆8生

安永8養子

文政12・8・20死(73)

妻 (行方郡潮来村関戸利右衛門女)

宝曆9生

⑨ 喜源治

光照 爲綱 爲則 喜代太

喜源治 源之丞 (文政2改名)

柿麿 雅園 菊雅

柿丸 然麿

天明3・4・21生

安政5・10・11死

妻 千賀(千賀子)

(下総国香取郡須賀山村)

多田莊兵衛・庄兵衛女

明治5・1・2死(83)

雅楽次郎

天明6・11・16生

早世

眞如円融

鉄藏

寛政2・1・22生

ウラ

寛政6・6・27生

〔本家〕

⑩ 茂十郎・茂重郎

爲章 秋江

駒吉 源之丞

文化7・10・20生

明治5・1・14死(63)

妻ちう (新治郡共倉村)

浜野茂右衛門二女

明治15・6・19死(72)

佐太郎 (鹿島宮中高安佐七方二遣)

〔新宅〕

⑪ 重作・十作

爲憲 爲綱

十松

梅軒 竹苞

文化11・11・13生

天保15・5・5分家

明治5・1・26死(45)

妻 賀久 (下総国香取郡津之宮村)

茂勢

天保3・7生

嘉永1・11嫁

明治43・5・22死(79)

美勢 (新治郡高浜村篠目八郎兵衛妻)

文化15生カ

〔本家〕

多太 (下総国香取郡西大須賀村椋井)

嘉永3・2・1生

元治1・11嫁

廣 嘉永7・4生

嘉永7・5・13死

和賀 (河内郡高田村根本章鋪妻)

安政2・7・1生

萬寿 (新治郡土浦町色川徳右衛門妻)

安政5・8・6生

〔新宅〕

⑫ 幹三 (明治20改名)

爲幹 爲矩 爲憲 爲貞

幹之助 幹二郎

方塘 土固 晴時 霞涯

万延1・9・5生

大正10・6・27死(62)

妻 千代 (新治郡高浜町篠目八郎兵衛妹)

元治1・5・15生

明治10・2嫁

明治43・11・17死(47)

以喜 (水戸市下市五丁目黒沢平兵衛妻)

慶三 (千葉県下総国香取郡佐原町)

酒井仁兵衛才嗣

慶応3・8・4生

〔本家〕

⑬ 誠太郎

明治14・8・26生
昭和44・10・19死(88)

妻 節・節子 (千葉県香取郡吉田村
南山崎林忠三郎次女)

明治18・2・1生
明治40・2・20嫁
昭和28・3・25死(68)

甫(もと) (筑波郡鹿嶋村西橋戸)

明治18・1・5生
明治39嫁

〔新宅〕

潔(きよ) (千葉県香取郡新嶋村大字
扇嶋高安宗悦宗春妻)

明治21・8・8生
明治42・1嫁

俊(しゅん)

明治23・5・15生
明治23死

昇一 (行方郡大和村白浜行方氏養子)

明治24・11・23生

節三 (稻敷郡高田村根本章鋪養子)

明治26・9・5生

内蔵八

爲孝 駒太郎
天保1・12晦生

妻 てる (新治郡瓦谷村小河原
佐左衛門女)

久美・具美

(下総国香取郡佐原村
伊能四郎兵衛妻)

天保5生

常右衛門

(筑波根瓦谷村小河原氏)

盛二郎

天保8生
(足尾山麓小屋村足立氏)

作右衛門

喜代松
天保9生

千代吉 (東京浅草須賀街須田氏)

信助・新助 (須田氏)
嘉永6生
東京大学教授

つく (新治郡玉里村鈴木源之丞妻)
安政1生

いせ (東茨城郡大貫町和田養信妻)
万延1生

駒之丞

古真
文久3生

妻 (下総国香取郡宮本村飯田胤隆女)

後妻

すゞ (水戸市大町相羽氏女)

八百・やを (水戸市上金町堀七平妻)
慶応1生

みつ (行方郡麻生町白浜行方正鏡妻)

淳一郎 (母飯田氏女)
明治19・5・22死

四郎 (新治郡園部村大槻氏男)

八重子 (母相羽氏女)

凡例

- 1 人名上のアラビヤ数字は歴代当主の代数を示す。
 - 2 |は血縁、||は養子、==は当主妻を示す。
 - 3 各人名歿年下の数字は享年を示す。
- 生年によるものと合致しない場合がある。

須田家は清和天皇から出て経基三代鎮守將軍頼信三男乙葉頼季の嫡子井上太郎満実信濃源氏の出と伝えているが、近世初頭については、須田本家本は「上杉家ニ属トモ伝、佐竹氏ニ属ルトモ云、初永山ニ居住今故跡アリ、俗上家ト唱、門跡ヲ字ニ元門ト唱、山柵ノ下ヲ垣下ト唱、元龜天正ノ頃牛堀懇開ノ後移住ト口碑ニ伝候」とある。これを記念して牛堀町永山の勘弥台に「按スルニ今ヲ去ル三百年前牛堀ニ移住ス 須田古宅之址 昭和十九年晩春 誠太郎建」との記念碑がある。

本文書で確認されるのは寛永期からであるので須田源之丞為清を初代とした。文書に關連する当主以外の者はその前後に記す事にし、その略歴は次の通りである。なお当主名などは文書に比較的多く見るものを採用した。

初代源之丞は寛永一八年八月牛堀村検地には案内者を勤め、寛永六一九年には牛堀・永山村庄屋を勤めている事実がある。

二代善九郎は慶安三年に牛堀・永山村庄屋を勤めた事が知られている。

三代喜三郎は慶安三、承応元、万治三、寛文二・一二、延宝元・六・七、天和二―貞享三年に牛堀・永山村の庄屋である事実がある。

四代平十郎は貞享四、元禄元・三・五・七・八・一二、宝永二・三・五、正徳二・三・四年に牛堀・永山村の庄屋である。恐らくこの間連続しているのではないか。須田本家本には「御西山様 上戸長国寺 御成之節 御目見 御盃頂戴」とある。宝永元年須田家の牛堀・永山村持高は一八石一斗五升五合である。

五代伊衛門は正徳五、享保三・八―一三・一五―二〇、元文二年に牛堀・永山村庄屋である。恐らく連年勤続であろう。須田本家本には「源肅公様 御在国之節 御目見 御能拜見被仰付」とある。

六代政衛門は寛保元―二、延享元カ・四、宝暦元・三年に牛堀・永山村の庄屋である。彼も連年勤続ではあるまいか。

七代政衛門は宝暦五・六・一一、安永元・六年に牛堀・永山村庄屋である事実がある。須田本家本には「明和年家運極窮之節、其上幼主ニテ家乘旧録板方モ不行届、官家江御引取御取調、系譜一同水戸江表御取寄ニ相成、御役家弓削左内様御屋敷御火災ニ而焼却ニ相成候、且御立山ニ而大木松樹百本被下、弘代ヲ以相統主法御立被下置候」とある。

八代喜久衛門は安永八、天明五、寛政一二、文化一二年に牛堀・永山村の庄屋である。恐らく彼も庄屋を連続して勤めているのであろう。

生家今井氏は酒屋である。須田本家には表面の上部に今井氏の家紋があり、その下に「乘蓮院誓庵淨願居士、放光開蓮耀西大姉」、裏面に「寛政九丁巳年十一月廿七日 今井吉兵衛源顯義七十七才卒 文化二乙丑年八月四日 今井氏女貴知年七十五才卒」と記るされている位牌がある。今井氏の相当の援助があったと考えられる。その間の事情は「須田長光墓」の裏側に次の通り記るされている。

須田長光、其先出自鎮守府將軍源頼信曾孫須田九郎為実、至源之丞者始末、本州初住永山、而世為里正、及牛堀墾闢也、遂徙居焉、益就其便也、事皆在於今 国主封立之前矣、今加美屋台云者即其故跡也、繼至明和間、家運漸傾、故業將墜、父者憫其如此、皆謂日、須田氏累世之功不少、於我坐視之乎、遂相共疏之哀訴 国主乃賜以松樹百本、亦曰累世之功不可棄也、因命悉令送上其藏書古記録旧録、一莫所遺云、及安永中、以家無男、養下総安食今井氏之子為嗣、長光是也、今井氏富矣、及分財資之而長光亦務營産、旧業殆復矣、且居里正之職者四十余年、文化年間 国主褒其功勞、特許令称氏族、人以為榮、文政己丑八月廿六日以病卒年七十三、嗚呼墜緒繼榮施後世者、益雖出於其家積年余慶、亦其人不可不務事、安能得其若也哉、長光之功於是乎大矣 天保二年辛卯夏四月 東武 檀溪榛谷詠謹撰

また須田本家本には「源文公様御在国ノ節御座敷拜見御盃頂戴仕矣事、御武公様御在国ノ節右同断」とある。

なお文化一〇年水戸藩士高倉胤明甚次郎編纂「田制考証」（小野武夫編「近世地方経済史料」八巻所収）には「行方郡牛堀村庄屋須田喜久衛門所藏（喜久衛門は則此源之充が末裔にして、御繩以前より庄屋役相続すと云へり）」（二二四頁）とあり、同書には寛永六一九・一一年の牛堀・永山村の史料が収録されている。（二四一五、二二九一二、二二八一九、二二二頁）ので参照されたい。

天明五年須田家の牛堀・永山両村での持高は二五石余と推測される。

九代喜源治は文政二・五―七・九―一二、天保二・四・六年に牛堀・永山村の庄屋である事実がある。恐らく連続して庄屋であろう。そして天保五・六・一〇・一二―弘化元年には須田源之丞（喜源治）は大御山守である事が知られている。須田源之丞は天保一五年には御勝手方御用達を申付けられ、烈公巡村の際には御憩所になり、御垢付御召下御紋御羽織を拝領した。嘉永六年四月郷土列になっている。

喜源治は俳人で、その句集「窓形集」にある安政五年五月牛渠漁人須田為章の跡文によると、「自少好俳諧、号柿麻呂、文化之間結社於金令舎道彦随成美輩、晩年依其北岸水竹之処構、亭对富峯」とある。

十代茂十郎は天保九年から安政元年四月迄牛堀・永山村庄屋を勤めた。(天保七・八年についてはなお後考にまきたい。) 弘化三、嘉永元年、安政元年には嶋崎村庄屋を兼帯した。また安政四年には大御山守である。

天保一四年四月には一代大山守列を申付けられ、同一五年正月には同年の土地方御改正に際しての功績により、代々苗字帯刀麻上下着用御免になり、一代大山守格で御帰国御参府の際には御迎御見送の格を申付けられた。

つぎに天保一五年水戸中納言隠居慎の節に、郡奉行吉成貞信又衛門は出府して老中直訴したが、喜源治も出府して諸事取方を扱った。吉成と密接な関係があった事が知られる。

天保一五年に父と弟重作が別家した。須田家はここに本家は諸生派、新宅は天狗派になる。

茂十郎は慶応元年御目見格を仰付けられたが、同四年關所になる。俸妻子などは弟重作方に御預けになり、明治六年帰籍した。

天保一三年須田家持高は牛堀・永山村で高一三一石五斗三升八合である。

喜源治の子である内蔵八は慶応元年から三年迄牛堀・永山村の庄屋を勤めた。

十一代重作は天保一五年に牛堀・永山村の内での高四三石余と貸金七〇両、山林三カ所を持ち、仮宅を普請して、両親と共に別家した。

重作が須田家の代々麻上下着用御免を継ぐ事を、父喜源治が願出した結果、嘉永二年六月に許可された。重作は牛堀・永山村庄屋を嘉永七年八月から文久二年迄勤め、安政四年五月大御山守添役、文久二年一月大御山守本役になった。大御山守の取扱村は富田村、牛堀村永山共、堀之内村茂木共、矢幡村である。同四年四月富田村庄屋を兼帯した。明治元年から四年迄牛堀・永山村の村長を勤めた。明治五年正月元水戸県庁から退休申達があった。これは重作が同年死亡したからである。

なお明治三年には御目見格であり、須田家新宅持高は牛堀・永山村で高五五石七升である。重作の明治期の行動については、明治六年十月鹿島神宮禰宜兼権中講義松岡正久撰并書題額、須田幹之助立の「竹苞須田君墓」に、「明治元年大政維新、藩為知事、擢君為郷士、給俸粟時、令管内郷邑、調練西洋兵術、則使君檢之、因賜刀一口、二年邑災、明年又大水並癘、私儲賑貸邑及隣里、又賞以刀一口、受賞前後三次、四年藩廢為新治県、管邑々改置戸長、君復為数邑戸長」とある。

十二代幹三は明治五年正月に牛堀村長兼永山村長になり、同年三月水戸県廃止、新治県所管により解職、同月新治県より牛堀戸長兼永山村戸長に任ぜられた。同六年一〇月これを辞職、同一二年九月行方郡役所から行方郡勸業係に任ぜられ、同一三年一〇月これを辞職、同一七年六月牛堀村外三カ村聯合村会議員当選、同一二年六月再選、同年九月牛堀村島須村上戸村永山村戸長に任ぜられ準判任官八等になった。同二二年四月行方郡徴兵参事員当選、(同二六年四月満期退職)、同年同月香澄村会議員当選(其後引続当选大正二年四月辞任)、同年六月町村制実施牛堀村外三カ村戸長退職、同二五年三月改進黨に属し茨城県会議員当選(議員席順三六番、其後引続当选、同二九年に退職)年六月行方郡所得税調査委員当選(其後引続同三年六月辞職)、同二七年三月茨城県会常置委員当選、同年九月茨城県小学校教科用図書審査委員を命ぜられる(同年一月審査終了に付退職)、同二八年四月県会解散に付県会議員常置委員解職、同年四月香澄村会議員再選、同年五月茨城県会議員再選(議員席順二四番)、同年六月茨城県会副議長当選、同二九年六月県制実施に付茨城県会議員県会副議長解職、同三〇年六月行方郡所得税調査委員再選、同三二年六月所得税法改正に付調査委員解職、同年六月麻生稅務署管内所得税調査委員当選、同三三年七月香澄村所得税調査委員辭職、同月香澄村農会長当選、同三四年四月香澄村会議員三回当選、同三五年七月香澄村農会長再選、同年一〇月香澄村永山耕地整理委員長当選、同年七月香澄村農会長三回当選、同四〇年四月香澄村会議員四回当選、同年四一年行方郡農會副會長当選(其後引続当选大正六年五月退職)、同四一年六月行方郡教育會議員当選(其後引続当选、死亡の時在職)、同九月行方郡家禽協會副會長当選(其後引続当选、死亡の時在職)、同年四二年三月香澄村是調査委員当選、同七月香澄村農會四回当選、同年一〇月行方郡是調査委員囑托せらる。同年四三年東洋拓植会社囑托により朝鮮農事狀況視察員として朝鮮旅行、大正九年茨城県農會特別議員に任ぜられた。幹三は漢詩をよくし、晩年は農政の研究に従事した。県會議員在職中は霞ヶ浦落口護岸工事の完成、八代境木橋架橋、北利根川改修工事などに尽力した。

十三代誠太郎については牛堀町永山の北利根橋畔に次の顕彰碑がある。これに略歴が詳しい。即ち

須田誠太郎翁治水功勞顯彰碑

茨城県知事岩上二郎謹書

須田誠太郎翁はその生涯を通して地方自治の確立教育の振興、産業交通の開発土木事業の整備に尽力され地方住民の福祉向上のために偉大な貢献をされた。なかでも利根川下流、霞ヶ浦北浦沿岸の脅威である水害に対しては父祖以来の宿願を承け継いで妄執とさえ思われる不撓の熱意をもち官に説き民に勧めて多年にわたり挺身して対策の樹立とその実現に当られた。

これら地域の頻繁な水害は広域に及んで市街、部落を浸し田畑を冠したために住民は生業に安堵する暇とてなくその惨害は筆舌に尽し難いものがあつたが大正年代に入るや翁の献身的努力は漸く実を結び逐年治水事業の整備なり更に近時着々と利水事業の画期的施策の実現をみるにおよび住民の生業も漸次安定をみるにいたつた。これすなわち翁の功績に負うところ多大にして地元民から「治水の父」「村治の父」として敬慕されていることもまことにむべなるかなであり衆人周知の藍綬褒章を受章しさらに叙勲の榮に浴されたこともまたけだし当然と謂うべきであろう。翁も今や歳八十四顔白瘦軀独居して静かに老を養う今茲にその大功を碑に刻して後世に伝えて偉徳を顕彰する。

昭和四十年豊秋十月

茨城県知事岩上二郎撰

梅碩 石橋博書

須田誠太郎翁略歴

明治十四年八月廿六日須田幹三配高浜町笹目氏千代の長男として牛堀町に出生、東京明治大学商学部第一期卒業、夫人は千葉県吉田村林伝兵衛女節、大正七年より昭和三十年まで前後廿八年間香澄村長牛堀町長在任昭和二年より昭和廿二年まで前後十二年間茨城県議會議員在任

主なる褒賞

昭和十九年霞ヶ浦北浦治水事業の功勞により

茨城県知事古井喜実より表彰

昭和二十年治水事業の功績により

全国河川協会々長堀切善次郎より表彰

昭和廿二年河川改修建設事業の功勞により

建設大臣益谷秀次より表彰

昭和卅一年牛堀町より名誉町民推挙

昭和卅一年地方自治の功績により藍綬褒賞を賜る

昭和卅二年社会の進歩発展に貢献した功績により

茨城県功績章授与

昭和卅九年勲五等に叙せられ雙光旭日章を賜わる

霞ヶ浦北浦常陸下利根川治水促進同盟会

牛堀町

其他有志

建之
として上半身の像をはめこんである。

なお昭和二年の県會議員当選は政友会に属してである。

須田家墓地には「墓誌 風見章書」として「曾祖父爲則、長男爲章ト性格相異、三男爲憲ヲ伴ヒ一家ヲ創設、公職ヲ繼承セシム、此レ私ガ祖、明治維新ニ勤王派トシ活躍セシモ、明治政府成立後他界、父幹三幼少相統ス、時代ノ変革ハ旧武士階級ヲ没落セシム、サレバ家政確立ト資格維持ニ勉メ、戸長県會議員等、地方政治ニ参与ス、其農政論ハ重キヲナス、詩文モ亦名声アリキ、晩年經濟界變動ニ遭遇ス、私ハ其後ヲ繼承シ、家政整理ト家名維持ニ勉メ、村長県會議員等、地方政治ニ身ヲ委ス、依テ妻節子ハ家庭人トシテ家政ト兒女ノ養育ニ専念シタリ、其死亡ヲ期トシテ、葬儀一切ヲ改善シ、火葬ヲ執行、尚墓標建設モ改メ、敗戦日本ニ対スル義務ヲ果ス

昭和二十九年三月

誠太郎記ス

篆額風見章

碑文浅野栄造書

金原刻」とある。(裏面に妻須田筋子の略歴あるも省略する)

牛堀村とその周辺

安政二年乙卯季春序下総布川赤松宗且義知著「利根川図志」巻六〔茨城県史料〕近世地誌編五一五頁〕には「牛堀、霞が浦入口なり。霞が浦は至て渡り難き海なれば、此所に滞船して風をまつ故に、出入の船多く此河岸に集り、また鹿島に至るに、利根川より横利根に入り、北利根を経て浪逆の海にいたる」とある。牛堀・永山村は水戸藩領で牛堀村は寛永一八年に検地をうけている事実があり、天保一二年に牛堀・永山両村共に検地がある。その間には屢々新開検地をうけている。

寛永一二年三月村高は長山村四二〇石二斗七升四合、外一五石七斗貳合新田、牛堀村一六六石五斗一升六合、外三石九斗新田〔村高帳〕茨城県史料近世政治編一三〇一頁〕である。

寛永一八年八月牛堀村は高二三七石一斗一升九合、反別二五町五畝二五歩で、その内畑高一石二斗三升五合は寺領除分である。

	高石	反別 畝 歩
田	375.2810	3654—7
畑	264.8310	3276—1
合計	640.1120	6940—8
新田	235.2500	290—20

永山村高反別表

	高石	反別 畝 歩
田	147.0420	1452—0
畑	110.8410	1358—27
合計	257.8830	2810—27
新田	1.7010	18—27
新島	.5040	8—12
合計	2.2050	27—9

牛堀村高反別表

天保一三年村高は右表の通りであり、永山村は高八七五石三斗六升二合、反別七二三反二八歩で、内高五石六斗九升二合は寺社領、牛堀村は高二六〇石八升八合、反別二八三反八畝六歩で、内高二石一斗四升一合が寺社領である。

文化四年と推定される卯年小宮山楓軒編「水府志料」行方郡一〔茨城県史料〕近世地誌編三四七―八頁〕には富田、清水、上戸、永山、潮来、辻、大洲、延方、古高、矢幡、築地、堀之内、茂木、島崎、赤須十六カ村を潮来領と称し、「旧南組の地、今紅葉組となる」とある。そして牛堀村、永山村については

紅葉組牛堀村

戸凡九十二
水戸迄十三里廿八町

永山村より分れ一村となりしと云。年月未詳。村境、東は島崎、上戸村、西霞ヶ浦、北永山、堀之内、南は境川なり。東西七町、南北六町あり。小川、府中より潮来、鹿島への道筋なり。

木田見庄 土人木田見庄此所なりと申伝ふ。府中税所氏所蔵の文書にも、木田見郷という見へたり。

境川 霞ヶ浦井下利根川落合一流となる。常陸、下総の境川なり。海老を産す。川より南は下総国香取郡三島村、大島村の地なり。稗蔵 村用意貯穢なり。

船渡 常陸より下総への渡場也。

紅葉組永山村

戸凡百十二
水戸迄十三里廿八町

村境 東は島崎村、堀之内村、南牛堀村、西霞ヶ浦、北清水、富田村。東西十七町、南北二十町有り。

木田見庄 上に同。

秣場 若林一反余。

とある。なお潮来村は旧板久に作り元禄一一年改めたとある。〔同書〕三四九頁。

南組、紅葉組は史料では南御郡方、紅葉御郡方として出てくる。史料でたどると文政以後では文政一一年迄紅葉御郡方、天保二年―慶応

三年は南御郡方、明治二―三年は南民政局である。これは天保二年に七郡の制を四郡に改めた事によるのであろう。

「各村旧高簿」〔茨城県史料〕維新編五八二頁〕によると、牛堀村はA水戸藩領分明治元年取調旧高二五九石七斗七升八合、旧県名水戸県、明治四年合併新置県ノ際郷村受取ノ節旧高二五八石六斗八升七合（以下同順）、B堀ノ内村二本松寺除地二石一斗四升一合、水戸県管下、二石一斗一合で、永山村はA水戸藩領八八一石五斗七升六合、水戸県、八八一石五斗七升五合、B日吉山王神社除地二石一斗七升五合、水戸県管下、一石九斗一升九合、C延方村普門院除地一石八斗三升三合、同、一石五斗七升七合、D廢跡長泉院除地一石六斗八升四合、同、一石六斗八升四合となっている。

潮来領一六カ村明治元年高は一四〇四二石余で水戸藩領九三・九%、除地〇・七%、朱印地一・四%、大竹左馬太郎知行所（潮来村）三・八%である。

人別は慶応元年には牛堀村人数六〇六人、家数一一五軒、その内訳は百姓九二軒外に隠居一六軒と水呑二三軒であり、永山村は人数五九三人、家数一〇四軒でその内訳は百姓一〇一軒と水呑三軒である。

明治四年廢藩置県の結果、牛堀村は水戸県から新治県になり、同八年茨城県となり現在に至る。その間、郡は行方郡で変わらない。その間に明治一七年には島崎、上戸、永山、島須村と共に聯合戸長役場を牛堀村に設置している。明治初期の区制については明らかでない。明治二二年四月一日永山、堀之内、茂木、清水、牛堀村は合併して香澄村となる。昭和三〇年四月一日香澄、八代村が合体して牛堀村になる。同年一月三日牛堀町となり現在に至る。

文書の配列と概要

配列の方針

本文書は須田家が、庄屋、兼帯庄屋、大御山守の役職にあったので、大庄屋的性格と個別庄屋的性格の史料をどの様に配列するかが問題であった。又村名不明の庄屋文書、それに関連して単に須田某宛のものが大御山守か、庄屋か、須田個人か判断に苦しむものがあり、又私

文書とは何かも甚だ問題のある所であつた。本文書では大御山守、庄屋、須田家私文書の年代が連らならず、公私の文書を大別する事も無理を感じ、結局(一)村・大御山守関係を、村を中心に配列、(二)御用状・書状、(三)須田家とした。結果的にみれば村を中心にするよりも大御山守を中心にすべきであつたかもしれない。

各項目の配列と概要

本文書は大略九八七冊、一八九四通、二八四綴、二枚、五巻、四二鋪、一帳、三袋、一括である。年代的には寛永期から明治期にわたるが、安永期の須田家の衰退、天保期の分家等の事情もあり、比較的整っているのは天保―慶応期である。明治期は須田幹三・誠太郎氏の活躍にも拘らず余り残存していない。特に村方文書は乏しい。一部の史料を幕末・明治期に須田家で整理した形跡があり「常州牛堀 須田蔵書」「須田十作」などの印が捺してあるものがある。そして新宅の史料ではあるが、本家の村方文書は引継がれたか、その間の事情は不明である。また私文書も劃一に天保一五年以後許りとは言えない。なお本・分家間の引継か、本家が政争の結果闕所になった際に新宅が乗出したか、その間の事情は不明であるが、非常に半端物が多く、「その他」の項目を作らざるを得なかつた。

次に概要を配列に従つて記す。(大項目は九ポイント・ゴチック活字で『』、中項目は九ポイント活字で『』、小項目は「」で示す。

『支配』には法令と、庄屋から大御山守・郡方に対する願、書上等を取めた。

『土地』は比較的整っている。『土地』では天保一三年検地関係が纏っている。「順帳、名寄帳、奥印留」等は天保期以降で、新宅の手によるものである事がわかる。

『御立山』は須田重作が大御山守であつたために潮来御領の小山守、庄屋等から指出されたものが多い。大御山守が命じて改、植立、夏刈、下刈、手入を各村々に御立山について行なつたものと、風損枯木、伐木等願出や入札によって引渡した際のものに区別される。

『貢租』は享保以前と天保以後に大別出来る。勿論その間の史料も全くない訳ではない。『検見』は永山村分に享保以前のものがあり、引方帳は牛堀村である。文政天保期の引方百石厘割姓名帳は玉造浜組など藩内各組のものである。『割付』については、割付帳は享保期の牛堀・永山村分であり、小割付は嘉永以後で連続しない。『収納』は一般に幕末期のもので、兼帯庄屋として作製されたものが多い。『夫

役』の項で人足は御厩方など人足寄場関係であり、黒楸は江戸勤のものである。

『払勘定』は牛堀・永山村分が延宝―宝永にかけて連続している。『城米』は大御山守として潮来領分のものである。『浮役』は文政以降が多い。『船役』は弘化以降である。

『村』『村政』は大部分が須田重作為憲関係のものである。なお大御山守関係もこの項に含めた。

『庄屋・山守』『姓名録』の項は大御山守須田源之丞個人が作製したと考えられる面もある。「金融」の項は村から奉行宛と、百姓から村役所宛のものがある。「衛生」「救荒義院」は便宜上村に配列した。『諸職』では須田家が明和年間従事した酒造をここに入れてある。

『酒・醬油』には中期のものがあるが、他の項目は天保以降のものが多い。『村入用』は万指銭とあるものと、郷蔵・自身番などの普請入用がある。なお前者の帳簿には村内の百姓持高を記しているものがあり、比較的年代が連続するが、後者は矢張り天保以降が多い。

『戸口』については大御山守よりも牛堀・永山村庄屋として作製されたものが多い。「縁組、借地・借家」の項以外は嘉永以降のものである。

『土木・普請』「陣屋」は文久四年潮来陣屋普請関係であり、大御山守として作製されたものである。「橋」は牛堀・上戸両村境の土橋掛替普請が主なもので、富田村往還土橋、潮来村橋、矢幡・根古屋村境橋等もある。「溜池」は用水溜池の堤普請、浚普請、埋樋仕替などで牛堀・永山両村の外に矢幡・潮来・赤須村などがあり南郡方が立合い、牛堀・永山村以外は須田重作宛となっているから大御山守としてのものであろう。

「川除・川欠」は牛堀村関係が多い。「浚」は川浚、用水浚、船付堀浚がある。用水浚は前記溜池に入るべきかもしれないが、池と確定出来ないのここに入れた。「道繕」は明治期の牛堀・堀之内両村関係が主なものである。「杭」は水行直しのものである。「居切堀」は明治期に須田重作が関係したものであり、「刈流」は牛堀村が霞ヶ浦入口である事による水行路関係である。

『治安・訴訟』は百姓から村役人宛・郡奉行宛と、村役人から郡奉行宛の願、口上書などである。「鉄炮」は郡奉行・大御山守宛のものが多く、一部に幕末農兵関係かもしれないものがある。「出入」は大御山守としてのもの他に、郡奉行・庄屋宛のものもある。「過料」

徒刑」は何の事件によるものか不明である。

『救恤・拝借』は大部分が嘉永以降のもので、牛堀・永山村分が主なものである。「仕法農馬貸出」は富田村関係のもので、永山村が一点あるだけである。奥州白川郡から農馬を買入れる代金を貸付けたもので、大御山守関係のものである。

『交通』の『通行』は「御通行・泊」と「伝馬」に大別される。前者は嘉永―明治期の遊行上人、御目附方止宿、水戸余四磨様御旅館、幕末期の御見張止宿、明治元年御追討人止宿、御廻村入用などであり、牛堀・永山両村の外に堀之内、茂木・上戸・辻村などがみえている。『水運』は舟運関係を集めたが余り性格が明らかでないので、区分も便宜上の域を出ない。高瀬舟、五大力舟、茶舟などあり、一部には東京との通船もあったようである。「船支度申付」は御普請方などの役人が用船を申付けたものであり、「御米船積」は城米輸送に関するものである。

『維新』では「郷校」は慶応四年の小川・潮来・湊御館関係で、潮来分が主なものである。「稽古所」は堀之内村二本松寺と上戸村長岡寺にあるもの、「諸隊」は明治三年牛堀・永山両村の勝親隊と、堀之内村茂木共の進鋭隊関係である。

「調書」は元治―明治期の慎之者、賊政之節の行跡取調書である。

「關所」では慶応四年須田本家関係のものをここに収めた。矢幡村折笠勸兵衛も同年關所になっている。「維新」の内て天保一五年江戸御用日記〔七八三〕は徳川斉昭謹慎の際に、須田茂十郎が庄屋としてのものであるかもしれない。「聞書」は幕末の風聞、聞留などで一部には後記する蔵書と関連するものがある。

『寺社』は寺社領関係と鎮守、永山村長泉寺の除地・祠堂金、上戸村長国寺の祠堂金関係などである。

『御用状・書状』『御検地御用状』は須田家で卷子に仕立てていたものであり、表裏両面張合せてある。各文書毎に内番号を付してあるので利用されたい。一部に表題以外のものが含まれている。そして整理に当り散逸していたものを推定で復元したものがあつた事を了承されたい。

「午（安政五）年御配符」と「明治二歳巳御配符」は須田家が「午御配符入」「明治二歳御配符帛」の表題で袋に入れてあつたものを月

日順に配列した。なお御用状としたものは封書に御用状、急御用状、至極急御用状など記してあるものを御用状に統一した。そして南郡方勤役人のものは封書がない場合でも書式が一致するものは御用状とした。(以下同様である)。

次の大御山守・庄屋関係は、大御山守を先にし、その際須田家の名前のあるものを前においた。内部は月日順である。

御用状については内容略記をカード下欄に記るしてあるので参照されたい。

須田家関係は、源之丞から須田迄は、同家の代数に従って配列した。なお源之丞は襲名のため一番最初に置いた。他家間のものは推測のを出ないが、本来ならば御用状と、須田家書状に添えられていたものかもしれない。

これら書状は一点一番号とした。それは保管上小番号をつけるより便利と思った事、書状の利用は人名も索引になるが月日も索引になる事、及び御用状の整理に卷子仕立があり一点一番号としたためなどによる。

書状の多くは大御山守同僚間のものが多い。(石田丹後の一部は丹波かもしれない事を付記する)従って私書状か用向書状か区別が困難である。

「書状集」は須田家が卷子に仕立てあったもので一巻を整理番号一番号とし、各文書毎に内番号を付した。表裏に文書を貼合せてあるのに注意されたい。なお書状以外の詠草などを含むが、書状に関連するものである。一部に須田家で同家との関係を失書しているものがある。安政年間の吉田兵左衛門書状は、吉田氏は土浦土屋藩家中であり、土屋寅直が大坂城代の際(史料館所蔵史料目録第十五集参照)に在坂し、大坂での見聞を伝えたものである。神竜寺大寅書状については、神竜寺は茨城県新治郡土浦町西門にあり、大寅は二〇代和尚であり、文化一三年火災に会った寺を再建した人物である。「某書状」は差出人、宛名以外は完全な書状である。

『家』については須田家の他に、村と断定し得ないものを加えた。『家』では「冠婚葬祭」の項がまとまっている。この項については後述するマイクロフィルムによる須田家文書を参照されたい。『経営』は大部分が天保以後であり、持地留は文化一五年からあるが明治初年迄である。小作関係は弘化から大正迄ありこれが一番まとまっている。いずれにせよ明治以後の須田家については余り文書としては整っていない。『家計』もその大部分は嘉永から大正初年迄である。「貸借」の一部に分家以前のものを含んでいる。「普請」は穀蔵、土蔵、居家など安政以後のものである。

『学芸・信仰』の「手扣」は天保一三年以後のもので、須田重作が記るし、内容は公私にわたっている。「農業意見」は須田幹三によるものである。「詠草」は柿磨（重作）のものが多い。マイクロフィルムも参照されたい。「蔵書」はその殆どは須田氏が筆写したものである。筆者は八代長光、九代為則、十代為章その子内蔵八為孝、十一代重作、十二代幹之助で、他に系譜で確認出来ない須田九郎次が天保一〇・一一・一四年にみえている。蔵書の形成過程については蔵書目録を参照されたい。

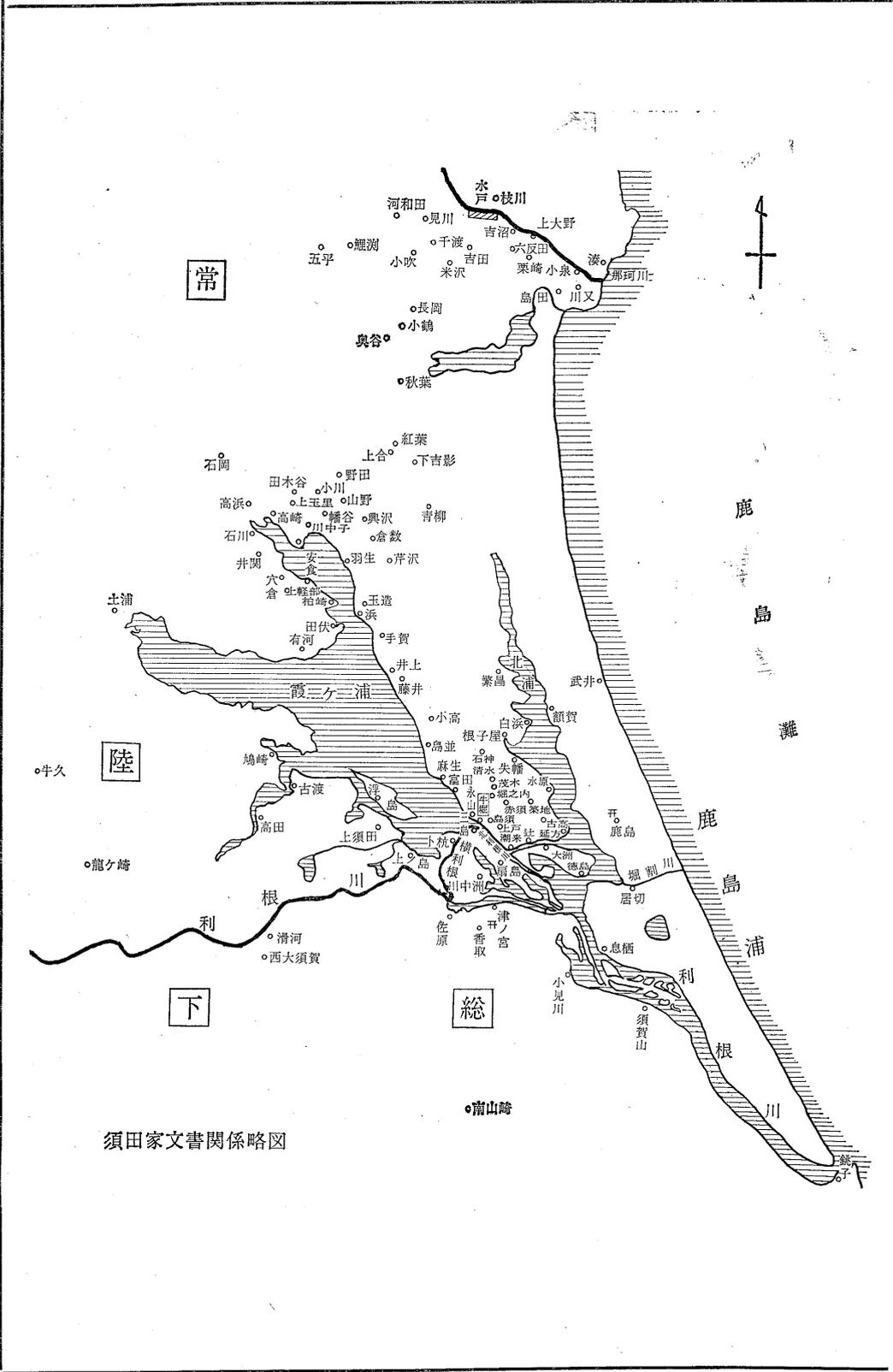
算法は須田幹三のものである。

『参考』 須田為憲画像は須田禎一氏所蔵のもの、須田幹三の帝国農会報は『家』の農業意見の関連として複写した。この他にも須田幹三が発表しているかについては確認していない。

関連史料について

本目録に収録した須田家文書の残存分が昭和四四年に故須田誠一郎氏の御遺志により茨城県教育財団（水戸市三の丸商ビル内）に寄贈され、同四六年に同財団によって「須田禎一家寄贈史料目録」が作成されている。当館ではその内で書籍・書画・器具及び一部の文書を除く部分をマイクロフィルムの形で収集した。その収録点数は一九一冊・五巻・六一通・八七枚・三綴・六軸・二括・二個で一二リール六五七六コマである。本文書と併せて使用されたい。なお墓碑については時間の都合上、須田重作以後に重点を置いたので全部の墓碑についての調査は行なっていない。

〔付記〕 本目録の作製に当り多くの方々から御教示、御協力を賜った。須田禎一氏御夫妻、須田四郎氏、須田英五郎氏、布施耕一郎氏、茨城県教育財団、後藤末治氏、秋山高志氏、桐原邦夫氏、高橋秀夫氏、木戸田四郎氏に御世話になった。又本文書の収集に当っては金沢春友氏にも御世話になった。記るして感謝したい。



須田家文書関係略図

1245

史料館所藏史料目錄 第十九集

昭和四十七年三月三十一日印刷
昭和四十七年三月三十一日發行

東京都品川区豊町二丁目十六番十号

編者 文部省史料館
發行者

印刷所 依田印刷株式会社

東京都江戸川区西小岩三ノ六ノ三